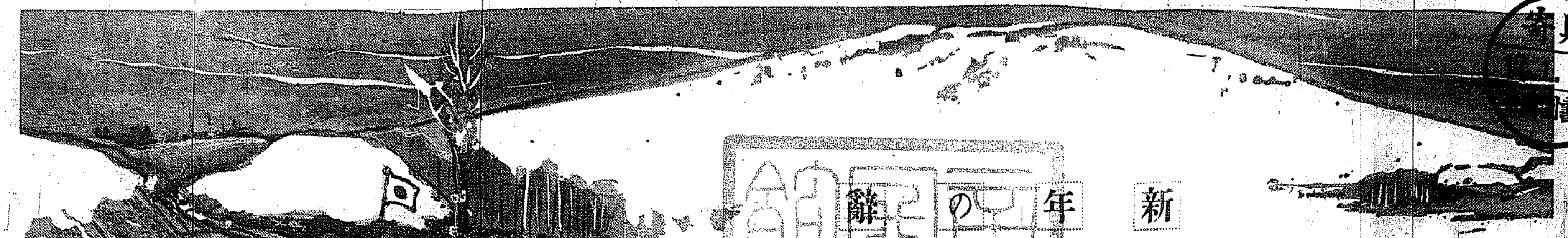
京城日報
第一萬四百六十二號
本日廿四頁
發行兼編輯人 印刷人



新年の辭

聖壽新に迎つて寶暦の光天地に滿つ。千門萬戶松を飾り、國旗を樹て、瑞氣乾坤を罩む。茲に昭和十二年の新春を迎へ、恭しく聖壽の無窮を祈り、皇室の御繁榮を祝し奉るは、寔に歡喜に堪へざるところ、今更ながら皇國の臣民として生れ出たることの光榮と幸福とを感謝せざるを得ない。

顧みれば往年は非常時の聲、いよいよ痛切なるものあり、世界を擧げて混迷を云爲するも、皇國日本の非常時は、實に飛躍發展への明朗なる非常時にして、飛躍しつゝ前進、また前進、皇道日本の大義を世界に布くべく精進しつゝあるものなることを思ふ時、この胸の高鳴りを禁ずる能はざるものがある。人は常に明るき希望を見るべく、斷じて暗き影を逐ふの愚をなすべきでない。たゞ樂觀に過ぎて、國防の用意を怠るとなきやう戒心を要する。

我が日本は滿洲事變以來對外的事態漸く急迫を告ぐるものあり、國防軍備の擴充愈々切なるものがある。惟ふに非常時の打開は、國防の完備と國力の強化によつて、初めて目的を達成し得らるゝのであるが、國力の強化は國民精神の作興と國富の增進に俟つこと言を俟たざるところである。幸ひに朝鮮は近時農産物の豐饒、或は地下資源の開發 [illegible]

[illegible] 對立化しつゝありと云ふべく、これが全面的對策として、成立したる日獨防共協定は、正に時宜そのものを知實に物語るものである。かゝる赤化陣營の前に防備の堅陣の基礎をなすものは實に [illegible]

[illegible] 過言にあらざるものである。[illegible] 努力は、すべて地力の涵養に俟つべきものがある。[illegible] とが輝いてゐるわけであるが、われらは [illegible] 半島の眞價を反省し地位を考へ [illegible] 東亞乃至世界に對する大使命達成の爲に邁進するところがなければならぬ。

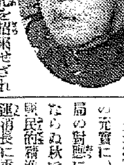
天壤無窮

天皇皇后兩陛下

[illegible] 昭和第十二の新春を迎へ、[illegible] 聖壽の萬歲を祝し奉る。[illegible] 皇太子の [illegible] 殿下、[illegible] 下國民の一致協力に俟ち、[illegible] 新なるは寔に同慶の極みである [illegible]

自重自奮を望む

朝鮮總督　南次郎



[illegible]

新春　朝鮮神宮と京城神社

半島の守護神として鎭座ましますの朝鮮神宮の歲旦祭は昭和十二年一月一日午前九時から朝鮮神宮大前において嚴かに執行、この日南總督以下、大野政務總監、朝鮮軍司令官、[illegible] 各道知事、京城府尹、本府各局課長その他官民多數參列、新年の生活を祝し聖壽の無窮、國運の隆昌を祈つた。一方京城神社では元日午前二時から京畿道知事代理、甘蔗京城府尹、その他官民多數參列して歲旦祭を嚴かに執行

全力を發揮

政務總監　大野綠一郎

[illegible]

世界各方面

[illegible]

朝鮮經濟が

[illegible]

農山漁村の

[illegible]

文化産業の

[illegible]

現代の世相

[illegible]

鮮滿一如は

[illegible]

今や世界は

危機の前夜にあり、世界の心臟の異常なる鼓動は脈々と感知せられるのである。同胞一齊に相携えて歩武堂々國家を衞り國運の興隆を期する爲に、各人最大の能力を發揮すべき時が來たことを知らねばならぬ。年頭若干の感想を述べ道内の官民各位と共に志を同くし相砥礪せんことを欲するものである。

[illegible]

宮中の御團欒

皇太子殿下を御中心に

聖春を壽ぐうちにも、一億の赤子の感激申しあげるのは、連綿たるわが皇統の誇るべきと、竹の園生の御繁榮を祝し奉る歡喜である。わけて、大內山の瑞雲深く包むあたり、宮中御常御殿の新春、昭和十二年春の佳きあしたの御團欒の御中心が、日嗣の皇子—皇太子繼宮明仁親王殿下であらせらるゝことである。

※

皇太子殿下の御近狀を承るに、殿下には、目下全く御目由御門達に極めて天資御壯健とも申しあぐべき御日常のうちにそれこそすくすくと若竹の如く御成育遊ばされてゐらせらる。御誕宮遊るゝばかりの御兩親陛下の御養育御方針は既に屢々拜する御英邁なる天資を思ふさま御伸ばし遊ばさるゝやうにと畏くも御心を配らせられてゐると承る。

※

宮城內には既に舊本丸跡に照宮樣方內親王樣の御爲めに、吳竹寮が御造營されてあり、照宮、孝宮兩內親王樣はこゝより女子學習院に御通學遊ばされ、[illegible]

※

皇太子殿下が御誕生以來、皇后宮職におかれた東宮職の事務も昨年四月十日、東宮傅育官制に制定され、御養育の首席傅育官には高松宮殿下御幼少から殿下を御傅育、御敬遵申しあげた別當石川岩吉氏つて選ばれたので、同氏は目下赤坂芝高輪御殿內の宮家官舍から宮中に參內午後二時頃まで、殿下の御側近く侍り、御養育から御世話一切を申しあげる傅地知御養育掛以下御養育掛、御用掛、御出仕以下の女官に至るまで各職員、御養育方針を拜して、萬全を期し申しあげてゐる。

※

日曜の正午などは、兩陛下御姉宮樣方御揃はせられて、[illegible] 御散策などに進ませ給ひ、ピクニックに似た御團欒、野外での御揃ひの御食事を讓らせられる御こともおありと承る御親子御七方の寶がせ給ふ御一日の御樣子、御娛樂などの御設備もなく、また御遊戲、御運動場も寸暇なき御多忙な當中に拜するこの御光景こそまことに御美しく御和やかな

一時であらせらる。

※

皇太子殿下の御運動も、御成育遊ばすと共に御變化があるので目下、石川首席傅育官 [illegible] 專門家の意向を聽取して御運動御計畫申しであるが、一昨年、沖繩から買上げた宮古馬『床碁』『張水』『石流間』の三頭は目下遊佐幸平 [illegible] リムピック馬術選手）囑託の調教をうけてをり、殿下が學習院に御進學の頃には、御乘馬に遊ばされたり、また時には御一人で小馬車を御させ給ふやう折角御準備を申しあげてゐる。

※

宮中では時折、映畫の御鑑賞遊ばす。勿論興味本位のものではなく、極めて音樂趣味的のもの、藝術的のものでなければ、ニュース映畫に限らせらる。それも獻上物にて、月一回位の御平均、かうした

場合には、兩陛下を初め奉り親王、內親王樣御幼少の方々お揃ひにて御觀賞遊ばさせ給ふ。

※

皇太子殿下には、この陛下の御側に新たに赤坂離宮內に既に御完成の「東宮假御所」に御移り遊ばさる。こゝにて、御入學の御學齡まで三ヶ年、傅育官の手で御熏育をうけさせられ、經て學習院初等科に御入學あそばさる。

※

「東宮假御所」は、昨春着工、四十數萬圓の御造營費にて御建築申しあげた純日本風の御所、やがて御學齡に達せられた殿を御考慮して、義宮樣の御座所も御準備してある。皇太子殿下の御座所を御中心に、御日常室、御學問所、御應室、御運動室、御食堂の六室、御質素なこの假御所には傅育官、侍醫、御養育掛の各官舍、大膳寮支部などの附屬建物もある。

※

既に、御座所を飾るべく、日本美術院同人鞍上流翁女史（[illegible]）は、畏き邊りの御下命を拜し、傅育官は精練を拜謝せしめて、見事な「あやめ」を刺繡し、獻納申しあげた、また、同じ日本美術院院友で、横濱市とはいへ鶴見の草深い山麓の一軒家に黙々と獨り繪筆に親しむ木下容子女史（[illegible]）も同じ光榮に浴した。女史は「秋の花鳥」との御事で、庭前に咲き亂れた秋草の自然をキャッチし、これを繪物に描いて去る十一月三日明治節に獻納した。

※

民草に垂れ給ふ大御心の誠く深くあらせらるゝことを拜し奉り、かつまた宮中御團欒の御有樣を拜察して、國民は唯々感激に堪へない次第である。

年頭の辭

內閣總理大臣　廣田弘毅

光輝ある昭和十二年の新春を迎へ昭代の榮光溢る裡に謹みて聖壽の萬歲を壽ぎ奉り皇國臣民の感激を茲に新に致す次第であります。

顧みまするに [illegible] 事態の御精神を更に [illegible] せられることは一億臣民を擧げて [illegible] 此上もなく有り難き國運隆昌の瑞祥として恭悅申上げる所であります。維新の革まると共に弘毅は應よ清新の意氣を以て國運進展の基礎の誠を效さねばなりません。

外の諸情勢に鑑みましても洵に嚴しき [illegible] に過ぎるものがあります。惟ふに斯の如く時勢が多事多端を極め急激なる變轉を遂げつゝあるこの際は一面世界の興隆 [illegible] 外ならぬのでありまして其處に幾多の艱難、障害があらうとも斷じて之に耐へ克く之が打開の方途を拓いざる時は洋々たる前途が拓けるものと信ずるのであります、而して斯様な場合に當つては須らく國民齊しく思ひを眞摯無比の我が國體の本義に致し一系無窮の皇運

今日

の時局の重大なことは今更申す迄もなく之を昨昭和十一年に於ける內

年頭

に當つて [illegible] 國務を顧みて [illegible] でありましても [illegible] の根本であると信じます [illegible] を扶翼し奉る [illegible] 生面を拓かんことを期待するものであります。

成都·北海兩事件解決

川越大使、張部長間に公文の交換を了す

成都帝國總領事館は近く再開の豫定

卅一日外務省から發表

【東京電話】成都北海兩事件は卅日午後に至り須磨總領事、高宗武亞洲司長との間に最後交渉の結果、意見一致を見たので同七時川越大使、張群部長間に公文交換を了し、外務省は卅一日午前零時四十分交換公文並當局談を左の如く發表した

成都及北海兩事件に關する外務當局談＝成都その他今次排日不祥事件に關する日支交渉のため、帝國政府の取り來たつた方針並に交渉に對する政府の見解等は十二月十日の外務當局談の通りであるが、成都、北海等個々の事件に關する善後措置については十二月三日在支帝國大使館の聲明書の主旨により主として在南京須磨總領事と高亞洲司長との間に事務的折衝を續け來たつた結果、成都及北海兩事件に關しては十二月卅日附を以て川越大使と張外交部長との間に左の如き文書の交換を了した

一、成都事件

【張外交部長より川越大使宛】本年八月廿四日日本人四名成都において變故に遭ひ、その内二名負傷し、二名死亡せる事件に關しては今日こゝに政府を代表し誠懇の態度を以て貴國政府に對し深く歉意を表し候

事變に際し地方當局は 預め戒護したるも、省外警備司令部副官長及公安局長范崇實は防衛上行屆かざる點ありたるにつき中國政府は既に該兩名を免職し又警備司令部衛長曾平、連長劉亮吉、公安局科長鄧介雄、隊長孫臣平、分局長康振事も既に放逐致し候、本事件首要者劉成光、蘇德勝は既に死刑に處しその他の犯人岑璇、王迪銅、彭定宅、劉子雲等もまた既にそれぞれ處罰致し候

中國政府は死者渡邊洸三郎及深川經二の遺族に對してはそれぞれ實際の損害額及び**相當の弔慰金を給與し**、負傷者田中武夫及瀬戸尚の兩名に對してはそれぞれ醫藥費損害額等給與致すべく、その金額は慣例を以つて適用の通りに有之候、中國政府は前期辦法に照し處理したる上は本事件は既に解決せるものと致し度く候

可申越し、これに對し川越大使は右を諒承すると共に、死者の遺族及び負傷者に對する諸費合計中國貨幣九萬八千八百八十七元一角也を受領せる旨回答した

一、北海事件

【張外交部長より川越大使宛】本年九月三日日本商人中野順三は廣東北海において變故に遭遇せる件に關しては、本部長はこゝに政府を代表し誠懇の態度を以て貴國政府に對し深く歉意を表し候

當時北海地方の狀態は 特殊にして又事件は忽卒の間に起りしため、關係當局相當措置を講じたるも保護周到ならざりしものあり、當時該地方警備の責を負ひたる人員翁照垣、民國珍は既に放逐し、公安局長陳顯も亦職を去りたるため處分の餘地なきことに立ち至り候

本　は既に情狀輕重に 應じて處分致し候、中國政府は該日商中野順三の遺族に對しては弔慰金三萬元を給與致すべく候、中國政府は前期辦法を以て處理したる上は本 **一** は既に解決せるものと致し度く各々御諒承相成り度く候

可申越し、これに對し川越大使は右を諒承すると共に被害者遺族に對する弔慰金中國貨幣三萬元也を受領せる旨回答した、なほ

成都帝國總領事館 は支那側において諸般の準備が了るを待ち近く再開の豫定である

太平洋防備制限存續を

英政府が提案

わが回答は一月下旬

【東京電話】イギリス政府がワシントン條約第十九條の太平洋防備制限存續を日米兩國政府に提案して來たので、外務海三關係當局間に於てこれが回答に關し慎重に協議した結果、イギリス政府の提案内容についてはなほ十分檢討を要するので年内に對英回答を發し得ぬ方針を確定した、仍つてワシントン、ロンドン兩條約は潜水艦使用制限條項（ワシントン條約第四編第二十二條）を除き完全に失効し

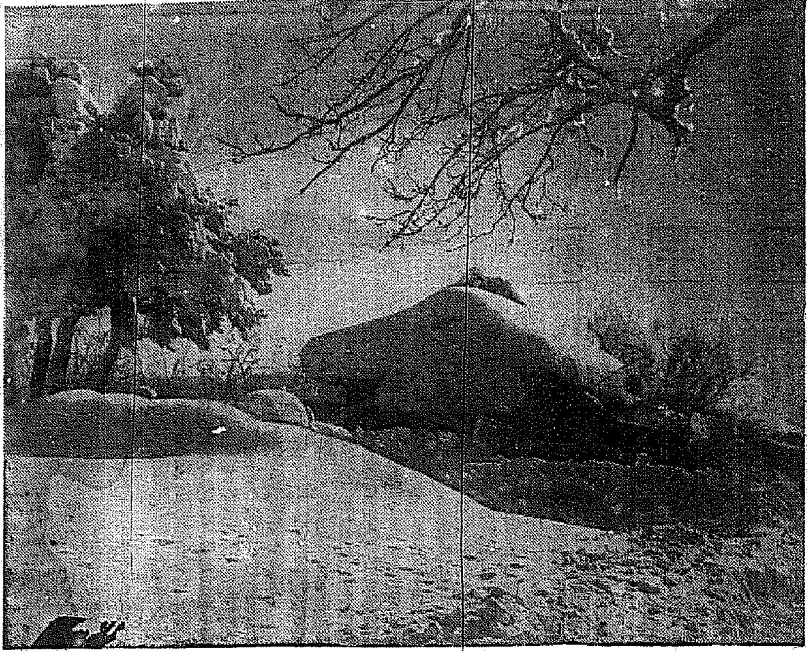
日英米三國 政府は一月一日より一先づ太平洋上における防備の自由を回復することになつた譯である、イギリス政府の提案内容は既設防備の内容を近代化する以外は、同條約はその効力をそのまゝ延長せしめることとし、その形式については日英米關係三國間で協議を行ひたしと言ふにあるが、帝國政府としては今春匆々三省間に協議を續行し、一月下旬乃至二月上旬頃に對英回答を發する豫定である

現行防備制 限條項はアメリカは本土より一千四百海里距つてゐるハワイと、日本々土に近接してゐるアリューシャン群島に防備を施し得るに反し、我が方は本土より僅か五百海里距る小笠原諸島より本土の一部を形成してゐる千島、奄美大島、琉球諸島、台灣、澎湖島まで防備を制限される不合理な狀態にあるのみならず、ワシントン條約成立後艦船航空機などの進攻性著しき増大に鑑み

既施設の近 代化程度に修正を施して現行の防備制限條項を存續するのは極めて不合理であるとの見解を持してゐるので我が方としてはイギリスの提案に從ひ新に防備制限締結交渉に參加するとしても、右の如き不合理なる諸點に對しては重大なる修正を申入れるものと解される、一方アメリカ政府は防備制限條約の外ワシントン會議に於て成立した他の政治的諸條約

即ち支那に 關する九ケ國條約、太平洋島嶼に對する四ケ國條約等不可分の關係にあるので防備制限條項を獨り存續せしめることは困難とされ、目的、並に支那の政治的保障問題等を議題として持出さんとの魂膽で、日本側は既に非公式にこの方式をイギリス政府に回答してゐるので、アメリカ政府の態度に變化を來さぬ限り

新防備條約 成立は困難と察せられる、我が方としては我が公正なる提案が容れられるならば、太平洋の平和機構として防備制限條約の成立を積極的に斡旋するの態度をとるものと信ぜられる



田家雪

擧國一體

朝鮮軍司令官　小磯國昭

茲に光輝ある皇紀二千五百九十七年の新春を迎ふるに方り謹みて寶祚無窮聖壽萬歲を壽ぎ奉ると共に國運の彌々隆昌ならんことを祈る

惟ふ に皇威八紘に輝き國運益々隆盛を加へ、皇國日本の眞姿極東の天地に擴如たり、盟邦滿洲國の國礎亦逐年其堅實性を加へて王道樂土の具現愈々顯著なるは天業恢弘と東洋の平和とを祈念する九千萬同胞の齊しく慶祝措く能はざる所、而して我朝鮮半島の天地は官民一體内鮮一如の精神的躍動を顯現し、軍事に内治に産業に躍進日本の光耀たる使命を如實に發揮し更に進んで鮮滿一如の具現に寄與しつゝあり、謹みて此に至れば實に寄心の懷に堪へざるなり

然り と雖一度帝國の内外の情勢を大觀せんか、諸般新なると共に前途は益々多事多端にして所謂「山雨將到風滿樓」の慨なくんばあらず

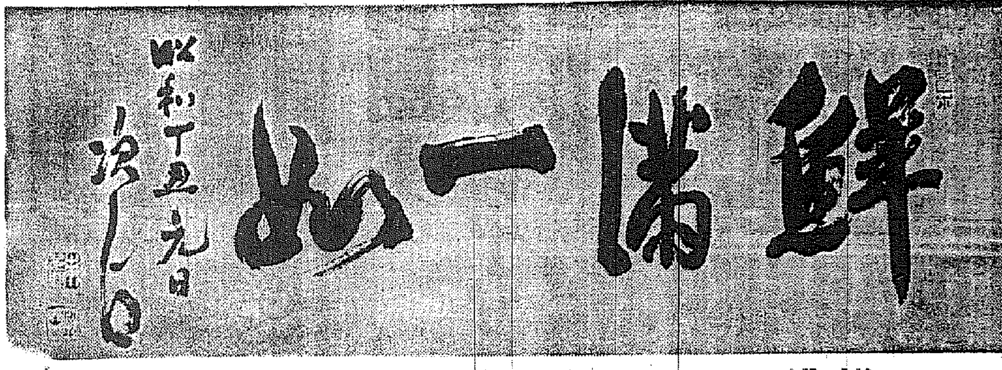
即ち内に在りては滿洲事變を契機として歩武堂々皇道の大義を宇内に宣布し、擧國一致皇國國是の達成に邁進し來りしが、動もすれば近時世道人心に荒廢弛緩の兆を認し更に國民精神振作匡救の要を自覺するの秋、圖らずも昨春二月廿六日畏くも叡慮の下未曾有の一大不祥事を惹起し上　宸襟を惱まし奉り、……の不安を醸ひ千載永へに拭ふべからざる一汚點を歷史に殘せること誠に恐懼痛悔の至りに堪へざるところなり

更に 眼を轉じて皇國四圍の狀形を觀るに、盟邦滿洲國は今や儼然たる獨立の態様を常化し、東洋平和確保の重責を其不可分一體なる我國と共に負擔し、共同防衞の主旨に基き兩國々防の第一線は今や「世界赤化の運命は東方に於て決す」との標語に動く赤化の極東蘇軍と國境數千粁に亘る滿蘇國境を挾んで相對峙し、愈々危局の深刻化を象徴し來り、一方西隣支那は百年東洋精神文化の淵源たる其獨得の自家存在をすら忘却して澎に歐米の要に依存し傳統の以夷制夷策を以て兄弟墻に鬩ぐの擧止を恣にし

東洋 の平和を自ら敢へて破壞に導き殊に最近勃發せる西安事件の如きに至りては支那全土の赤化と群雄割據の戰國時代的世相に拍車を加ふるの因たらんとし、赤禍の進襲と相俟つて日滿の四圍實に楚歌喧しと謂はざるべからず、更に況んや世界列强は我皇道の眞意を解せず、徒らに我國力の伸張を嫉視して中傷誹謗に加ふるに諸多隔策を以て我正義日本の進路に重壓を加へんとす

夫れ 然り、然れども我皇國の大使命たる天業恢弘の皇謨伸暢上前途に幾多艱關の横はるものあるべきは已に業に吾人一如内鮮民族の皇國の初より豫期する所、我大理想たる八紘一宇完成の爲に斯ろ好個の國民的試練の一過程なるなからんや、是を以て吾人元より國際情勢の緊迫を豫見し、深く難局由來の所以と其の本質とを究明しつつ不撓不屈協力同心年數を重ねると共に更に一段擧國一體の實を強化し、以て聖業遂行に邁往せずんばあるべからざるなり

茲に在鮮第二年の新春を迎ふるに當り、聊か所懷を述べて新年の辭と爲す



◇――“鮮滿一如”南朝鮮總督の新年試筆――◇

謹賀新年　南次郎

謹賀新年　大野綠一郎

蔣介石氏なくとも國民政府は確立

上海で川越大使は語る

【上海三十日同盟】川越大使は三十日午後二時十分南京より上海に歸着したが、大使は官邸に於て語る

西安事件について南京政府の毅然たる態度は注目に値する、蔣氏なくとも國民政府の基礎は確立されてをることを證明された、自分は當分南京に行く豫定はない、日支交渉再開は何時になるか分らない

蔣氏に長期休暇を與ふ

【南京三十日同盟】三十日の中央常務委員會は蔣介石氏の辭表慰留方につき協議した結果辭表却下慰留することに決したが、即日蔣氏に對して現職の儘一ケ月の長期休暇を與へる旨發表した

米政府新年方針を示唆

【ワシントン三十日同盟】アメリカ政府はいよいよ一月一日ワシントン條約の失効によつてたゞちに決定を要する數個の問題として主力艦建造問題並に太平洋諸島問題を控へてゐるが政府當局は新年の方針を示唆し、三十日次の如く言明した

一、ルーズヴェルト大統領は議會の委任權限に基き、建造費約五千萬ドル三萬五千トンの新戰艦二隻の建造を命じ、世界第一海軍國の威容保持にあたるであらう

一、一方アメリカ政府は太平洋島嶼問題については更に日英など關係各國の動向を見守るであらう

西班牙を繞る國際間の空氣

◇一段と緩和さる

【ベルリン卅日同盟】イタリー政府は英佛兩國政府の義勇軍派遣停止要請に應じ、バレアリック群島駐屯中の義勇軍總指揮官ロッシ伯の召還に次いで、ドイツ商船パーロス號がスペイン政府軍の手で拿捕された結果、スペイン内亂をめぐる國際間の空氣は一層緩和を見るに至つた、三十日ベルリン消息通の觀測する所によればムッソリーニ首相はヒットラー總統に對し

一、伊太利政府は今後スペイン革命軍の支援を停止する

一、ドイツ政府に於ても出來得る限りスペイン問題から手を引かれたい

との意向を表明したといはれる、しかしヒットラー總統が果してスペイン干渉を思ひ止まるかどうか豫斷を許さないにしても、英佛兩國政府の主張に譲る態度を明かにしたことは獨西ファッショ戰線に一大打擊を與へるものと見られてゐる

米政府中立法修正を企圖

【ワシントン三十日同盟】米國政府は現行中立法に「内亂」に關する規定がないのを理由にスペイン向飛行機その他軍需品輸出を許可したが、同措置に對して國内の非難囂々たるに鑑み、中立法の一部を來議會に於て修正し「内亂」に於ても軍需品の輸出を禁止する旨の項目を附加する意向と傳へられる、スペイン向軍需品の禁輸を斷行することにより米國政府はいよいよ不干渉委員會の措置を支持することにならう

帝國製麻第三次の工場敷地

三水に決定か

【東京支社電】帝國製麻の北鮮における第三次の工場敷地は三水と決定する模様である、即ち同社では咸鏡南道における亞麻栽培が順調に進み既に甲山、豐山の二ケ所に製線工場を建設してゐるのであるが、從來までの成績に鑑み明年度中に更に一工場建設の必要を痛感してゐたが此の程第三次工場敷地は同じく咸鏡北道の三水とすることに内定をみた模様で、恐らく明年中には實現の運びに至るものと推測される、而し同社では更に第四次五次の計畫を有し、やがて五ケ所の製線工場を建設する計畫を有してゐるが、その完成の曉には五六千町歩の亞麻栽培が行はれるものと豫想され、北鮮開發の上から注目されてゐる

濠洲政廳輸入許可制廢止を公布

【キャンベラ三十日同盟】濠洲聯邦政府は村井總領事館にガレット通商大臣が本年七月八日實施した日本品に對する輸入許可制を一月一日より廢止する旨公布した

取引店を初立會で表彰

朝鮮取引所の新年初立會に於て證券部では左の取引店を表彰する事となつた

▲賣買高之部

一等　東西證券米穀株式會社
二等　アジア證券株式會社
三等　二田原秋三郎
四等　新田茂氏
五等　大阪證券株式會社

▲營業經續十五ケ年

一、同十ケ年　内海清臓、京城證券株式會社

ローマ教皇危篤

【ヴァチカンノ市卅日同盟】ローマ教皇ピオ十一世の容態は益々惡化、卅日朝來全く危篤狀態に陷り主治醫ミラニ博士は教皇の枕頭につめきりである

大川翁逝去

【東京電話】貴族院議員、朝鮮勸業社長大川平三郎氏は豫ねて神經痛で湘南の川區中の里三六七の自宅で靜養中のところ卅日午後七時遂に逝去した、享年七十七、葬儀その他未定

氏は川越藩士大川修三氏の二男故澁澤榮一子の甥先代與助氏の養子となり明治十八年渡米、帰朝後その後歐洲を視察すること前後八回、實業界に雄飛し淺野セメント、王子製紙、日本鋼管その他七十有餘の銀行會社の重役、朝鮮では昭和二年から朝鮮鐵道の社長となり、朝鮮山製紙、國城拓殖、朝鮮電氣工業にも關係あり、現在勳三等、資源審議會委員で昭和三年四月貴族院議員に任ぜられた財界の巨頭で、朝鮮にも屢々來て馴染深い人である家族は登子夫人、長男義雄氏ほか二女は他に嫁す＝寫眞は故大川平三郎翁＝

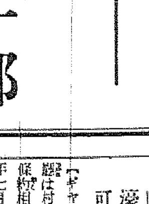
米日爲替【ニューヨーク二十八日同盟發】買二八弗二五仙、賣二八弗二三仙

對外爲替（朝銀建値）
對米　二八弗一六分七
對英　一志一片一六分一五

◇梅崎延太郎中將（元第廿師團長）入城中卅一日朝大邱へ

謹賀新年

李家直善
帝國地方行政學會
朝鮮本部
社長　大谷仁兵衛



初夢はカルピス
つんだ宝船

京城府明治町八
三笠商會
電話本局二一〇五・二一三七番

京城府黃金町二ノ三四
東洋畜産興業株式會社
電話本局五一一七番・六六七番

開慶邑内
官公吏一同

鎭安郡、各面、各學校
職員一同

京城電氣株式會社工事受託店
黑野電氣工務所
京城府北米倉町九十二番地
電話本局一九六二番

喪中に付き年賀缺禮仕候
廣池武士
仁川府仲町

鶴城鑛業株式會社

本店　東京市京橋區銀座四丁目二ノ一（聖書館四階）
電話京橋(56)一八二六番

出張所　京城府寬勳町一九七ノ九
電話光化門(3)二九六番

鑛業所　忠淸南道保寧郡川北面鶴城里

取締役社長　劉軾烈
專務取締役　陶山繁雄
取締役　金恒鎭
監査役　陶山文次
監査役　劉轍烈

本年の外交問題

半澤玉城

支那問題

[illegible]

歐洲問題

[illegible]

我外交關係

[illegible]……ればなるまい、併し各國の通商戰略、通商戰術は暗ぼ出し切りの形に在るから、案外新局面が打開せられるかも知れない、周知の如く日本の通商の量味は廉價良品を多數に供給し得る事であつて、然るに各國の通商戰は政治的に此の貨物を入れまいとするのであるから……[illegible]

＝二＝ 假日本の通商貿易は……[illegible]

＝若＝し夫れ昨年十一月末に成立した日獨防共協定は、本年度に於て相當の効果を發揮するに相違ない……[illegible]

景氣の動向

太田正孝

（一）

＝新春＝の國際聯盟は脱[illegible]として、昭和十二年の景氣を樂觀してゐるものがある、その樂觀もなか〳〵強い。こゝろみに、こゝ數年來における日本の歩みを見よ。これを外にしては、國際經濟上にある種の脅威をたすけるほどの餘力を示し、內には異狀な發展を見せるなど、外國人を驚歎せしめてゐる進歩が何よりも雄辯ではないかといふのである。また、これを內にかへりみても、産業金融の各方面にわたつて、すばらしい發展を見せてゐるからであるといふのである。すなはち、生産の如きは

＝量に＝おいて昭和三年頃の倍以上にもなつており、とくに工業的生産の如きは、さらに高い比率を見せてゐる。しかも、それらの消費材は見事に捌かれてゐるではないか、勞働の就業率とても累年增加し、紡績女工の如き地方によるとこれを得るに苦しんでゐるといふほどである。あゝ、殷賑なる哉日本の産業よ、ぐん〳〵伸びて來た公債も、三十億圓あまりを、手ぎはよく消化してゐる。そこに惡性インフレーションの徴兆だも示してゐないではないか、爲替相場も、對英一シルリング二ペンス、對米二十八ドル半見當で安定し、金利も三分五厘までに下げて來てゐる。

＝なる＝ほど農村のみぢめな姿もつゞいてゐたが、匡救事業によつて支へられたうへに、昨年來米も繭も麥も收穫量は減つても價格が高かつたために、ところを潤ほしてゐることを見のがすことは出來ない。――から見るかぎりにおいては、我が國民經濟は堂々たる發展である、萬々歳である。

（二）

＝けれ＝ども經濟日本の現狀は、經濟のもつ力によつて動いてゐるといふよりも、寧ろ多くは政府の政策によつて引づられてゐる部分の少くないことを見なければならぬ、表面に映し出されてゐる景氣相とても、國防强化に伴ふ軍需工業の繁榮してゐることや、不況對策のために行はれる事業と關聯をもつてゐることなどは、こゝに改めていふまでもない、あるひは、金輸出再禁止による爲替安や、金利低下への誘導の如きもまた經濟に對して、推進力たる役割をつとめてゐるといはざるを得ない、もちろん、國民經濟力において

＝これ＝に對應して動いてゆき得る素質があつてのことであるが、さうした道程は、どこまでも限りなく進められ得るものではない、この際問題となるのは、明年度の豫算である、すなはち、卅億四千萬圓の歲出と、これを整へるための五億圓にちかい增税と十億に垂んとする公債の發行とが、財界にもたらすべき影響如何である、いふまでもなく、眼のあたりに見る國際情勢は、日增しにわれらの關心を深めつゝある、外交々渉中にある支那が、我が方の不手ぎわは論として、本文第[illegible]に突發せる[illegible]によつて、これからどうなるかは、一個の疑問を殘さざるを得ない。

＝また＝日獨協定に氣を惡るくしたロシアが、漁業條約調印につむじを曲げてをり、かつ現實に排日の極東軍を擁しつゝ人民戰線の名にかくれて盛んに支那に働きかけてゐることを注意しなければならぬ。さらに、太平洋の洗ふ浪とても、ゆたり〳〵とばかりに眺めてゐられないふし〴〵がある、この意味において、我が國としては、東亞の安定勢力をつゞけるための國防を主力とせる豫算と

＝增税＝ならびに公債增發の兩建とをもつてしなければならぬ營養狀態があるのであらう、しかも、それが同時に産業界や金融界への壓力となつてあらはれるおそれがあるのであらう、從つてこれまでのやうに國防豫算は重點工業を榮しめるなど、簡單に呑み込み難いものがあるのである

（三）

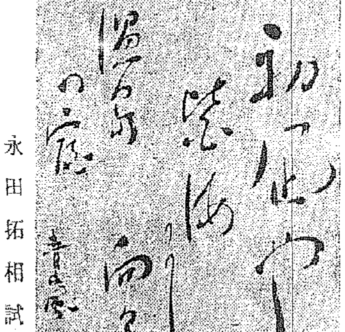
＝悲觀＝論もしくは警戒論の生れる所以も、そこにある、すなはち、まづこの膨大なる豫算が故障なくこなし得るかゞ問題となる、すでに國內の生産設備は手一ぱいになつてゐるではないか、これに用ひらるべき資源とても、これを摑むにいろ〳〵の困難が横はつてゐる、現に最も必要とする鐵類が、急激なる値上りと品不足狀態におかれてゐることは、如實にその一端を表現してゐる、しかもこれらの不足を輸入によつて補はんとすれば、貿易事情を惡るくすることは必定であり、巨額の入超は國際貸借にひゞき爲替相場を動かすことになるし、物價も高められることになる

＝その＝ことは、重要工業についてのみのことではない、膨大豫算による經費の支出と增税とは、直接間接に物價高へと導いて來るからである、それが結局事業の採算を惡るくし、輸出の伸びを鈍らし、國民生活を壓迫することになるのである、さうなつてはわづかばかりの國民生活のためにする經費を支出したぐらゐで調整し得らるべきはずはない、もしも一方に巨額の增税を負はされて、他方にそんな破目にでも陷れられることになれば、世間は物價の暴騰にあつたといふ感じを抱くことになるにちがひない、ひるがへつて金融關係から見ても、直接國防費を調達する以外に、生産施設擴張のためにする資金や

＝滿鐵＝を通じて整ふべき滿洲國ならびに北支方面における經濟建設のための資金を調達することなど考へると、その多難なるべきことは想像にあまりある、しかも、かうした事情は、互に金利低下の邪魔をする材料となる、そのために金利の足踏が起ることになると、公債の價格にひびかねばやまないであらう、金利が下るといふ見透があつたればこそ、今日まで公債の價格が維持されて來たからである、さればとて、無理にも公債をもたせようとする統制方策に出るとしても、それには一定の限界があり、一般に今は統制强化の時期でないとして

＝これ＝をならつてゐることを見ぬかねばならぬ、臨時とても價格經濟に紗とりが出て來たといつても、上述せる物價高の生活に對する壓迫もあり、しかも巨額の借金は依然としてその肩にかゝり、中小商工業者とても、金ぐりに苦しいことに變りはなく、形ばかりの商工組合中央金庫によつて救はるべくもないのである、かういふ見方からして、われらは昭和十二年度をもつて、物價の昂騰と金利の足踏みと所得の不安とに惱みぬく年ではないかと考へるのである、爲政者や財界人の注意を喚起したい點も、そこにある、もしてれ一歩を誤るにおいては、取りかへしのつかない事態を惹生するであらうことを恐れてゐる

＝とく＝に、財界は、行き過ぎを忌む、樂觀が禁物である、なほ、國際景氣の我が國に及ぼす影響としては、いまのところアメリカの景氣のすばらしくよいことが盛んに謳はれてゐる、我が國の生糸も、よい、しかし、大統領が選擧の際の支援にむくゆるためにも勞働者保護の政策でも强化することになれば、價格の騰貴などによる急激なる物價高があらはれる際の用心を缺いてはならない、また、歐州支那にあらはれた折角の軍需物資作による景氣が英米の支持によつてつゞけてゐる暫時の現狀と共に、少からぬ不安を感ぜしめてゐる。要するに昭和十二年の財界は、內外ともに多事であり、くれ〴〵も充分の蓄財と冷かな態度とを要するといはねばならぬ。（昭一一、一二、一六）



永田拓相試筆

鵜沼政局閑談

廣田首相と語る

廣田首相は我國空前大三十億四千萬といふどえらい豫算を鵜呑みにして、別に反芻するでもなく、また後からく〳〵と降りかゝる內外幾多の難問にぶつかつても、眉の根一つ顰めることもせず、いと平然と丁丑の春を迎へてる、非常時日本に適はしく、その胃袋と心臓の闘拔けて偉大なことは眞に稀に觀るところ、羨ましい限りだ、そこでこの偉大な胃袋と心臓に直接觸れて見るといふ使命を持つて記者は小春日和を懷しい初冬の一日、週末を鵜沼に廣田首相を訪問と出掛けて見た、うち寛いで刻み（煙草）をきせるでスパ〳〵吸つてゐる首相は總理大臣になつてから肥つたといふ、身長五尺四寸、體重十七貫の體格が、中學生時代から柔道で鍛へ上げた胸板も厚く心強い、たゞ茶色の勝つた瞳の色が一寸氣になる

記者「總理、五月政變說といふのがありますが、何うですか」と先づ首相の政局觀から、心臓打診にとりかゝる、と、首相は記者の銳眼か、とぼけ顔で――

廣田首相「政變？理由は――？」

記者「たとへば行政機構改革問題の省の廢合――、いまの閣僚を一人減らすことも容易なことぢやありますまい」

首相「さう〳〵、だが行政機構の問題は閣僚の數が一人減るとか二人減るとかいふ問題ではない、實際の行政實務の必要から改革すれば省の數など增えるかも知れんですよ、行政機構改革の問題はもつと大きな問題ですよ、これを根本的にやるには十年は懸る――」

記者「この內閣でやれますか」

首相「やらせればやる」

ハヽア、してみると廣田內閣を十年も續けるつもりかな、と先づ舌を捲く

記者「では外交問題は――」

首相「さう〳〵重大な問題です。一番重大な問題だ、この內閣の使命は對外關係にある、否、外交官の出身として僕の唯一の念願はそれですよ、諸君も分つてゐると思ふが、對外關係は何しろ相手のあることだから、短兵急にはゆかぬ、諸君も氣長に觀てゐなければならん」

諸君――といふこの「諸君」は、頗る意味深長な「諸君」だ。

記者「どうも今度の議會はうるさいでせうね、增税案や[illegible]問題もあるし――」

首相「議會が[illegible]で議論することが一番いいんですよ、それが若し正に國民の要求が反對するなら、[illegible]」

記者「もし今度の議會が豫算案に反對したら、あつさり退陣ですか」

首相「どうも日本人は氣が短くて困る、政府が折角豫算を編成したものならこれを實行させて見て、それで惡かつたら辭めさせればよい、どうも短氣なのはよくない」

記者「だが一般にはいまの議會の現狀で國民の前途が開けると思つてますか」

これには首相默して答へぬ、だが微笑を含んだ眼ざしは「否」と言ひたげだ。

記者「だが斯うして年々膨脹される惡性インフレ――と、一體日本は何うなるんです」

首相「國民の信用さへ續けば、[illegible]」

この信念、この期待こそ、かの第六十八議會に於ける「私の在任中は斷じて戰爭はありません」といふ、大隈宰相な大せりふを生んだのだらう。

面會時間が切れさうだ、最後にもう一突擊を試みたが――

記者「で、廣田內閣、一體この內閣の壽命を御自身何う考へますか」

首相「倒れるまでさ――」

記者「二年でも――三年でも――？」

首相「さう、十年でも――」

到頭、吾れながら拙劣にはぐらかされてしまつた、首相はニヤリと刻みの煙を吐いた。流石は霞ケ關育ち、老巧に尻尾はつかませぬワイと今更めいて感心、この邊で「文責在記者」とお斷りして引下つた次第である（完）

賀正

江東郡院道面長　杉浦淺吉
平壤府幸町　西鮮飲料株式會社　電話一四九三番
平壤府外西城里　久保瀧次
平壤府新陽町一四三　有本甚三郎
平壤府南門通り　平安屋靴鞄店　電話一三八番
平壤府船橋里　國弘新一
平壤　尹同植
平壤府陸路町　共榮製材所
平壤府南門通二　藤井商店　電話一八三五番
平壤府船橋里郵便所長　河崎宇一
陽德農民共生組合
陽德面內　金應斗
平壤府上秋町　前田孫平
平壤府壽町三番地　藤野磯雄　電話六七五番
洋服 洋雑貨 洋食料品　昭和洋行　電一七一〇
平壤府竹園町五番地　野口商店　電話一四七九番
順川産業組合　梶山正

平壤護謨工業會
金剛ゴム工業社　鮮滿ゴム工業社
久田ゴム工業所　世昌ゴム工業所
內德ゴム工業所　平安ゴム株式會社
大同ゴム工業社　正昌ゴム工業社
第一ゴム工業社　平元ゴム工業所
道立平壤醫院
平壤府櫻町　株式會社平壤魚菜市場
平壤府船橋里　朝鮮煉炭株式會社
平壤辯護士會
平壤稅務監督局　食堂員一同
平壤府黃金町三三　稻葉組販賣店　電話一三六番
平壤府　金融組合理事土曜會
株式會社平壤劵番
平壤、鍾路　和信　電話二一〇〇番
平壤地方專賣局
平壤遞信分掌局
平壤郵便局

文明批評の再考察（上）

―藤村、寛、如是閑の場合―

新居格

「文明批評」といふ言葉はあまり聞かれなくなつたが、さういつた意味の批評が今日としては却つて必要になつて來たのではないかとわたしは思つてゐる。

文藝批評といふのがある、文藝作品を、文藝界の傾向を、作家を批評の對象とする場合のものである。ところでさうした文藝批評の外に、文學者達によつて社會批評とか、世相批判とか、風俗時評とかといつたものが試みられるやうになつた。それらは文藝評論ではないが、文藝評論同様に、時にはそれ以上に文學者にとつて重大としていい場合さへある。文學者も人として社會の諸般に關心し、それにたいしては文學者らしい見解をもつものであるから、それを發表する箇所を持つとしていい。

また社會、風俗、世相にたいする識見を鋭くして置くことは、文學そのものに時代性を強く滲出せしめる所以でもあるのである。

×

文明批評とは文藝批評は元より社會、風俗、世相から文化一切の問題に對して時代的批判を加へることである。そしてそのことこそ今日讀者大衆が要望してゐるものではないだらうか。わたし自身の場合から例を取つて見る。わたしが文藝雜誌に文藝評論を書いてもそれの訴へる面は主として文學界だけである。だが、僅か二枚か二枚半の短文ながら新聞の政治面に發表したものにはもつと廣いアッピールが利く。評論の範圍が廣いからであらう。同じやうなものでも、發表の箇所によつて効果が違ふ譯だ。文明批評は新聞に文學者の諸君によつて試みられねばならぬと思ふ理由はそこにある。發表箇所の指導ばかりでなく今日の時勢では文學者もまた主として文學界に訴へる文藝批評もさることながら、社會一般に訴へる廣い範圍を對象とする文明批評を許敵ならしめていゝ社會的理由もあるのではあるまいか。

わたしのみるところでは、バアナアド・ショウやウエルズは文明批評家である。彼等の言說は文學界のものであるよりもつと廣く社會的であり、時には、世界の思潮の上に指導の役割をなす。例へばショウが英國の社會議會を評しようとする。その評は高い聲價好きの文士がした評であるとして英國の社會は冷遇はしない。一つの意見とし、理論の一種として傾聽されるやうな。その點、ウエルズも同樣である。

我國の文壇にして發達だけの斤
を發見しうるときには吾
々が居るであらうか。

寂寞の感なきを得ない。

日本の思想界には二つのものを缺いて居る。一つはその體の斤鑿をもつ文明批評家であり、もう一つはルウソー型の思想家である。後者のことは除地があれば後で述べることゝして、わたしは文明批評について綴けることにする。

×

島崎藤村を一例として考察させてみる。彼は日本の文壇的見解によると、すぐれた第一流の作家であり、それだけの斤鑿を文學界ではもつてゐる。しかしその斤鑿たるや、文學界以外では不換紙幣たるに過ぎぬ。彼の識見は文學以外のことには觸れないことにしてゐるらしい、だからショウ翁の如くファッショと議會政治に關する議論は出來てもしないのかも知れない。だが、假りに藤村がショウのやうな議論をしても、日本では文士の政治思想に對する言說として面白半分の餘技としてしか取扱はないであらう。いひ換へれば文士藤村のその場合の所說には斤鑿が認められないのである。日本では賢明に文士は餘計なことはしないで分を守るやうにしてゐるやうだ。見樣によつてはまさに賢明であるかも知れない。しかし、わたしからいはせると、その賢明を守るために、發達させなければならぬ他の賢明を萎縮させてゐると思ふ。翻譯すれば文明批評の未發達であり、他の社會に對する言說の斤鑿喪失である。さうした文士としての一つの賢明さの守りを堅くすることによつて、もう一つの賢明を萎縮しいつとはなしにその萎縮を自然させてゐる。花袋、秋江が讀賣新聞紙上で三人の老作家論の一つとして藤村を批評したことは近來の痛快事であつたが、秋江のその所論はわたしの見方に弱評するとわたしのいふもう一つの賢明の限界といふことに歸着するのである。

×

藤村に比して比較にならぬ程大きく發展した世間性をもつてゐる菊池寛に就いて考へてみよう。彼は藝術に於いて藤村のやうな透徹した努力を夙に擲つてゐる。彼の活動の範圍は大きな翼をもつてゐる。わたしの言葉でいへば第一流の賢明さを却つて閑却した。それ故に彼はその翼を大きくした。それにも拘らず第二流の賢明にも傾斜がなさ過ぎ、あまりにも無意思であつた。だから、彼のもつ翼の廣さ、大きさは文學社會を中心にし、それに世間的な翼をつけたのに過ぎないのである。

彼のプラグマチックにして常識的な常識性に前進の拍車をかけて文明批評の領域に突進しなかつたのであるか。わたしの惜しむのはその點である。結婚を論じ、戀愛を說き、近代女性に言及してなかなか斤鑿のある彼である。しかし、その範圍は要するに、文學社會を周繞する世間的範疇內でのものたるに止まる。彼の言說が議會政治を論じファッショを說いて世の聽聽を牽引するだけの斤鑿はなく、彼自身もそこまでは意圖してゐないやうである。ドラマチストである點は、菊池はショウに同じ。愛慾を描き且說述するに於て、菊池は寧ろショウ以上だ。これはわたしがショウの諸作をよんでみて、彼が女を描くことは明らかにまづいと思つたからである。だが、社會思想・政治批判の知識若くは見識に至つては菊池はショウの傍にもなつてゐない。菊池が文明批評に適當な地位をもちながら文明批評家たるに値しないのは惜しい點。彼の條件に稱備が足らぬからではないか。彼の說に文明批評的斤鑿を他の社會に受取らせないのは實にその點に存する。

隨筆　うぐひす

內田百閒

私が以前に飼つてゐた鶯は、石黒氏に貰つた子飼ひであつて、湯島の今村入兵衞から出た「三保ノ松」といふ名鳥の附ケ子だと云ふ話であつたから、系統は正しい筈なのだが、下ゲ音が中途で切れて「ほうほけ」と云つたきりで止めてしまふ。囀ふ時からその語はあ流石は子飼ひの鶯であると思はれた。普通の藪鶯には、聲に餘韻がないから、荒い地聲が騷々しいばかりで強い家の中で飼ふと八釜しくて始末に困る。春が明ける頃になると、夜少しの明かりが射しても鳴き出す事があるので、靜かな晩町などを、十時十一時頃に通つてゐると、突然どこかの藪の中で、藪鶯が鳴き立てるのを聞く事がある。板を叩き合はせる樣な、鋭くて平つたい聲が、暗い穴の下に大變な響を傳へて來る。邊りが森閑としてゐる時に、不意にそんな聲を聞くと、何だか不氣味な氣持ちのすることさへある。

さう云ふのにくらべると、私の鶯は節はまづくても、聲がいいので、外へやつてしまふ氣にはなれない。しかし、何とかして節をなほす方法はないかと考へた末に、幸ひまだ一年目の若鳥であるから、親鳥のはつきりした節を聞かせれば、仕舞ひの方の鳴けないところを覺えるかも知れない。それには本當の銘鳥にもう一度附けるに越した事はないが、それは金もかゝるし、又一通りはその修業は濟んでゐる筈なのに、よく覺えてゐないのだから、もう一度親鳥の節を聞かせたところで、急になほるとも思へない。それよりも大きな聲で荒つぽく鳴く藪鶯を聞かした方が、手つ取り早いのではないかと考へた。飼桶で飼ふ文字口鶯と藪鶯とでは、鳴き方も節も違ふのだが、そんな事はかまはない。たゞ「ほうほけ、ほけ、く〳〵」と云ふ見つともない尻切れが、昔からだれでも鶯の啼に模擬する通り、「ほうほけきよう」と結ぶ樣になりさへすればいゝので、なほその上に文字口の鳴き方と云はれる「ほうほけけこう」とまでならなくても我慢する。藪鶯を聞かせた爲に、節が崩れるかも知れないが、聲の音色まで變る樣な事はないであらう。節は何でも、兎に角、結びの尻切れさへ直れば、それでいゝと考へて、早速音羽の小鳥屋へ出かけた。

三ツ音が揃つてゐると云ふので藪鶯としては隨分高いと思つたが五圓出してその鳥を買つて來た。

持つて歸つた日から早速鳴き立てゝ、無遠慮な大きな聲を家ぢゆうに響かせた。一日二日すると、その聲につれて、飼桶の鶯も時々「ほうほけけこ」と鳴き出した。結んではゐないけれども、まだ曖昧ではあるけれども、結びを鳴きかけてゐる事は確かである。大いに自信を得て、私の計畫の成功しさうなのを喜んでゐると、今度は、時々私の家に餌を持つて來る大橫町の小鳥屋の亭主が來て、私の話を聞くと、目を丸くして驚いた。

『そんな無茶な事をなさいまして勿體ないぢや御座いませんか』

『いけないだらうか』

『折角の附ケ子鶯が臺無しになつてしまひます』

それで、定見のない私は、云はれて見ればそれもさうだと云ふ氣がしたから、又藪鶯につけるのは止める事にした。買つて來たばかりの藪鶯を音羽の鳥屋に持つて行つて、追ひ金を出した上で、ほかの鳥と取り代へて貰つた。

昔からよく云ふ「阿房の鳥飼」と云ふ言葉は、小鳥に夢中になる連中を嘲つたものに違ひないが、もう一つその中に含まれた意味がある。他人の持つてゐる物を欲しがつて、自分の物と取り代へて貰ふ樣な事をすれば、きつと損をする。それを戒めて「阿房の取り代へ」と云ふのであると云ふ事を聞いた事があるが、もしさうだとすれば「阿房の鳥飼」である上に、又その鳥を小鳥屋で取り代へて追ひ金を拂つたりするのは、勝の惡い「阿房の取り代へ」の方も兼ね備へてゐる事になる。手間のかゝつた阿房だと、自分ながら呆れるのである。

藪鶯はたつた一日か二日で離してしまつたので、結びを鳴きかけてゐた飼桶の鶯はまたもとの通りに「ほけ、ほけ」とばかり鳴きつづける樣になつた。後で考へると矢つ張り藪鶯でもいゝから、附けておけばよかつたと思つた。到頭春が過ぎて、梅雨から土用まで、「ほうほけ、ほけ、ほけ」で通したので、仕舞ひに私はその聲を聞くのが情なくなつた。

それで、結局その鶯はあきらめて、新らしい鶯を買ふ氣になり、去年の秋から、その事を湯島の今村に頼んでおいた。

初めは湯島のすんだ親鳥を買ふつもりであつたが、親鳥は値が高いし、手に入れる事も簡單には行かないから、春を待つて、附ケ子の雛を飼つた方がよくはないかとすゝめられたので、又そのつもりになつた。

雛が來る事になると、今までの「ほけ」鶯が家にゐては困るので早くから人にやつてしまつた。その後に私の鶯籠には、外の飼桶を入れて、障子も新しく貼り替へたりさうして雛の來るのを待つてゐると、今年は時候が後れてゐるから雛の出るのも後れるとか、雨が續いたのでどうとか、小鳥屋が來て、延引の言ひ譯ばかりした。

やつと七月に入つてから、雛が來た。

その雛に就いては、又事を更めて書く事にするが、今年の土用の酷暑も無事に越し、鳥屋もすみ、子鳴きも止まつて、今は靜かに囀り木を渡る音が時々飼桶の外に洩れるばかりである。

今度こそはと思つて、私は春の初音を今から樂しみにして待つてゐる。

初春のうた

柳原白蓮

何かしらず神代を思ふ初日の出天地の中に我生かされて

戸あくれば勿體なくも元日の朝日てるなりたゝみの上に

けふ一日めでたきよことといひあへば詞のづからなる和み覺ゆる

一つ〳〵年賀の文をしらべゆきふとつまづきし思出のあり

新しき年と思へば惡くとも春の心にまづなじみけり

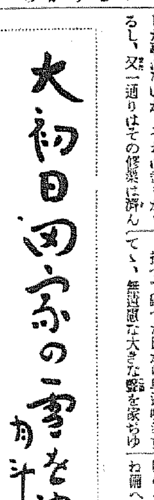
かはゆかりあたゝめられて咲く梅のはつはつ匂ふ春とならぬに

菊五郎の羽子板もてるをんなの子われにもありき父母の家

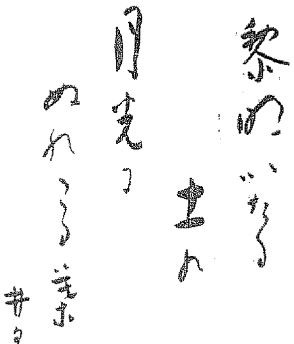
正月の遊びにつかれしはしためのまだ起きでこず門あけにゆく

勝まけのまだきまらぬに踊りいでし室におどろき客人かへりぬ

來るは誰そ垣のまぼりに見ゆるをばあの人か否とあらそひて待つ



大初日田家の雪を染めにけり（青木月斗）



黎明いたる土の
月光にぬれたる葉
（荻原井泉水）

明日の話題を作る人【1】

新進作家　鶴田知也

鶴田知也氏の「コシャマイン記」は、芥川賞の受賞作品の中で一頭地を抜いた堂々たる文學作品である。この異色ある作品の內容は北海道渡島の地に住んで滅びゆくアイヌ族を描いたもので、題材の興味も深く、それにこの作をより高めてゐるのは、すぐれた自然描寫である。主人公である滅びゆくアイヌ族のコシャマインの英雄的な悲壯な精神は、實に鮮やかに描かれてゐて、見事に、そして立派に渾然と出來上つた藝術作品である。

芥川賞の選者の一人である佐々木茂索氏はこの作を評して、鷗外の歷史ものを讀む感じだと云つてゐるが、如何にこの作が立派な文學的價値あるものであるかを物語つてゐる。また勝本淸一郎氏は、日本記錄文學の面目はあると嘆賞を送つてゐる。

この異色ある作の題材は、アイヌの叛亂を取扱つたもので、コシャマインの亂は、長祿元年（一四五七年五月）のことで、北海道史によれば茂別、花澤の一館を除して他の和人館は全部叛亂軍のために陷れられた。武田信房が奮戰してコシャマインを殺して漸く叛亂を鎭定したのであるが、この亂がアイヌ叛亂の最も大いなる一つなのである。

彼はこの異常な悽慘々たる材料を調べて、單なる歷史ものがたりにせず、立派な文藝作品にまとめあげてゐる。最初この作が世に出たとき諸々の批評家は口を揃へて、題材の面白さをほめたが、題材にたいして、題材が面白いなどといふことが適評なら、日本といふ所は妙な國だ、アイヌの叛亂といふことなどは我々に極めて近い題材で、少くともカフェ女とのいきさつなどより、先鋭ながらもつと我々の血に密着してゐるではないかと、極めて痛快な氣焰をあげてゐる。

彼は淺野吉氏一派の雜誌「文藝戰線」の同人で、文學的經驗は相當に古く、彼のゆたかな文學的才能は一部の人に認められてゐたが芥川賞によつて際立つて世に認められてきたのである。彼のやうに天分を持つた作家が、長い忍苦時代を經て見事な果實を結んだことは大いに祝福しなければならない。

彼がかつて左翼文壇に活躍したことを知る人にとつて、彼が少年時代神學生だつたといふ經歷はよほど珍しく思はれてゐる。それは彼の實家の宗敎がキリスト敎だつたからである。彼の父は明治二十年代に植村正久先生から洗禮をうけた古いクリスチャンで、彼が神學舍に學んだのは、さういふ理由で、不思議ではないのである。

彼は北海道を第二の故鄕だといつて、北海道のもつ偉大な自然を讚美してゐる。彼は北海道の自然から最も多くのものを與へられたと云つてゐる。彼はまた、一年に二度か三度は自然の懷ろに抱かれないと、頭腦の働きが鈍くなる、大自然の景觀は精神的に和げ、しかも生理的に利を高めてくれると告白してゐる。

金華園　京城府黃金町二ノ六七

京城府本町三丁目一〇二　三味線　土出松音堂

陶器硝子金物　石川物產商會

日之出商行　本店　京城府本町二丁目　支店

京城質屋組合

京城府黃金町一ノ二八　森電機商會　森安一　電話本局

謹賀新年

京城府長谷川町一二　中島商店　電本四九六

京城府南大門通二ノ一　合資會社　京城煉瓦　電本五四六一番

京城府本町二丁目一〇　正氣堂名刺舖　宮本榮太郞　電本五三九五

京城穀物商組合

京城府南大門通五丁目一八　朝鮮火藥銃砲

京城府南大門通三丁目八五　共同火災保險株式會社　京城支店　電本一七七八番

京城本町二丁目　モノベ寫眞館　電話本局四二一番

本町ホテル　京城本町二丁目　電話本局二一七一

京城本町二丁目　友井尙文堂　電話本局一五六九

京城府新堂町三七　料理　愛國莊　電話本局三四五七

中央物產株式會社　朝鮮水產株式會社

京城府長谷川町七四　合名會社　近澤商店　電話本局三二七五・長九四三

京城府　齒科醫師會

京城府南大門通五丁目一番地　古河電氣工業株式會社京城出張所　富士電機製造株式會社京城出張所　東亞ペイント製造株式會社京城出張所　橫濱護謨製造株式會社朝鮮出張所

鮮滿運輸計算株式會社　取締役會長　三浦喜八　取締役社長　岩橋一郞　副社長　郭斗榮　常務取締役　足立成久　同　李康仁

大正コンクリート工業所　坪川英士　京城府岡崎町一四　電話龍山四八〇

株式會社　朝日組　京城府蓬萊町三丁目　支店　仁川・鎭南浦・釜山

京城驛前　二見旅館　篠塚玉

京城　三越美容部

京城驛前　朝日タクシー　電話本局八八三二番

株式會社　本券番

昭和鑛業株式會社　京城事務所　京城府南大門通二丁目（日本生命ビル）

三菱鑛業株式會社　朝鮮鑛業所　京城府南大門通二丁目五番地

一月の家庭暦

行事豊富……

睦月、初春月、太郎月。正月氣分で、街も村も和やか、年賀の客のゆきかひで、歳末から永くお勝手向きに忙殺された主婦達も、來客の斷間にせはしく、客を送り出すと初めてホツとする。

☆一日、大内山は拜賀、參賀の文武顯官に埋められる。

☆二日、威勢の好い初荷、書初、初夢に多幸あれ。

☆三日、元始祭、お雜煮の祝もこの日でめでたく終る。

☆四日、政始の儀、官廳はけふから御用始、山開、初相場。

☆五日、新年宴會、初水天宮詣。

☆六日、消防出初式、門松はこの日取れるものだ。

☆七日、この日は若菜節ともいひ古來五節句の一つに數へられ、すゞな、すゞしろ、ほとけのざ、はこべら、なづな、ごぎやうの七種の若菜をお粥にたき込む、この仕來りは遠く唐から因由してゐる。

☆八日、陸軍始、觀兵式が華やかに行はれる日、諸學校も此の日から新學期を迎へる。

☆十日、陸軍初年兵入營、十日戎。

☆十一日、鏡開き、お鏡を割つてお汁粉を作ります。土藏開きも此の日。

☆十四日、注連かざりを外します。

☆十五日、海軍始めだが、海軍日本でありながら、陸軍始ほどに騒がされてゐないのは遺念です、小豆の粥で祝ひませう。

☆十六日、藪入り、おゑんまさまの釜の蓋があく日。

☆十八日、初觀音詣です。

☆二十五日、初天神、鷽替。

☆二十八日、初不動。

この月の中旬、宮中には講書始の儀に、「田家の雪」の詠進に於て披講さるべき御歌會始の儀が、いづれも宮中鳳凰の間で行はせられる。新春に景氣を添へるものに春場所の大相撲がある。

さて月暦では、小寒即ち寒の入りが六日、この日太陽は、南緯二十二度六分となり、寒氣凛烈を極め節分まで續くことになる、十七日が土用入りで、二十日は大寒入り。

家庭

お正月の科學 お餅の榮養價

――消化度が大だから過食し易い――

……醫學博士……有本邦太郎氏談

餅 ――昔から餅は消化のわるい食品のやうに思はれてゐますが、事實は米の飯よりも、赤飯よりも、すしやよりも消化がよいものであります。にも拘らず消化が惡いといふのは餅は他の食品に比して密度が大であつて消化液が内部へ浸み込むに比較的時間を要し、即ち消化に時間がかゝるのであつて消化されないのでありません、もう一つは密度が大であるから、從つて容積が小であります、やゝもすれば過食し易いのであります。

例 へば茶碗に盛られた飯一杯は餅なら、わづか二三寸角の小さい一片にしか相當しないから、三椀の飯を食べる事が容易であつても三片の餅を食べることはやさしいので、自然これが過食の因となります。

餅の中に含まれる營養素の量はもちろんその種類によつて異るが、大體水分三三パーセント、蛋白質七、六パーセント、脂肪〇、一七パーセント、含水炭素六〇、二二パーセント、無機鹽類〇、一パーセントであつて同量の白米飯に比して遥かに大であります。たゞし、これはつきたての餅であつて、時日を經て硬くなり水分の減じたものは更に營養素の含量が比較的大きくなるわけであります

餅は白米と同様ビタミンを含んでゐませんから、これを主食にすると、ビタミン缺乏症に陥ることになります。

餅 の食べ方には色々ありますが、成るべく消化をよくしようと思へば、少しく加減して燒いて香しくするのがよいと思ひます。さうすればその香氣が食慾をそゝり、消化液の分泌をさかんにして、從つて消化よくなるわけであります。又よく大根おろしを添へて食べることもありますが、これは大根おろしの中の消化酵素ヂアスターゼが消化を助けてくれるから有効であります

餅を食べたあとで蜜柑を食べると消化を害するといふやうなことをいふ人もありますが、蜜柑の酸度は僅かですから、大した影響はありません。

妙齢の娘をもてる母に語る

今井邦子 (一)

年 頃の娘をもつたお母様達から屢々御相談をうける事ですが、女學校を卒業し、お嫁入をするまでの四五年の間の娘の教育について、母としてどういふ心持で導いていつたらよいかといふ、此は全くこのごろいつものお問合せで私自身もその事については少からず心を悩ましました。

第 一に昔は女學校を卒業させたといふ事だけで親としては人並すぐれた立派な娘に仕立たと云つていゝ状態であつたのですが、最近は女學校を卒業させたといふことは昔の小學校を卒業させたのと同様、それは餘りにも當然なことで社會の状態及び生活の程式なども高等女學校を卒業したくらゐでは餘り役立つてゆかない様な、要として、母として責任重大な時代に向つて居りますから世の母親がこの問題に悩むのも誠に當然なことゝ存じます

考 へようによりますと女にはこの時期が最も心して時を惜み、女性として高く豐かなる教養をうけ、魂の力を培ひ、蓄つておくべき時期でこの時代にうけた精神的、また肉體的教養といふものは、その婦人の一生をも支配するほどの大切な時期でありますから、實におろそかには考へられません。もつとも現代では社會の状態も複雜をきはめて參りましたので、女學校を卒業してたゞちに家庭に入る準備をするといふやうな事は出來ず、直に職業戰線に乘出さうとする女性の方々も隨分多くなつて來て居ります

そ してその事には、決してゆるがせにならぬ現在の社會の問題があるのですが約束の紙數の都合で職業婦人のことについては稿を改めて申し述べる事とし、この稿に於ては普通の女學校を出てやがて家庭に入るべき若き婦人の教養についてのみ書いてみます。

この時期は女性にとりまして、最もものを素直に受入れ、良くならう、立派にならうと純な心をはりつめてゐる時代ですから學校時代よりも更に覺えがはやく、年齢の關係からものみこみがよくなつてゐてお稽古ごともずんずん進んでゆきます

普 通大方の家でなさるお茶の湯活花それも結構な事だと思ひます、これは一見或る階級から贅澤視されますお茶の湯や活花の根本精神は決してそんな所にあるのではなく自らものの調和といふものはどういふ所にあるかといふことが自然に會得出來るやうな所にあるのですからやはり一通りは心得ておくべきことだと存じます

すぐに間に合ふ

新年の……來客向料理

柚子味噌豆腐

材料、豆腐、甘みそ、柚子、砂糖、味醂甘味噌二十匁ほどをよく擂つて擂鉢にかけ砂糖大匙五杯、味醂一杯と水少々を加へて溶き弱火にかけ杓子でかきまぜながら煮詰めておろし、柚子をおろしたものを小匙一杯ほどまぜ柚子味噌をつくつておきます

豆腐はお椀に丁度入るくらゐに四角に切り鍋に湯を煮立たせずぐ豆腐を入れ、豆腐に熱が通つたらあまりぐらぐら煮ないで直ちに掬ひ上げ、椀に盛り、柚子味噌をかけてすゝめます

鮑の鹽蒸

正月になくてならぬ芽出度い鮑のお料理です

鮑は生のよい鮑貝を選び貝のまゝ肉の面を鹽でこすり洗つてから肉の上に鹽を二分厚みにたつぷり盛つて蒸籠で一時間も蒸します、蒸せたら冷まして鹽をのぞき貝から出して腸を取り水洗して周圍の縁を切り取り、縦に二つに切り更に小口から厚切とします

貝の肉と腸をぶつ切にしたものと交互に體裁よく盛り合せてすゝめます、これはお醤油もつけずそのまゝいただく方が本當の味が味はへます

家庭重寶メモ

子供の足袋の長持法

子供の足袋は底に、まわり小さく底の形に合せて、ネルの布をたち、中にはめこんで一面に縫付けてはかせるとあたゝかな上に長持します

主婦の手帖

スマートな姿を見せる工夫としては、袖なしのチャンチャンコを、襟だけ着物に併せて着ます、その背に綿を入れる工夫が大へん暖かです、襟はやはり袖なしにして別に作り、上下別々にして用ゐるのが秘訣です、歌留多會や羽根つきなどの時は、上前も下前も普通より上げて、強く腰紐を締めると着崩れはしません、

晴れ着の後始末

用済みの晴着の整理はブラツシユで塵をきれいに拂ひ落し一枚宛に風呂敷に、更にその上を油紙で上包みするがよろしい、帶は衣類の間に挾まず一番下に入れます、酒の汚點は、硼砂液にアムモニア水を少し混ぜて拭ひ水で始末します

當代一流 爭覇血戰譜 (27)

……奥野氏二回戰三八日……

平手番 ▲五段 加藤治郎 先 △四段 奥野芳基

第八局 圖は――三六歩迄の局面

▽三六歩打 8
▲二一桂打 41
▽八六角 3
▲七七歩打 2
▽六八玉 19
▲四五歩 3
▽五四桂 11
▲二四角 1
▽五七金 6
▲四六歩 6
▽同 銀
▲四五歩打

「持駒」加藤氏 桂歩

「持駒」奥野氏 五歩

持時間各九時間　消費時間 ▲五時間四分 ▽三時間二十六分

血と汗で鍛へた力 加藤五段苦心の八五桂

觀戰記 双龍子

加藤五段攻勢をとることも得ず、苦戰大分形勢不利であつた。ところが前局に當つて二五銀を掴かれる手順となり悲觀狀態の域を脱したやうだ同局は奥野四段の手番だが、完全に頓挫の型だ、この場合唯一の打開策として▲八五桂打と勝負を入れたいそれは奥野四段の防手が物たりない憾みがあるからだ――ならどうする。この場合敵は八五桂打ちを唯一の攻め手掛りとするに相違あるまい、そこでこれを未然に防ぎ、以て三筋の要防を兼ね、五九角と引きたいところだ その時敵四五歩なら二四玉、同歩、二五飛でいゝ譯、又五九角に對し三五桂なら二六銀で差閊へないと思ふのだ

席上挿話

〃奥野〃三八歩と打つて後手を引くことは實に辛かつた

〃加藤〃八五桂は三五桂打の手を充分考へて見ましたがこの方面の戰ひは敵玉に遠くて指し切れませんでした

講評 金易二郎

加藤君の八五桂打ちは其の運用如何によつては勝敗が提示されやうと云ふ場合だけに充分研究したやうである

もし、敵同金の時、同飛では七四銀で形勢不利であるが金を捨てておいて六五金、七四銀、七六歩五九角、二六銀の目的であらう

勿論敵同飛なら七五桂と打つて決戰の肚である。しかし敵に同飛と指さず六五銀、八五飛、七六銀の局面となつてはやはり苦戰は免かれない、又八五桂のところ三五桂五八銀、七五角、同金、二七銀、同飛、同桂成、五四桂、同銀、六二角の狀態では攻勢を取るのに困難である

といつてもこの八五桂も樂ではないが、この方が優つてゐる

奥野君は此の意を解してか、どうか八五桂に對し八六角では自玉の姿が惡い、これでは貫禄が減つて危險である。こゝは八五同金と切り捨つて一先づ防戰に心掛けるところである

謹賀新年

仁川宮町 會席御料理 矢坂樓 電話三六番

仁川海岸町一丁目 御料理 花菱 電話一一五四番

仁川興業株式會社 電話七一六番

仁川龍里 道會議員 張光淳

仁川仲町 西工會議所議員 協成商會 主 金相珣 電話二二六・七七五番

仁川 共濟無盡株式會社 仁川支店 電話七六八番

仁川 社長 磯野勝見 電話六四四番

仁川 堆浩

芝罘利通輪船股份有限公司

仁川稅關長 小田正義

仁川山手町 會席御料理 銀水 電話一一二一番

仁川大和町 朝鮮麯子株式會社 仁川支店 電話七五五番

仁川府港町一丁目 森信汽船株式會社 電話長一六三番 一二一二番

仁川府仲町 繩叭莚叺 麻袋藥材 澁谷商會 電話長三五四番

仁川水先案内 島崎彦次郎 中井哲男 南靖藏

株式會社 朝鮮米穀倉庫會社 仁川支店 支店長 高橋俊忠 電話長三三一・九六〇番

仁川花町三丁目 合資會社 中村組出張所 電話八六八番

仁川海事出張所 所長 石黑悌吾

仁川府西京町 朝日洋行 鬼頭兼次郎 電話長六八番

仁川府本町三ノ四 支店 共益社仁川支店 貿易長 梅田常博 電話一八六・長四三〇番

京城地方專賣局 仁川出張所 所長 鵜澤二月

仁川府本町二丁目一八 仁川朝鮮酒販賣株式會社 電話一〇三三番

仁川府金谷町 朝鮮燐寸株式會社 電話一五一番

仁川府本町四ノ一 株式會社 平野商店 社長 平野稔彦

仁川府港町 仁川穀物協會 電話三二一番

仁川府萬石町 東洋紡績株式會社 仁川工場

仁川敷島遊廓組合

京城電氣株式會社 仁川支店

仁川花町 力武物産株式會社 社長 力武黑左衛門 電話長一七番 二五八番

仁川醫友會

謹賀新年

漁都長箭港

長箭港
㊝ 黄雲天
機械底曳網漁業
巾着網漁業
鰯油肥製造業
海産物委託
出張所 元山、新浦、遮湖
電話二一番

長箭漁業組合
組合長 黄雲天
理事 三池忠信

朝鮮東海鰮巾着網漁業水産組合

組合長 佐々木準三郎
副組合長 天野郡治
理事 吉田重治

巾着網漁業
鰮油肥製造業
三水[illegible]會
天野郡治
長箭港

長箭魚糧株式會社

東洋一の別荘地（海金剛）
永郎湖畔の
永郎荘分譲地
江原道高城
事務所 佐藤農場
電話高城四〇番
京城府京町一五番地
電話龍山八〇二番

謹賀新年

長箭灣 靈津
朝鮮漁業合資會社

能美漁業株式會社
長箭出張所

鰯巾着網漁業
鰯油肥製造業
㊂ 三浦潔
支店 咸北 楡津港

鰯巾着網漁業
鰯油肥製造業
高城 烽燧港
中野清市
電話二三番

鰯油肥製造業
徳弘商店
高城邑
長箭港

長箭繁榮會長
黄雲天

株式會社林兼商店
長箭營業所

鰮巾着網漁業
岡田村市
長箭港

鰮巾着船
川本等
たかしろ丸
宗利小一

長箭鰯油肥製造組合

合同油脂株式會社
長箭貯油場

鰯巾着網漁業
㊁ 岡田仁藏
長箭港

鰯巾着網漁業
津田梅一
長箭港

鰯巾着網漁業
㋕ 河村良藏
長箭港

鰯巾着網漁業
本田米市本店
出張所 墨港、元山

江原道漁業組合聯合會
理事 齋藤貞治

海産商
曾根太郎
長箭港

高城鰮油肥製造組合

鰯油肥製造工場
曾根吾郎
長箭港
新浦港

鰯巾着網漁業
三好昇
江原道長箭

三陟汀羅
水産業 李逸淳
出張所 庫底

巨津漁業組合
組合長 宗利小一
理事 高義升

高城親和會

鰮巾着網漁業
㊧ 丙奉來
高城烽燧港

高城漁業組合
理事 大山繁夫

外金剛温井里
温泉内湯 嶺陽館
電話一〇番

外金剛温井里
温泉内湯 萬龍閣
電話八番

庫底港
漁業 李東根

朝鮮運送株式會社
長箭營業所
堀豊治郎

外金剛温泉場
御料理 松鶴
電話一四番

外金剛温泉場
御料理 大和家
電話一四番

長箭港
丸山亭
電話一六番
御料理 ちくし樓
電話一八番

鰮巾着網漁業
㊇ 橋本吉藏

鰮巾着網漁業
㊮ 原茂一
海金剛

鰮巾着漁業
井上米吉
新浦港

江原道高城驛前
協和製材所
電話二〇番

鰮油肥製造業
崔永福
長箭港

鰮油肥製造業
張運善
長箭港

㉃
岡田忠次郎商店
長箭工場

鰮巾着網漁業 鰯油肥製造業 二漁業
中島爲一
工場 襄陽郡東草港
住所 高城郡長箭港

江原道鰯油肥
製造業水産組合
長箭支部

巾着網漁業
鰮油肥製造業
三宅商店長箭出張所
本店 元山嘉町一丁目
電話四五番

鰮油肥製造業
㊎ 崔燦鉉
電話三九番

朝鮮運送
日通代行營業所
木田幾太郎
廣田五男

鰮油肥製造業
金斗益
長箭港

金剛山みやげは
日之出商行支店
温井里 電話十七番

巾着船
愛宕丸
伊藤虎雄

佐々木出張所
佐々木清作
長箭港

鰮巾着網漁業
森彌七
長箭港

鰮巾着網漁業
㋷ 李徳議
長箭港

温井里公會堂
金剛温泉
新北面

外金剛驛長
伊藤遠

江原道庫底港
運送業 水産業
夏目出張店
主任 木田幾太郎

長箭海産販賣行
小山亮

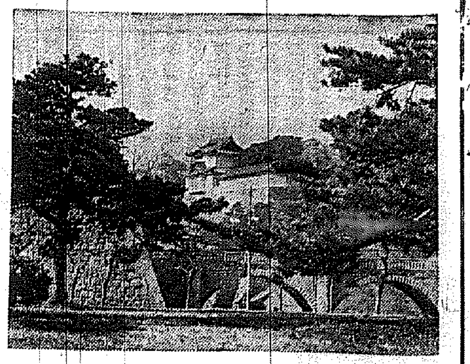
外金剛郵便所 桂敏之
高城同 河口卯一
長箭同 上田鋭賀

高城教育會

公醫
崔任河
長箭港

鰮油肥製造業
森下伊三郎
長箭港

江原道鰯油肥製造業
水産組合庫底支部



輝く元旦・宮中の御儀

瑞榮えゆく大内山に

昭和聖代十二年の春は輝かに明けた、大御代の光のどけく大内山の翠に映えて御目出度き元旦　天皇陛下には瑞苑まだほの暗き午前五時三十分既に御潔身遊ばされ、黄櫨染御袍の御束帯も神々しく御勞を御守に、三條祭典長の御先導にて神嘉殿の南庭に降り立たせられ四方拝の御儀を行はせられ、次いで午前六時　陛下には賢所大前、皇靈殿、神殿に御拝遊ばされた後午前七時半鳳凰間に出御、晴の御儀に臨ませらる、午前十時には御正装に大勲位菊花章頸飾輝やかしく　皇后陛下と御同列にて鳳凰間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃三笠宮各殿下を始め各皇族方に御對面、拝賀を受けさせられた後正殿に出御、廣田首相以下顯官等に賜謁拝賀を受けさせられ、十一時勅任官等有資格者の拝賀あり、午後一時半には白國大使バッソンピエール男を始め各國使臣同夫人等の拝賀を受けさせられるが、二日も有資格者に對し拝賀仰付けられる

◇

また大宮御所に在はす　皇太后陛下には此の朝午前九時より午後四時まで廣田首相始め文武百官の伺候、参賀を受けさせられる

＝寫眞は大内山の翠に映ゆる宮城、二重橋を謹寫＝

本府の拝賀式

一日午前十一時廿分から　第一會議室で嚴肅に

めでたき昭和聖代第十二年の春を壽ぐ本府新年拝賀式は、元旦午前十一時廿分から本府第一會議室で擧行これより先き午前十時五十分

南總督は＝陸軍大將服に威儀を正し大野政務總監以下各局長を從へて第一會議室に於て在城外國領事團、外國人の祝賀を受け冷酒を汲んで聖壽無窮を壽ぎ、次いで午前十一時廿分第一サイレンによつて有位有勳の本府職員及在城第一次所屬官署長、勅任官、中樞院顧問、同參議、朝鮮軍司令官、同參謀長、同副官、同參謀、朝鮮憲兵隊長は待合室第一食堂より式場である第一會議室に入場、嚴肅な裡に開扉、新貝人事課長の合圖に南總督以下參列員は御眞影に對し奉り最敬禮をなして退場、次いで午前十一時卅分本府判任官、同待遇者及び雇員は第二

サイレン＝合圖に第二食堂の待合室を出て式場に入場、有位有勳者と同樣の順で拝賀式を行ひ式終了後一同は中央大ホールに於て冷酒を汲んで聖壽無窮の萬歳を唱和、嚴肅な新年拝賀式を終る

關西角力　新番附　四日から

大日本相撲關西角力協會では一月四日から大阪梅田驛前で國技館[illegible]本場所を擧行することになつた

番附も同時に發表されたが、依然大龍が大關で、錦洋が張出し大關に、關脇に肥州山、小結倭岩前頭筆頭に松ノ里が榮進し大和錦が四枚目に山錦が五枚目に下つてゐるのが目につき、人氣者の常陸岩が前頭張出しになつてゐるのも哀れを止めてゐる

その番附は次の通り

大關天龍◇張出大關錦洋◇關脇肥州山◇小結倭岩◇前頭松ノ里、同常盤野、同武ノ里、同大和錦、同山錦、同熊ノ里、同能代海、同大高山、同羽後響、同中ノ里、同上宮山、同玉碇

一時間の時差撤廢で　鮮滿一如の具現化

記念すべきけふ元旦から實施

【[illegible]電話】滿洲國がすべての機構を擧つてけふ日滿の時間を統一したことは各方面から好評を博し日滿兩國の諸交渉、事務上に頗る便宜となつたわけである、日滿標準時統一の結果は政治經濟通信運輸等日滿相互の利益は增大すると共に兩國の不可分關係を愈強化するわけである測候關係者にとつても喜ばしいことである、即ち今まで日々の氣象通報にも時間が一時間相違してゐたので內、鮮、滿三國の努力をしてゐた、これが除かれた譯で、觀測所長は語る

◇……日本に初めて時刻の制度が出來たのは齊明天皇の六年、その時皇太子であらせられた天智天皇が初めて漏刻（水時計）をお作り遊ばされ、人民に時をお知らせになつた、それから徳川時代の終まで千二百年の間如何なる沿革があつたか明細に知る事は中々容易でない、徳川時代の時刻法は明治六年の改暦と同時に廢され、その代りに地方眞太陽時が用ひらるゝことゝなつた、明治十二年から平均太陽時が用ひられた、廿九年に至つて中央標準時と西部標準時と二種の標準時が行はるゝことゝなり、朝鮮では四十四年まで子午線の時を標準時としてゐたが、十五年から中央標準時を用ひることにした、滿洲がいつ頃から日本より一時間おくらせてゐたかいま文獻がないので判らない

◇……滿洲國內の標準時は從來東經百二十度の子午線の時によることになつてゐたのであるが、これを內地同樣東經百三十五度で丹波の國がこの標準にあたり滿洲國では吉林省の東がこれに相當してゐる、天文學上から云へば、安東廿四分、奉天廿五分、新京廿一分、大連廿八分、ハイラル卅三分、京城ですら廿分、それぞれ標準時間より相違し東京とは標準時の相違時間に更に廿五分を加へた丈け違つてくる熱河省の西、興南省の西にあつては標準時に遡及すること實に一時間十六分であるが、滿洲國がこの際思ひきつて日本と同じ時間を用ひるやうになつたことは大英斷である、標準時間から云へば京城や東京ですら違ふのであるから、これは天文物理學上ばかりから云へない問題であらう、時間は東經一度違ふ毎に四分違つてくることを承知して貰ひたい

得意に牛公語る

明けましてお芽出度うモウー、漸く十二年目に私の年も廻り來ました、全鮮百七十萬の牛族のために皆様と共にお正月をお祝ひしませう、モウー

朝鮮では　御存じのやうに私達程人間と協調し人類文化に盡してゐる動物はありませんでせう、それに今では、朝鮮牛と言へば世[illegible]

[illegible]分あります「東家不[illegible]牛」「[illegible]語」[illegible]その書も[illegible]

傳說・朝鮮牛の祖先

◇……朝鮮牛の祖先の傳說を御存じですか

◇……不思議な坊さんに術を授けられた貧乏な餅賣の子供が病氣で寢てゐる母に孝行をするため術を使つて幾度も馬に化け鎭り金を詐取してゐた

◇……或る夜、不思議な坊主が寢てゐる枕元に現れ「お前は馬を鎭り惡事を働くから牛になれ」といつて姿を消した、その時はその少年は牛になつてゐた

◇……これが牛の元祖だと朝鮮の人は言つてゐる

それに私らの歴史を持つてゐます

私達自身　の鬪爭は面白くないが、之によつて人間の尙武に役立つといふので大いに獎勵したものです、今でも原始的な形態で慶尙南道に殘つてゐるでせう、九月の中旬五穀の收穫の終つた晩、上の部落と下の部落とから選出された私達の選手、逞しいブルキ（鬪牛師）を先頭に原始樂器の奏樂に合はせて、手に〳〵炬火を持つ部落民に牽かれ、鬪の野へ鬪ふ様は實に勇壯そのもので一つ見物に來て下さい、田舍に於ける產業朝鮮の交通機關やその他に原動力となつてゐるのはいはずもがな、農家唯一の財産ですよ、使役牛とされても世界に冠たる牛族です、ザット飼家が百卅二萬戶で私共の頭數が百七十萬、ナント豪勢なものでせう、また私共は一方には食用として人類のために盡して食膳を賑はしてゐます

濟州黑牛　や香川牡牛の際と來ては舌が落ちますよ、世界中の美味とされる程で、一年間の牛肉は二千七百卅三萬九千斤で、その數は廿五萬四千九百頭ですが、增加率は人間よりも多い程で今では年に七萬頭も輸牛や食用として內地に送られてゐます、ドゥデス豪華な朝鮮牛でせう＝寫眞はおめでたう……とモウ公の新年挨拶＝

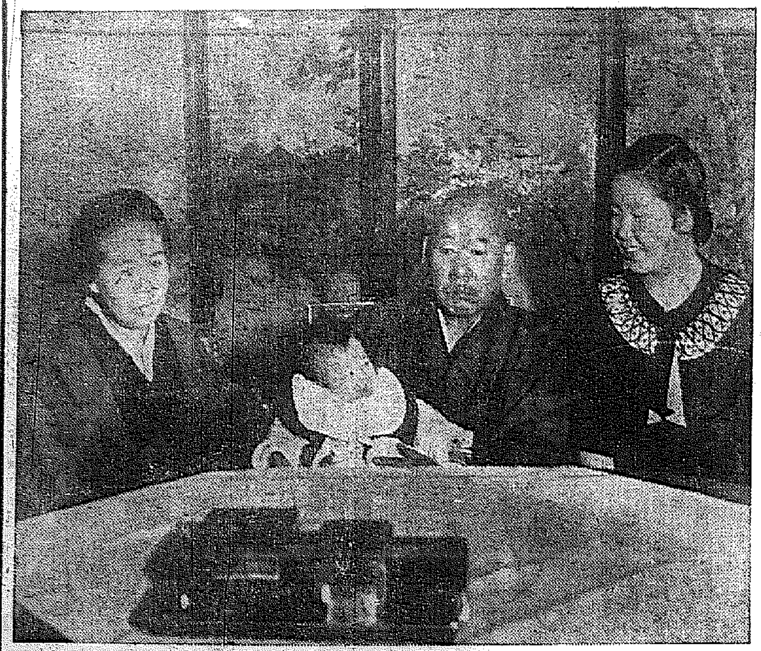
に顯臥する鬪、笛吹く牧童に牽かれて黄昏の村里に歸る私達の姿で朝鮮の凡べての彫刻に藝術の題材を私共からとつてゐますよ、いやこれだけではありません、私達の役割は宗教から哲學の領域を摩し半島の精神文化の分野まで進出し、私達を『道』即ち理想の象徴として崇めてゐたことは印度の崇牛思想や支那の人身牛首に比すべきものですが蒙山和尙法語の中にある梁山廓庵和尙の尋牛圖のやうなのは李朝時代の有名な佛教典であつて哲學的でもありますよ、然し此外に半島の尙武精神にも飛び出しました、それは鬪牛でした、鬪牛のスペインは世界に誇つてゐますが半島の鬪牛も

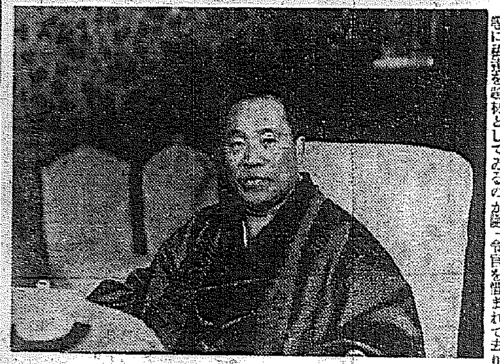
東京⇔新京八時間　驚異的な快翔

八人乘機大阪・福岡・京城で一寸一服　愈よ四月から斷然實施す

半島を繞る交通スピードアップは京城釜山間を六時間でぶつ飛ばす超特急の彈丸列車〃あかつき〃が出現し、玄海には六時間で連絡する豪華連絡船〃金剛丸〃が就航するなど新京、東京間を結ぶ內鮮滿の地上の距離は次第に短縮されて來たが、スピードを生命とする內鮮滿の空も昨年十月一日から全線に亘り新鋭旅客機エンボイ機の使用で新京、東京間は從來の十六時間に對し、約三時間短縮して十三時間となつたが、今春は更に空の超特急を計畫、來る四月を期して從來の十六時間の丁度半分の八時間といふ驚く新興的なスピードで新京、東京の空を結ぶことになつた　使用機は目下中島製作所で完成を急いでゐる純國產DA八人乘旅客機で、經濟速度は三百六十粁を有するダグラス機をも凌ぐ流線型の優秀機、途中着陸地點は京城、福岡、大阪の三ヶ所のみで現在のダイヤに更にこの

新鋭ダイヤ　を加へて從來の式となる譯である、この新ダイヤが實施されると新京でゆつくり朝飯をすませ、京城で早いお晝ご飯、福岡でチョイトおやつ――夕方は早くも東京でゆつくり晩餐の卓に寛ろげるといふ譯である





親子水いらず　總督邸の正月

お孃さんにお孫さんらが　なごやかに打寛ろぐ

二・二六事件の責任から關東軍司令官を惜まれて去り、そして朝鮮總督に親任された南大將の昭和十一年は文字通り感慨深い一ケ年であつた、南大將は倭城臺の官邸で總督として初めての思出の深い年を送つた、大晦日の午前中の日課は――

一切お客を斷つて南總督府事業部事務官高津慶次氏に嫁いでゐる三女寛子さんが連れて來てゐるお孫さんの男子さんを抱き上げ「わしは抱き方が下手なので、すぐ泣き出すので困るよ」と優しいお祖父様になりきつて廊下をあちら、こちら歩いてゐる

午後　からは士官學校在學中の長男の東京君（二〇）や四女友子さん、それに女婿高津事務官の三人が東京からお正月を迎へに、お父様やお祖母様の官邸に歸つて來た、そして總督夫妻を眞中にして二年振りで迎へる和氣藹々の越年晩餐會が開かれ

親子　水入らずで樂しいお正月を迎へる

總監も、秘書官も　獨りぼつちの正月

四億二千萬圓といふドえらい總督府明年度豫算に寸暇もなく驅け廻り見事纏め上げて、廿八日歸城した大野總務總監は四日目に大晦日を迎へたのだ、夫人や令孃を東京に殘し廣い官邸にたつた一人ボツチで年を送る總監には大晦日と云ふ氣分が出ないらしい

朝から　加藤鮮銀總裁や松澤商銀頭取等が入れ代り、たち代り事務上の應接に忙しい、しかし和服姿にはどこか『明日は元日か』といつたなごやかな調子が出てゐたそこへ總監秘書官の天谷鎭二氏が姿を出す

この人も　主人公に負けた譯でもあるまいが、廣い官舍の十疊の間でたつた一人で除夜の鐘を聞く、主從二重の緣とはこのことか――

【寫眞說明】上はお孫さんを抱つこしたわれらの總督さんと御家族、下はひとりぼつちでお正月のわれらが大野總監

滿洲國宮廷のお正月

滿洲國宮廷のお正月は御靜かなる御正月であらせられる、滿洲國皇帝陛下には大晦日より元日早朝にかけて御祈禱にて、御心をこめさせられて滿洲國々民の御祈、日本皇室の御繁榮、日本國民の幸福を御祈念遊ばされる、日滿一德一心の御精神を畏くもつて三千萬民衆に範を示しあらせ給ふもので、眞に畏れ多き極みである

元日は午前十時より滿洲國國務總理大臣、關東軍司令官大使はじめ內外顯官の朝賀を受けさせられ、二日は簡任官及び同待遇以上の者に賜餐、三日は午前十時より同十一時まで薦任官以上の朝賀を受けさせられ、御酒を賜ふ、夜間お暇の折には御近親者を召されて有難き御言葉を賜り、御遊戲に打ち興ぜられ御近親と御物語がある、御近親の御相手は義理の御叔父君に當らせられる存耆氏御令孫潤麒氏、[illegible]氏、同氏夫人皇妹二格々收始、皇后の御弟潤良侍衛官等の方々であるが、打とけた御物語の間にはコリントゲーム、雙詩等に興ぜられる、雙詩は方々が順々に一人の方が文字をならべられ、次第に起承轉結の上の文字が出來れば、その下に各自順々に文字を重ねられかうして七言絶句などを作られる御遊びであるが、まことに古風な御床しい御遊びである、この外にも宮內府の活動寫眞班に命ぜられて御訪日記念その他の活動寫眞を御近親の方々と御睦しく御覽遊ばされたり、雪の宮廷の御庭で御近親の方々をカメラにお收めになり御自ら引伸しをあそばされるが、かうした御遊びのうちにも陛下の御近親の方々への御厚情のほどが窺はれる

孫基禎選手　高師へ志す

果して成績は――

【東京支社電話】伯林大會に日章旗を掲げ世界中をアッと言はせ世界のマラソン王の驕名を獲得した養正高普五年生の孫基禎君が、東京高師體育科甲組（競技專攻）の試驗を受けて二百卅名の受驗生連と胸をトキめかせてゐる

× × ×

最後の實地試驗は廿八日午前八時から行はれたが、九時になつても出て來ないので二日間の學科試驗に腐つた故かと思つてゐると、お得意のマラソンで漸く驅けつけた孫君、不幸にも時間を間違へてゐたとの事だ、それでも受驗番號が幸ひ受驗者二百三十人中、ドン尻番號なので漸く間に合つてバスケットの基本動作とフットボールをやらされたが、さすがマラソン王もこれは勝手が違ふと見えて餘り芳ばしくない、つぎの鐵棒では〃出來ません〃と兜を脫いでしまひ中學生らしい純情を見せ試驗官もニコ〳〵最後のランニングはさすがにお手のもの、試驗官に見習つて貰ひたい位の堂々たるポーズだつた

× × ×

試驗に至かんで納つた同君に『自信は』と水を向けたが、ベルリン以來の謙遜振りを發揮して、「仲々むづかしい」の一點張り、だが試驗官や同志の受けは上々でお午後意氣揚々と引揚げた、發表は二月中旬だが、何しろ二百卅名の中合格卅名と言ふ狹き門だから、果してこの試驗者が突破出來たかどうか、同君が無事成功して三年後の東京オリムピックには高師生として颯爽と登場して吳れる事と期待する（寫眞は孫君）

デパート荒し

卅日午後四時ごろ京城黃金町三丁目附近をうろつく怪しげな男を鍾路署員が調べると、京城昌信町一〇九李萬求（二一）とて三中井百貨店からシャツ類を萬引したもの

母子とも慘死

卅一日午後七時廿二分ごろ奉天行急行「のぞみ」が京義線黃海黃州驛に停車の際、三等客の京城吉野町一ノ二九韓春三（二〇）と妻藥生女（二〇）が長男韓忠國（二）を背負つて、手荷物が多いのであわてゝ停車前に飛降りて轉倒し列車の下敷となり藥生女は子供もろ共夫の眼前で頭部を轢斷され無殘の即死を遂げた

平壤の強盜

【平壤電話】卅一日午前零時十分ごろ府內黃金町西部酒保商組合長平壤府會議員松尾錦惠男氏方に短刀を持つた二名の強盜が押し入り松尾氏を脅迫、金十圓と懷中時計二個を奪つて逃走した強盜は警察中の平壤署で[illegible]一勢取調にして通行人を片つ端から訊問し、約十分後黃金町附近を通行中の不審の二名を誰何せんとするや、二名は食刀を落し逃走したので追跡一人を逮捕、一人はその場は逃れたが共犯人の自白によりこれも程なく逮捕を見た、犯人は平壤府[illegible]三五滯原彈（二七）と八千代町五三崔安人（二〇）の兩名で、當局の嚴重な追及により途に本秋來四件の強盜事件を自供した、その他の前科の被害から推察するに一時平壤を脅かしたのも彼等らしいので長い辛苦を嘗められた戶谷署長や司法主任は、これが年內に解決をしたことについてお互ひに目に涙浮べて祝杯を擧してゐる

運轉手の早わざ

卅一日午前一時頃京城昌信町一九七東大門女子普通學校長趙鍋顯さん（四七）は明倫町三丁目で流しのタクシーを拾ひ自宅前で料金を拂ふべく卅一圓入りの黑革製財布を取出した瞬間、運轉手が電光火の如く掠奪つてエンヂンの音高く逃げ去つた、東大門署で犯人搜査中

恒例正月二日賣出し
いつも大好評を蒙つて居る。
福箱
一個 五圓 七圓
朝七時から……豫約承ります……京城本町二丁目

最も面白い新興キネマの正月番組卅一日より三日まで內地同時封切
阪東妻三郎主演 怒濤一番乘
美人國のぞき
人對火星人
浪花館

名コンビ久振りの競演 頭の人氣を呼ぶ
ポリドール流行歌 青空道中
東海林太郎・喜代三
P807

BOVRIL
パリ東京間に新記錄を作るべく飛來せる佛國名飛行家ジャピー氏負傷見舞として大阪毎日新聞社は榮養品として世界的著名なる滋强飲料ボヴリルを贈らる
美味しい滋強飲料 ボヴリル（肉エキス）
各地著名食料品店、藥店、デパートに有り、市內有名食堂及有名レストランド喫茶店にて御試飲下さい
日本總代理店 株式會社カルノ商會 橫濱・東京・神戶・大連

文藝浪曲の極致
專屬 天光軒滿月 熱演
浪界の王者 新月師吹込（特製ケース入）（一枚 一圓）
瞼の母 四枚組
警察官 四枚組
十八の聖母 四枚組
父歸る 四枚組
本召集令 四枚組
噫！肉彈三勇士 三枚組
雪の夜話 四枚組
タイヘイレコード
M―2

各眼科病院御指定
近代人常識の一つ
正確明朗なる眼鏡の選擇
大學堂眼鏡店

花に濃淡あり〔72〕

片岡鐵兵作　一木弴畫

就職（2）

「三十分でいいから、お茶を飲んでいらつしやいと、未亡人は殆ど必死に麗子を引留めるのだつた。

「ほんの暫くで好いから、あたしたちに、妹と一緒にゐる思ひをさせて下さいましよ」

さういふ未亡人の瞳には涙さへ光つて見えた。

「あたし、九時半までには、どうしても歸らなければなりません。それに間に合ふやうに歸らせて下されば……」

門から玄關までの玉砂利を敷いた路も小間近くもあつたらうか。

「こちらへ」

と内玄關を入ると、小間使に導いで一人は其所に手を突いて迎へた。

未亡人は女中たちに麗子を案内するやうに命じた。廣い居間であるが、親しい客も通す設備もあつて、まん中に大きなテーブルがあつた。マンテルピースの下には蒸氣のチューブがはめ込んである。麗子はそのテーブルに席を取り所在なさに、調度の大きな油繪の額や、彩色の壁掛などを眺めて待つた。しばらくして、未亡人と井上とがさつきの外出着の儘、陶器との曝目の扉を押して入つて來た。

「失禮しました。あたしたち、淋しいものでちやござんいません、どうぞお寛ぎなすつてね」

「有難う」

「あなたのお名前を教へて頂きたいのですが……」

「大場麗子と申しますの。あら、まだあたしの名を申し上げなかつたかしら」

と、そろく本來の快活な生地が出て來さうだつた。

「お宅はどちらですの？」

とつゞけさまに訊かれて、麗子

はふとためらつた。本當のことを云つたら父の名が出る。父と離れ何處にどんな知合があるか分らないのだから——

「目白の方ですの」

と、當らず觸らずのことを云つた。

「あら、ずゐ分お遠いのね。ぢや銀座の方へお勤めでも？」

と、あきれたやうである。外套も着ず帽子もない頭子なのだから、銀座界隈に勤め先でもある女だと

思ふのらしい。

「えゝ。さうです」

と、つい答へてしまつた。目白邊から、そんな姿で來たとは先方に考へられないだらうと思つたからだ。

「お勤め先は、どちら？」

そこで困つてしまつた。

「それが、今日、馘になつちまひましたのよ」

「まア——」

と驚いたが、すぐ思ひついて、

「だから、泣いてらしつたの？」

「さうですの。口惜しくつて……だつて、あたし、何も悪いことは

しないのに、馘になつちまつたんですもの」

「お氣の毒に」

と眉をひそませたところに、女中がお茶を持つて來て、あの御隠居さまが、と未亡人に囁いた。未亡人は麗子に向つて、

「ちよつと父に會つてやつて下さいません？妹にそつくりの方をお連れして參りましたと云ひますと、父も是非お目にかゝりたいと申しますの」

やがて、入つても好いかといふ聲がして、其所に白髪を頭にたらした、見るからに品の好い七十ばかりの老人が、にこにこと入つて來た。

ラヂオ

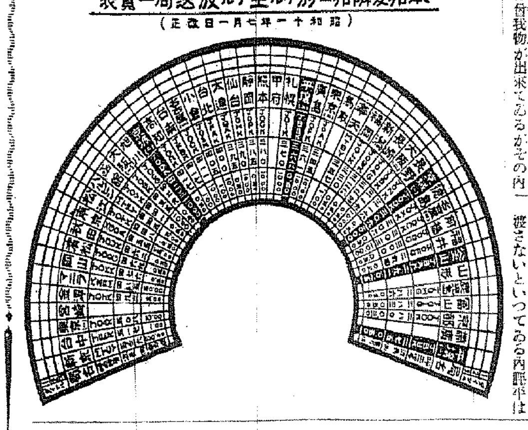
舞台劇　吉例壽曾我　後八時四〇分

大谷友右衛門　市川男女藏　澤村田之助　外

曾我狂言が始めて江戸の舞臺に現れたのは明暦元年正月山村座で初演され其の後時代の風潮とタッチして非常に受けた。その後まづ享保五年二月には江戸三座が同時に曾我を出してゐる。寛永五年正月には中村座及山村座、翌六年正月には山村、中村、市村、森田の各座で曾我狂言を並べた。何故曾我狂言が流行したかといふと、先づ曾我兄弟の仇討といふ題材が民に謡曲や稗るりにも仕組まれて殆ど人口に膾炙してをり江戸荒事に持つてこいの世界であつた。次にその狂言が役者本位の歌舞伎劇としてはその當り芸を繰返して見せる事が見物の最も喜ぶ所であつた。又吉例格式を尊ぶ時代心理が益々此狂言の發達を助成さした。以上のやうな譯でこの曾我狂言が御目出度物として正月には必ず上演される様になつた。此の事は曾我狂言を見る人々に經年の門松やお飾りを見る親しみを感じさせる様になつた。劇としての内容は河津三郎の遺兒十郎、五郎の二人が父の仇工藤祐經を討つといふので荒筋であるが色々に潤色され約九種類の曾我物が出來てゐるがその内で最も人口に膾炙されてゐる石段の場と曲輪外の場を放送する

鶴岡八幡宮境内石段の所へ近江小藤太の下僕早助が通りかゝるとこの早助の通るのを待つてゐた八幡三郎の下僕瞻平が小藤太から劍澤瀧正へ送る密書の狀箱を見て奪ひ取らうとする。渡せ渡さないといつてゐる内瞻平は終にこれをとつて逃げる。其の後へ工藤の家來近江小藤太と八幡三郎とが工藤祐經の武運長久の参詣にきて闘らずも出會ふ。八幡は瞻平より得たる近江の密書を見せる。こゝで小藤太も閑り力づくで渡さうとして爭つてゐる内あやまつてこの密書を石段下へ落すが闇なので二人はそのまゝ別れてしまふ

さて話かはつて曾我十郎祐成は敵の眼をかくすため自分の心をいつはつて大磯の曲輪で虎御前と遊んでゐる其庭へ化粧坂の少將がきて五郎時致をたゞ世間道しなかつたと思顔い、祐成は五郎は今日角力の稽古初めなので來られないといふ言葉から其の昔赤澤山に大名衆の大角力があつた話になり、祐成は父祐康がこの角力のためあへなき最後を遂げたことを物語る。其庭へ家來の十内が鶴ヶ岡の石段わきで手に入れた怪しき密書を持つて來る。祐成はこれを見て大いに驚き時致のもとへ、日截にかけつける



本邦及隣邦ニ於ケル主ナル放送局一覽表（昭和十一年十一月一日改正）

年賀リレー放送

ラヂオの使命を全うする爲、新春を以て迎へた新春早々そのスタートをして内地、朝鮮、滿洲及臺灣各放送局網で年賀リレー放送を行ふことゝなつたが内地二十局、朝鮮二局、臺灣二局、滿洲四局が新春の風景、各地元自慢景、地方色豐かな演藝と思ひの趣向で各局の聽取者は國の手形といはれる新年音頭や郷土舞踊等の出演者の特殊技能を撰譯するが挨拶があつてそれぞれお國自慢の放送に移ることになつてゐる

（漫談）牛歳

柳家金語樓

十二支の中で牛ほど結構なものが外にありませうか。第一に牛は牛であり牛乳がなかつたらどうなるでせう。ミルクは牛の粉末であります。ミルクがなければ子供は育ちません。牛は石鹸の基であり、パタの原料であり牛めしの原料であります古人の金言にも「女らしなくして玉の輿に乘り、女さかしうしてうし賣り損ふ」「牛車に乘つても口車に乘るな」「うしと見し夜ぞ今は戀しき」「うしは徒はねど繭襦子」「うしのやまひの浮舟が止めば」「犬をけしかけうしうしと言人は信用ならしなはぬ」に一を數へきれぬ程牛は持はやされて居ます。又芝居や舞臺でも牛は甚だ重要な役割をつとめて居ります。殊に角牛は動物の中で一番人間に親まれてゐると思ひます。

「牛はのろまではきはきしない」なんて言ふ人もあるが、牛がほんとにかけ出したら、人間の足なんか遠く及びません。たゞ牛として一つの缺點は「牛の小便十八丁」と言はれる通り、小便がながいことだけです。

このへんでモーうしまいにいたしませう。

一、祭典序曲　池讓作曲

二、祭典前奏曲　須賀田礒太郎作曲

三、祝典序曲　服部正作曲

同八時四〇分（東）舞臺劇　吉例壽曾我（舞臺）一、鶴ヶ岡石段の場　二、大磯曲輪外の場

配役

近江小藤太　大谷友右衛門

八幡三郎　市川男女藏

曾我十郎祐成　澤村田之助

從者十内　坂東村右衛門　外

同九時三〇分（東）時報・今月の天體案内・氣象通報・地方への

東西笑ひの夕べ

午後七時三十分（上野鈴本亭より）

一、春の旅　柳家小さん

江戸ッ子二人氣の合つた同志で旅に出かけたが、一方が逆に豆をこしらへてビッコをひくので通りがかりの馬に乘ることになる、馬……

なので、修業の爲にベラ坊ナマといふ人のとこへ心學の講義をききに行く、ベラ坊いろいろ講釋の末「人間には因果關係といふものがあり、これが佛説でいふ因縁、心學の方では天のなすわざはし即ち天災である、とさとすこれを聞いて歸つて來ると折しも長屋に喧嘩があるので……

箱根山の替歌

〽われこそ天下のけんの色男、薬屋さんもかなふまい、千人の美人と萬人のドーター前に語しりへにこびる月雪花のなは一時とらぬほれ鏡の得意かほちや頭にチックをつけ左右に分けたるそのざまは馬のたてがみしりへにどうく顏といつたら萬古燒の最上珍妙無類太くて短かいに赤いネクタイぐるくまき颯々と歩むなり、かくこそなれ楽見特許の色男

のんきだね節

〽利下げくと利下げがはや…日銀利下げに郵便利下げ…

二、漫才「食道樂」　林田十郎　芦の家雁玉

私は近頃食道樂を始め旨いものを片つ端から食ひ歩いてゐるとピックリせんざいから酒、河豚の話になると、十郎は僕の親爺が河豚にあたつて死んだ、實はす話は天ぷら、壽司、饂飩、支那料理と轉々し最後のスキの話がスキーとこんがらがりそれにもつれて終ります

なんでこの頃の壯態を褒められたのでお色の衣この頃は鍛錬が十分だから私は稀朝飯の股を制して飲むこれが一番よろしいエイヨーの股といふて、など洒落飛ばしていたします

寄席中繼　午後八時半から

（京都市新京極富貴より）

一、落語「圓タク」　林家芳男

ぼんやりした助手を連れてゐる圓タク運轉手助手がパタ屋に車をすゝめたり女給五人を一人づゝ大阪中を送つて廻つて一圓で決めたりへまばかりやるので困つてゐる。やつと乘つた一人自殺でもするらし、淋しい處ばかりを選り承諾の海の深さなどを聞くので氣味が惡くなり降りて貰ふ。次に乘せたのは男女二人連れ車中で甘い囁をさやくのでハンドルを握つてをれないので目的地までの約束を途中で斷り客に一圓とられる。客は始めから金をとるつもりであつた

四、落語「子澤山」　桂春團治

「猫りゆき世の中に子の可愛さはまことなりけり」その子供も自分の思ふ樣には出來ぬもので、昔は「三年添ふて子なきは去る」といふたもの、その子供も一人二人の間はよいが五人六人と重なつて來るとよほど樣子が變つて來ます。今夜は男の子と女の子の相違點、なぜ金持ちに子が少くて貧乏人には多いか、金持ちの子と金持ちたずの子の態度、狀態その他について細かいカンサツを下して申上げることにいたします

一生終りでは何んのことだかわからない

〽あゝわからないく人が車をひいてゐる、馬も車をひいてゐる人だか馬だかわからない〽あゝわからないくがま口拾ふてよろこんで、かけだすあとからかけだして、そいつはおれのだこちよこせ、そのまたあとからかけて來て、そいつはおれのだこちよこせ、おれだくとからない 爭ひあふ、どいつがほんとかわからない

最後にヴァイオリンだけで軍艦マーチをお聞かせいたします

四、熊坂　三升家小勝

人は一代名は末代熊は死して皮を殘す、落語家は死して借金を殘す、泥棒で名を殘したのが、石川五右衛門と熊坂長範、長範は牛若丸に首を斬られた大膽な泥棒、加害者牛若丸は幼時常盤に抱かれて諸方を逃げて歩いたが、宗清のはからひで命助かり七歳の時に鞍馬に登つて鞍馬流の飛切りを學んだ、もうこれで大丈夫といふので、奥州の秀衡を頼つて行く途中、美濃國青墓の長者のもとに一泊、その時この家に熊坂長範が泥棒に入り、牛若丸を少年とあなどつて大薙刀できつてかゝる。牛若は薄綠の名劍で長範の首をちよんぎつたが血が出ない。そこで今度は向ふ脛を拂ひ、バッタリ倒れるところをふむと血が出ないで餡が出た。これは熊坂じやない今坂だ、潰して出たから漉し餡

夫のさらひがおそくなり歸つて來ると、しめ出されて巡回中の警官にとがめられ、やつとあけて貰ふ父親から叱言を言はれ、その揚句が一々義太夫になる、「親にこんなにけんつくばかり喰つてゐてもそんなに義太夫が聞つて歩きたいか」

「へえ、けんつく位はおろかなこと、素人クラブでさらひに出るとお客の方からのべつに檢を入れられます」

けふのプロ

一日（金）

四方拜

第一放送

午前六時一〇分（東）鷄鳴　東天紅及雁丸

同六時三〇分（東）ラヂオ體操

同七時一分　吹奏樂　陸軍戸山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一

初春の前奏と行進曲「日出づる國」山田耕作・作曲

（引續き）（東）奉祝唱歌　女子放送合唱團

一、年の始　二、君が代

（引續き）（城）年頭の辭　朝鮮放送協會理事長　保阪久松

同七時三〇分（東）聖訓謹話　勅一二　法學博士　筧克彦

同八時三〇分　今日の天氣見込（京城・釜山）

同八時四〇分（各局）年賀リレー

一、鹿兒島九、札幌四、函館九、旭川六、山形七、仙臺八、前橋九、新潟一〇、長野一一、東京一二、靜岡一三、濱松一四、富山一五、金澤一六、福井一七、名古屋一八、京都一九、大阪二〇、鳥取二一、徳島二二、高知二三、岡山二四、廣島二五、松江二六、小倉二七、福岡二八、長崎二九、熊本三〇、鹿兒島

三一、釜山　詩吟　綱影島日出

三二、京城　一、挨拶（國語）　李延淵・作　今村貞利

一、朝鮮童謠（朝鮮語）　金初技

三三、平壤　一、挨拶（朝鮮語）　伴奏　李貞衛・永川吾子

二、祝調曲（朝鮮語）張明花　張明花

三四、臺北三五、臺中三六、臺南三七、大連三八、奉天三九、新京四〇、ハルビン

同九時（城）歳旦祭實況（第二放送・京城・平壤）朝鮮神宮大前より中繼　擔當アナウンサー　安藤直之

同一〇時一〇分　氣象通報（今日の天氣見込・平壤）

同一〇時三〇分（東）謡曲　一、翁　二、高砂

正午（東）時報

同零時三〇分　ニュース

同零時五〇分（東）箏曲

一、新玉の曲　箏（段返し）　三絃（替手）

同一時三〇分（大）混聲

一、明治天皇御製　二、昭憲皇太后御歌

同一時四五分（東）太神樂

三日

（以下、番組表・汽船出帆表・廣告等）

朝鮮郵船定期出帆

北鮮新潟直航（印は船客御斷り）

長白山丸（重量三、五三六屯）（定員特等四名並等廿一名）

大阪商船定期出帆

京城府南大門通り五ノ一　朝鮮郵船株式會社　代表電話（2）本局四一九五番

日活 新春第一弾 W・E・トーキー「春は牛迄に」「魂」「丹下左膳」　喜樂館

浪花館　京龍館　ワカケキ（若草）　朝日座

黄金座　明治座　團成社　中央館　京城劇場　

野口商會

經濟評論欄

農村振興には
工業の促進を圖れ
農村工業 現狀とその將來

わが半島の農務業界は從來農業一本政策で一貫して來たが、近來産業構造の躍進顯著となりその發展によつて農工併行の政策へと轉換し昨年は農村不振を一つ狀況に在つたのに拘らず、諸種なる鑛工業の發達は相當の餘力ありと見せ、朝鮮産業界は愈と調和なる進展を見つゝあり、一方總督府當局でも農業を轉換して農村工業振興に努めて來つゝあるが、この際工業進出と共に農村の工業にも十分留意すべき、茲に現在半島農村振興一助の參考に供するものである

茲に述べる農村工業は農山漁村に於ける生産品の加工業で、即ち農家の産業組織、農業經營を合理化し窮乏農山漁村更生を期すは非常時日本の國策轉換期の新農村政策の代表的所産の一つである。從つて農村工業振興の根本義は都市農村間の物の調和、不調和の是正を圖り都市と農村とに富の配分を公正にし同時に農村内部の各般の事物の調和を圖り、生産の多角化綜合化を期して生産間の危險分散生産所得の安定を圖るもので農家收入を増大し過剩勞力活用の途を求める爲農村産業の工業部門への進出は必然的な發展過程でなければならぬ、斯くて新農村政策の花形として出現した農村工業の振興は加工收入の増大と市場出荷の調節に農産物の價格維持、原料農産物の生産の利益並にその興隆を期するものである、又農家經濟の興隆に期待すべきもの頗る大で農業の發展に期待すべきもの極めて多い

◇

從來副業の指導獎勵の一つとして開始されたのは昭和十年で先づ獎勵費は總額七三〇圓、全國道府縣の一般

世界經濟界と我財界の動向
鮮銀總裁 加藤敬三郎

世界經濟の恢復傾向は一九三三年の夏以來逐年擴大し、昨年は好景氣を顯致したかの感あつたが、米國の恢復が著しかつた割に歐州各國の跛行性を克服し得ず、為替、金ブロック諸國は景氣運動の圏外に置かれ實質的には明朗を缺き、共産國經濟好調の根據は國内景氣振興及軍備擴張なる國家主義的政策に依り、自動的恢復は遂に二、三主要國のみに見られる現狀にある、かくて此の間、歐洲の混亂たる政局の續發、即ち昨年伊エ紛爭一段落の直後、スペインの革命勃發、事變擴大し延て世界は政治的緊張愈濃厚となり他面昨年の國際經濟事件、金ブロックの崩壞は齎した英米佛三國通貨協定と相俟つて世界經濟の基本的再整を一步前進せしめ、
……

米國 一九三三年ルーズヴェルト大統領就任ニューディール採用以來漸くテンポに恢復、昨年に政策的刺戟が顯著なる功を奏し經濟の諸指標は一九二九年の水準に接近しつゝある即ち工業生産高製鋼作業率及注文殘高等は同年以來の新記録で會社の配當、株式賣買共に同年以來の數字で事業界の活況と事業會社の業績向上著しく新規投資の激增、預金準備率五割引上あるも金融緩慢、低金利傾向續き遂にそのブレーキ統制の發動さへ見た、元來形近の好調は政府の指導支援を離れ内在的要因に基くもので不健全性はない殊に農村收入激增、消費財生産より生産財生産への傾向、個人建築數の増加の如きは本格的好景氣を語る一端であらう、ルーズヴェルト大統領の壓倒的勝利は今後はドラスチックな改革は避け現勢溫順の政策採用され、財政の

獨逸 ナチス政權の國家統制下歐洲政局不安の眞只中にあるも比較的安定且好調裡だ、現下の姿相は再軍備及自給自足の確立が經濟運行の支柱で、殊に昨年九月新經濟四ヶ年計畫を樹立、原料自給政策に拍車をかけた、之に伴ひ貿易、爲替、金融等經濟全部門に對して統制強化、經濟界は漸次的に發展が續き、物價、生計費の保合に對して失業者は減少し國民生活の安定は確保されてゐる、昨年の統制政策は物價統制官の設置、金融統制強化、法人所得税增徴等で對外方面では對伊經濟協定、スイス及南洲國との貿易協定等である、斯くて假令、鐵工業の全産業は活況を續け、鐵業界亦好勢を持續し增資は證券界に影響し株式は軟調裡にあるが、財界の根本に不安を與へず統制による景氣の底

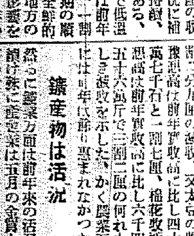
英國 經濟界の實勢は兩三年來恢復步調に在りしも貿易好化の傾頓、軍備擴張に基く增税及赤字財政への轉入傾向に一抹の不安を醸す、然し一般景況依然好調、事業界は低金利と再軍備計畫とに刺戟され收益增進、工業生産の增大著しく、證券界の活況と失業者の減少とを齎し殊に失業者は昨年十月は百六十一萬と一九三〇年一月以來の最低を示した、物價漸騰傾向なるも、國民所得の增加は之をカヴァーし經濟恢復は著しい、貿易は昨年十月迄に輸出四億一千二百餘萬磅、輸入六億九千百餘萬磅で前年に比し夫々伸長せしも輸入は輸出增加に倍大し入超二億七千九百萬磅と前年に比し六千三百餘萬磅の激增を告げた、綿業の稍恢復、工業旺盛は國内

佛國 永く金ブロックの王座を續けたが昨年九月末遂に崩壞した、フラン切下後の財界は

支邦 滿洲國は國家機構の整備進行、第一期産業建設期に入

支那 昨年末西安事件勃發

農業一本から農工併進確立へ
殖銀頭取 有賀光豊



希望に輝く昭和十二年、丁丑の年頭にその所感を述ぶるに當り、昨年の朝鮮財界の情勢を回顧すれば

朝鮮は 天候に惠まれること比較的薄く、寧ろ災禍を蒙り農産の收穫減をみたが、鑛工業の活況に補はれ大勢は前年來の繁榮を持續、寧ろ拍車をかけたかの觀がある、即ち米作は稀有の凶作と、晩春まで低溫の惡影響を被り收穫豫想高は前年實收高に比し百八十四萬石、一割五分の減收、又稻作は南代期の順調ゝ其後一部地方の旱魃、全鮮的降雨による過濕更に一部地方の風水害等々のため非常な惡影響を被り、第一回收穫豫想高は前年の

鑛産物は活況

經濟界の躍進

産、經調査會

工作着々進む

實現へ第一年

資金　**技術**　**動力**　**販賣**

御殿様

（146）

邦枝完二作
神保朋世繪

怪盜（三）

「和尚さん。もし和尚さん。大變なことがおッ始まりましたよ。」

用達に行つた寺男の紋兵衛が、眞一文字に裏口から駆け込んで、鼻の先へぶら下つた水ッ洟を拭ひもやらず、息急き切つて庫裡へ飛込んで來たのは、道臨禪師の茶見世で左官の鐵五郎と鳶屋の鶴吉とが、まんまと雲霧に煙草入をしてやられた日の夕方だつた。

雪はまつたく止んだが、その雪明りの中にくつきり浮んだ一雄山妙雲寺の堂宇は、さすがに由緒ある古刹と頷かれたが、手入れの行屆かないのは住持の心柄であらう。庫裡の壁も瓶も破れたまゝに住み荒れて、太い梁から梁に蜘蛛の巣が數へ切れないくらゐ網を張つてゐた。

やうな佳い女でごぜえますだ。」

「ふん、また辨天樣が始まつたな。」

「いやいや、けふのこそは正眞掛値なしの辨天樣でごぜえますだ。」

「それに相違はないか。」

襖に風樋りも荒しく方丈から出て來たのは、住持の瀬玄だつた。年は五十を二つ三つ出たばかりの分別盛り。でつぷり太つた猪首に厚い唇が好色らしさを見せて、糸のやうな細い眼の奧から覗する鋭い光は、殊勝げに着込んだ白絹の道服には些か、うつりが惡かつた。

「紋兵衛、その行倒れは何歳くらゐの女だ。」

「左樣でごぜえますだ。自分ははつきり判りましねえだが、年の頃は二十一二でごぜえませうか。何

……

「和尚さん。……」

「なに行倒れだと。」

「でも和尚さん、裏門に行倒れでございますだよ。」

「はい。それが女でがすだ。」

「それは惡だの。……」

しろ身裝は立派だし、眼鼻立は繪から抜け出したやうに綺麗で、殿樣も附きたいくらゐな佳い女で。……」

さう云ひながら紋兵衛は、そこかに和尚の顔を盗み見た。

「ふゝ。お前のいふことはいつも大袈裟でいかぬて。……この忙しいのに飛んだ厄介だが、まア仕方ない。ちよいと行つて見てやらうかな。」

案内役に先へ立つた紋兵衛の後から附いて歩き出した和尚の顔には、一種の好奇心が動いてゐた。

一尺近くも雪をかぶつた築石塀ひに、やがて裏門へ出て見た瀬玄は、果して人足の途絶えた雪路に、夜目にも知れるあでやかな女の姿が、捨てられた一輪の緋牡丹のやうに俯伏しながら呻いてゐた。

瀬玄はいきなり雪駄を捨てゝ、女の胸へ徐々と手を廻した。

「これお女中、どうなされた。しつかりなされよ。」

「うッ。……うむ。……」

「お、氣がつかれたか。これは有難い。南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛。……」

謹賀新年

土木建築請負業 合資會社 正田工務所
代表社員 正田節市
咸興府朝日町一三四番地
電話一〇三二番

朝鮮咸南咸州郡興南
株式會社 富田商會 興南支店
本店 大阪市北區宗是町一番地 大阪ビルヂング五五二號
西湖津出張所

咸南咸州郡下岐川
長津江水電株式會社
電話下岐川長四番

北靑邑内官公署
金融學校團

咸南利原郡南面昌興里
利原鐵山株式會社

朝鮮金融組合聯合會
咸鏡南道支部
咸鏡南道各金融組合

咸興土木建築工友會

自奮自勵を念願

學務局長　富永文一

皇紀二千五百九十七年、昭和十二年新春の佳辰を迎へて謹に瑞雲圍引く宏大を仰ぎ謹みて　聖謨の弘遠と寶祚の無窮を壽ぎ奉ると共に皇太子殿下を初め奉り竹の園生の御榮彌々御目出度くわたらせ給ふを拜して畏こけれども心中無限の心強さ、忝なさに歡喜措く能はざる所を知らざる次第であります

私は　毎年元旦、東天ほの／＼と白み渡り、やがて初陽燦として輝き旋ね萬象悉く生々潑剌として躍る神秘なる數分に接する毎に身は宛ら我が帝國の古に立ちかへり、諸冊の二神が國を造り固め、治め成し給ふ御有樣を眼前に拜するが如き莊嚴、崇高なる心境に浸り、其の間に一種言ふべからざる靈感が總身に充溢し此の一年間に於ける積極々地の活動力が賦與せらるゝと共に確固たる信念の培植せらるゝ感じが致すのでありますが是は決して私一人の事でなくあらゆる日本國民の齊しく體驗する所でありまして爰に新春元旦の尊き意義があり、而も我が國民獨特の矜持が存すると思ふのであります

嘗て　我が國民は千九百卅五、六年といふ言葉をしかと心に留めて之が遭遇の決意を固めたのでありましたが、幸にして此の兩年は極めて平和裡に國運の進展裡に昨日を以て過去の頁に綴り込まれて了ひました。誠に慶祝に堪へないのであります。然し作ら國運の興隆と國力の消長とは決して我が國の立場を安易にするものではありませぬ。國際關係に於ては列強の諸種の紛爭を惹起して居り

日支　間に於て……

而し　て此の重大使命に立つて……

所、之を阻止防禦するにあらゆる工作が施されつゝある事も御承知の通りで、寧ろ卅七年、八年こそ最も吾々の重大なる決意と努力とを要する年である事を痛感し得ると思ふのであります。……

特に　……

新年所感

京城府尹　甘蔗義邦

地輪一轉して光輝ある新年を迎へ謹みて聖壽の萬歳を壽ぎ奉り所懷の一端を披瀝するを得るは最も欣幸とする所であります

伏して惟みるに昭和の聖代を重ぬること十二、國運愈々隆昌に赴き皇室彌々御隆昌に亘らせられ……殿下を始め奉り、親王内親王各殿下極めて御健やかに、殊に御明朗に御成長遊ばされ……國運更に著しきを加ふるを想ひ、謹みて無窮の皇祚と國運の隆昌を祝賀する次第であります

回顧　しますれば我帝國は……

更に　東洋の天地は……

昨年　我半島は……

古來　我國民は……

朝鮮の産業經濟界は全面的に躍進！

殖産局長　穂積眞六郎

瑞氣天地に漲ぎる昭和十二年の陽春を迎へ茲に謹しく皇室の御繁榮を讃へ奉ると共に國運の隆昌を慶祝することは聖代に御治公の至誠を捧ぐる者として此の上無き歡喜の念に堪へぬ次第である

過　此の年頭に當り既往一年を回顧し將來を望んで聊か感ずる所を披瀝し以て年頭の辭に代へ度いと思ふ

去一年間に於ける朝鮮の産業經濟界を顧れば文字通り……

先　……

惟ふ　……

昨　……

又　……

尚　……

更　……

而　……

次　……

尚　……

以　……

朝鮮に於ける鐵道の今後は愈よ多事

鐵道局長　吉田浩

即　……

抑　……

特　……

次　……

今　……

賀正

住友林業所咸興支所長　大塚小郎　咸興府朝日町

有價證券現物賣買　新興證券社　咸興府朝日町

咸興産業組合　組合長　李尚燮　理事　朴泰淵

咸興府大和町二丁目　石油　牧田商會咸興店　電話長三四番

咸興穀物商組合　職員一同

咸興府中央町　張潤河

咸興穀物檢査所元山支所　新上出張所長　清水通

咸興郡新上面　春柳水利組合

咸南定平郡　府內面職員一同

咸南定平郡　文山面職員一同

咸南定平郡　宣德面職員一同

咸南定平郡　廣德面職員一同

咸南朱伊面長　李鑑

咸興府大和町　御旅館　常盤館　電話三七番

朝鮮咸興府錦町一丁目　吳服屋　岩田吳服店　電話一二一番

咸興郡中央町三丁目一五　宇野律二　電話八〇二番

咸興府大和町　咸興タクシー株式會社　電話長一二九・長一三三番

咸興府大和町一　北鮮自動車運輸合名會社　電話七四七・七〇七番

咸興北青邑內　共興株式會社　電話長一〇一番

咸興府內公立學校園

咸南新興相和會

朝鮮鑛業開發株式會社　新興鑛業所

咸興府本町一　玉置省二本店　電話二二番

咸南利原郡遮湖港　水產業　太田房藏

咸南洪原官公署　職員一同

咸興醫師會

咸興府大和町　咸興物產株式會社　咸興府會議員　篠崎新　電話五二〇番

咸興商工會議所

咸興稅務監督局　職員一同

司法部の業績を顧み 近況に付所見を述ぶ

法務局長　増永正一

茲に丁丑の新春を迎ふるに當り恭しく上皇室の御繁榮を祝し奉り下萬民の幸福を祈ると同時に、國運愈隆昌に赴き半島司法部の躍進亦向上の一路を辿りつゝあることは誠に欣快に堪へざる所である、年頭に當り昨年中の司法部の業績を顧み其の近況に付一、二所見を述べて見たいと思ふ

昨年四月從來の辯護士規則を改正して新に朝鮮辯護士令及法律事務取扱の取締に關する制令を公布し六月一日より實施せられたことは朝鮮に於ける、辯護士制度の一大革新であつた、抑國法の威嚴を保持し社會生活の平和を保持する爲には强力なる司法

司法制度の發達と司法權の圓滿なる運用を必要とし、之が爲には全國民の協力に俟つこと勿論であるが、就中辯護士は機關の一つとして毎に司法に參與することを主たる職務とするものであつて、其の能否如何に依り辯護士の言論及行動が一國司法機關の運用に至大の影響を及ぼすことは茲に贅言を要しない所である、新法は此の點に於て司法制度の躍進を顯示するものと稱するを憚らないであらう、幸に在野法曹及辯護士諸賢が其の重大なる使命に對する自覺を新にし時代に即して益其の職能を發揮せられ、一は以て國家司法權の作用を助長し他面國民の權益擁護に貢獻あらんことを要望する次第である

民事に關する訴訟事件は茲數年來稍遞減の傾向を示して居たのであるが、昭和十年は其の前年に比し約三千件を增加し、昨年は更に一萬五百六十九件を增加するの奇觀を呈した、是は一に近時に於ける財界好轉に影響せられたものであらうと信ずる、小作調停事件は年々增加の傾向に在るが更に強力なる調停制度及正常なる小作關係の確立、小農小作民の負擔輕減と各郡に於ける小作委員會との連絡を緊密ならしむる必要があつたので、昨年二月朝鮮小作調停令の一部を改正し法院支廳に於ても小作調停事件を

取扱はしむること、した爲、昨年十一月末日迄の受理事件數は實に七四五九件の多きに達し、小農保護の實は豫期以上に達せられた模樣であるが、更に關係職員の絶えざる努力に依り右の中未解決の六七〇件を除く四、二九八件といふ大多數の事件は小作委員會の勸解又は裁判所の調停により圓滿に解決し、殘り二、四九一件は勸解又は調停前取下其の他の原因により事件の解決を見たる等、農村救濟と小作關係の安定を見つゝあることは寔に喜ばしき次第である、次に登記關係に付ては既に都市計畫令の施行せられたる場所並に京城釜山間の中央鐵道豫定線の確定其の他種々なる財界の

動靜に伴ひ、登記事項の激增を見昨年一月より十月迄の登錄稅額は實に一千二十五萬六百二十五圓九十五錢に達し、昭和十年同期の稅額に比し約百五十萬圓の增收となつて居るは注目に値するものと思ふ、尚右の外民事關係に付ては親族相續法、商法、強制執行法等の改正並借地借家法、金錢債務臨時調停法の施行等相當多難なる將來の問題を藏し、之が調査研究に努力して居る次第である

次に刑事々件を觀るに檢事受理事件は從來遞增の趨勢に在つたが、昭和七年を最高潮として稍遞減の傾向を示すに至つた、尤も昭和十年度に於ては稍增加を見たが昭和七年度に比すれば尚一萬七千餘件の減少を示して居る、刑事訴訟事件と雖裁判所に繫屬したる事件亦大體に於て遞減の一路を辿るに至つたのであるが、右は孰れも總件數の增減であつて刑法犯は逐年增加の傾向にあり、裁判所に繫屬した事件中刑法犯のみの件數を昭和七年度と昭和十年度と對比すれば後者は前者に比し千四百餘件の增加を示して居ることは寔に憂慮すべき現象である

然しながら一面總件數の減少は特別法犯の減少であり、特別犯中國家の治安に最も重大なる影響を有する治安維持法違反事件亦著しく減少を示して居るものであつて、此の點邦家の爲洵に慶賀に堪へない所である、次に行刑方面を看るに全鮮二十六箇所の刑務所に於ける收容人員は昭和十一年十一月一日現在一八、六二七人、中受刑者は一六、六一三人であつて前年に比し依然增加の傾向を示して居る、就中累犯率の昂騰と少年受刑者の激增とは特に注目すべき現象と言はなければならない、即ち累犯者は全受刑者に比し昭和六年の四割四分、又大正十五年の四割二分に對し昨年度は四割八分に增加し、又

少年受刑者は一、九五七人であつて大正十一年少年刑務所特設當時の約四倍に達して居ることは何れも寒心に堪へない所である、累犯の原因たるや多種多樣であり、從つて之が防止の對策亦各種の見地より考究せらるべき大問題であるけれども、先づ行刑の改善を以て之に臨むを喫緊の事とするのである而して行刑の完璧を期するには必ず外形的に設備の充實と方法の改善が要求せらるゝ所であつて、從て當局としては此の點に付絶えず之が調査研究に邁進して居る次第であるから、遠からずして之が實現を期し得るものたることを確信するのである、又朝鮮に於ける少年

刑務所は從來開城、金泉の二箇所のみであつたから、茲數年來少年犯の激增に伴ひ著しき收容過多に陷り、教化の不徹底は勿論人道上看過し難きものがあるに至つた爲、昭和十年少年刑務所の增設を決し地を仁川鶴翼町に定め、同年夏工事に着手したが其の後少年受刑者の激增は到底同所の竣工完成を俟つことを許さなかつた事情に在つたから、之が收容緩和を圖る爲客年七月十日工事一部の竣工を以て仁川少年刑務所を開廳し、少年受刑者の收容を開始し同時に從來の收容區分を更め普通少年、準少年假格者を全然區別する事とした、から、其の結果得る所の教化上の効果は蓋し充分

期待し得るものと確信するのである、同所は四面開濶であつて少年行刑に恰適の地に位し、其の規模大ならざるも建物の構造内部の諸設備等槪ね少年の保護と教化に立脚して考案せられ、半島刑務界の一異彩と謂ひ得るのみならず、精神的にも肉體的にも第二の國民たる少年を養成するに缺くる所なきを信ずる次第である、又司法保護事業は最近著しき發展を遂ぐるに至つた即ち保護團體の數は二十七に達し刑務所の數と略同數に過ぎないが其の質に於て又其の事業成績に於て數年前の夫れに比すれば著しく面目を一新し益其の業績擧がれることは洵に同慶の至りに堪へない

加之更に釋放者保護の趣旨をより以上に徹底せんが爲、保護會の支部を設け保護網を擴張したるもの客年中二十二箇所に及び、既設のものと合して四十箇所の多きに達した、斯くして二十七の保護會と四十の支部が互に相連絡協調し誠心誠意保護の衝に當りつゝあることは勿論であるが、元來之等の事業は今更述ぶる迄もなく刑餘者の保護たるのみに止まらず、轉ては再犯を防止し犯罪に對し社會を保護する使命を有して居るものであるから、保護會の職員は勿論社會一般に於ても此の點を充分認識せられ、此の使命達成に付援助を惜しまれざらんことを庶幾ふ次第である

最後に特記すべきは昨年末朝鮮に思想犯保護觀察制度が制定せられたことである、凡て犯罪防遏の方法としては犯人に對する保護制度が最も效果あること輓近刑事政策上齊しく認めらるゝところであつて檢察、裁判、行刑の各制度は其の最後に更に保護の段階を加ふることにより始めて充分なる機能を發揮し、刑政の完璧を期し得るものと言ふも敢て過言ではない、而して犯罪は其の種類の如何を問はず均しく社會の安寧秩序を紊し、之が防遏は常に社會の急務たることは勿論であるが、特に思想犯罪は直に國民の

思想に一般に動搖を及ぼし、其の弊害測り知るべからざるものがあるから、之が防遏は急務中の急務であると謂はなければならない、翻つて朝鮮に於ける思想犯罪の情勢を觀るに、昭和七年を最高潮時として一時猖獗を極めた共產主義運動も當局の不斷の檢擧、日支事變以來の社會情勢の變遷、其他の事情により漸次落潮に向ひつゝあるものと看らるゝのであるが今日尚未だ依然として跳梁の跡を絶つに至つて居らない、然も昭和三年以來昭和十年迄に治安維持法違反事件により檢擧されたもの實に一萬六千人を超え、其の中起訴猶豫者、刑執行猶豫者

假出獄者、滿期釋放者は逐年增加し其の數約六千四百名の多數に達して居るから、今にして是等思想犯人に對する萬全の方策を樹立しなければ思想犯防止の實は之をあぐることを得ないものと言はなければならない、朝鮮に於て思想犯保護觀察の制度を設けらるゝに至つたのは實に之に職由するものである、保護觀察所並に保護觀察審査會は京城外六箇所に之を設置し治安維持法違反者中起訴猶豫者、刑執行猶豫者、假出獄者、滿期釋放者等に付特に保護觀察審査會に於て必要ありと認めた者に對して保護觀察に付し、其の思想行動を觀察し之に適應せる保護を加へて、以て其の思想の善導と

生活の確立とを圖り之に依り再犯を防止せんとするのである、本制度は實に刑政史上の劃期的の制度であつて、之が運用の適否は國家の治安、國運の進展に影響するところ極めて大なるものがあるから官民各位は宜しく本制度の意義を充分認識せられ、之が運用に當り協調援助を吝まれざらん事を希望して已まない所である、以上を以て年頭所感に代ふる次第である

進むべき明路を力の限り躍進！

財務局長　林繁藏

一陽來復光以て聖壽の萬歳を奉祝し竹の園生の彌榮を祝し奉ると同時に國運の隆昌比なき昭和十二年の初春を迎ふるの喜びに浸りつゝ茲に所懷の一端を述べ……

重責を完ふする事を固く誓ふ次第！

警務局長　三橋孝一郎

茲に思ひ出多き昭和十一年を送り光輝ある新春を迎ふるに際し一言所感を申述べたいと思ひます

最近に於ける帝國の情勢は國外的にも國内的にも極めて多事多難なる所謂非常時局に遭遇し人心亦動もすれば安定を缺き治安上最も憂慮すべき狀況にあるのであります、が、此の間帝國は外には確固不拔の大方針に則つて益々東洋和平の爲永遠の大理想具現に邁進すると共に内に於ては内政の改革に、思想の善導に、產業の進展に經濟の發展に、其の他諸種の施設實現の爲め夫々適切なる方途を講ぜられたる結果不安なる民心も漸次好調に赴き、近時稍安定を見て居ることは寔に御同慶に堪へないのであります

我等は此の……職責を遂行し、部下諸員と共に精勵努力以て警察の重責を完ふすることを固く誓ふのであります

賀正

日立モートル　フアクストーブ　諸機械工具商　咸興府大和町二丁目　咸南代理店　福田商店　電話長七四二

咸興府大和町二　マルタ食料品店　電話七四一

咸城金融組合　鈴木基四郎

咸興府軍營通一　笹沼寫眞舘　附屬コロタイプ印刷部　電話一五七番

咸興金融組合　山内太三次

咸南新上郡便所長　天野規矩一

咸南新上公立普通學校長　千葉慶一

咸興府會議員　咸興商工會議所議員　中原正作　咸興府昭和町一

咸興府軍營通一　芝田印刷所　電一五二番

咸興府會議員　咸興商工會議所議員　森田泰祐　咸興府朝日町

咸興府大和町二丁目　日本ペイント　ダンロップゴム製品　朝鮮總代理店　和田商會咸興支店　電話長四六九番

咸興府營通　洋食料品　洋食器　明治屋　電話五六五番

咸興府軍營通一　北鮮スポーツ商會　藤原寅之助　電話一〇一五番

咸興土地金融株式會社

咸興府會議員　齋地健治郎　咸興府知樂町　電話九〇二番

咸興府大和町三　和波商店　電話二二八番

片倉製系紡績株式會社　咸興製系所

咸興府廳

咸南合同電氣株式會社　咸興支店

咸興驛前榮町　松乃屋旅館　電話長四四〇番・一二二九番

咸南興南邑天機里　鐵商　白石金藏　電話一三三番

朝鮮咸南咸興府大和町　新興林業合資會社　電話長一〇一三番　私書函第五一號

咸南道立咸興醫院　職員一同

咸興府軍營通一　茂の家　電話一二一番

咸興府本町二　御料理　加茂川　電話長一三一〇・一一〇四番

咸南衞生會　咸南道警察部衞生課内

咸南北青郡新浦港　水產業　三好商店

咸興驛前中央町　松月旅館　電話長七〇〇・七五三・一二〇三番

端川郡内　學校職員一同

丁丑新年紙上名刺交換會

順序不同

大田 李範益

松本伊織

慶尙北道 上瀧基

山本犀藏

大邱府 徐丙朝

咸興府 井上通

慶尙北道 入山昇

咸興府 [illegible]平

群山府尹 佐藤德重

慶尙南道[illegible]長 兵頭儁

吉田英三郎

[illegible]

芳賀文三

咸鏡南道[illegible] [illegible]

大邱府 坂本俊資

大田 俞萬兼

慶尙南道內務部長 高安彥

大邱府 梅根菊平

咸南咸州郡[illegible] 堀平吉

慶北尙州 稻垣德三郎

大田 古谷壽朗

大邱府 [illegible]金四郎

堀江[illegible]

大邱商工會議所 [illegible]

一番ヶ瀨健太郎

文明琦

孫永穆

京城電氣株式會社 見日德太

京城電氣株式會社 武者鍊三

大邱府 門脇默一

大興電氣 [illegible]

[illegible]一

長津江水電株式會社 久保田豐

鈴木忠之丞

山根政治

[illegible]

瀨戶道一

大田 [illegible]

咸興府[illegible]病院 白橋顯佑

京城 金貴鉉

大田 [illegible]三郎

咸興 [illegible]八

大田 小池泉

釜山[illegible]長 高野卯三

牛尾正一

咸興府咸興[illegible]院 李曦燮

咸興[illegible] 阿部明治太郎

[illegible]竹三郎

長津江水電株式會社 佐藤時彥

釜山 杉村逸樓

長津江水電株式會社 橫地靜夫

[illegible]

大邱商工會議所 [illegible]

咸興[illegible] 原田大六

大日本[illegible]株式會社[illegible] 堀達

咸興府[illegible] 金明學

松田治次郎

朝鮮[illegible]肥料株式會社 白石宗城

咸興 [illegible]

咸南道立咸興醫院 高田昇

大衆小說　髭切り彌太郎（上）

長谷川伸

老母

今夜も又霧が白い。

天野彌太郎は、質屋から受取つてきた紙包の一刀を腕に、の濡板を、いつになく高々と踏みならして躍つてきた。一刀の先に酒の壺みで、一升徳利がひと足毎に醉ぶれしてゐる。

「お隣りのご老母、毎度お世話様に相成る、たゞ今歸りました。」

「おゝお歸りなされたか。先刻火鉢に火を入れ、煖爐をかけて置きました」

「毎日のご親切、千萬」

「酒の瓶がついた。心ばかりの前祝ひ、一杯飲んでくれ。質家の刀も質受けし、酒も買へた。」

「彌太、おぬしが自慢の心形刀流の腕を以つてしても、明日の夜の對手は、到底斬れまい」

「ほう、あすの夜といふ事、おぬし知つてゐるのか、では場所も」

「存より知つてゐる。彌太おぬし對手はだれか、知つてゐるか」

「知らぬ。が、無紋の提灯が、その者といふが目印。」

「それだ！」

「何？それだとは？」

「彌太その惡筆のぬしをだれと思ふ」

「知れたこと、召仕の女に相違ない」

「まさか」

ユーモア小說　メンタルテスト

井伏鱒二

いつくしき不二の山かもあら玉の年のあけゆくあかね雲の上に　（今井　邦子）

落語　牛の春

入船亭扇橋

東洋オフセット印刷株式會社

京城旅館組合

京城府竹添町一ノ一
大昌產業株式會社
社長　崔昌學
電話（光）六三五番

京城料理屋組合

東新地料理屋組合

謹賀新年

大同郡農會

大同警察署 職員一同

平壤光成高等普通學校

平壤佛教會

平壤金銀商組合

平壤刑務所

平壤新里 東平學校 電話一六七五番

平壤穀物商組合

平壤崇仁商業學校

成川邑内 成川醫院 金應秀

成川邑内 順安醫院 公醫 韓洛奎 電話一三番

陽德驛前 原旅館

平南江東邑 江東光霽會

平壤府黄金町入口 鋼鐵機械商 當所岩治 電話長一〇一三番

陽德温泉、石湯温泉 陽德邑内間、乘合自動車 平南自動車商會 陽德出張所 主任 金元湘

陽德邑内 無名人

陽德警察署長 北辻榮治

陽德驛前 福住食堂

平元線陽德驛前 陽谷自動車商會 丸三運送店 林業部

陽德驛前 丸五運送部 主務 朴淵璞

陽德驛前 貨物自動車業、鐵道貨物取扱 箕城運輸株式會社 陽德支店

陽德順德釀酒所

平南陽德 時弘商店

平壤旅館組合

活版、オフセツト版、石版 脇坂印刷所 平壤府泉町四（府廳前） 電話二四三・長二二一五番

朝鮮平壤府大和町壹番地 脇坂文鮮堂 電話二四・三〇六番 振替口座京城九二一番

一柳義一商店 電話一七番

平壤 松井民治郎

平壤府濱町十一 高橋礦油店 平壤出張所

平壤府港町四七 武内靖 電話一九五・二五四二番

平壤警察署 署員一同

平壤府慶町六三 朝鮮飲料合資會社 電話六六八番

平壤 岸田虎一

平壤府大同門通り 奥田米店 電話四二五番

平壤府鏡齋里拾九番地 漢湖商會酒造場 電話三三五番

平壤府南門里 廣田本店

平壤箕城醫師會

平壤神社 松尾正枝

平壤 賑町貸座敷組合

菅原組 菅原正雄 平壤船橋里

平壤府大同門通り 鹽貝商店 電話三七三・一七六番

平安南道食堂員一同

平壤府船橋里驛裏 朝鮮燐寸株式會社平壤工場 電話長二二八九番 私書函平壤局一〇二號

平壤府鹽店里 西鮮米油株式會社

平壤府船橋里五一 大同運輸株式會社 電話二六六・三〇九番

平壤材木商組合

株式會社 箕城券番

平壤府壽町一三六番地 朝鮮運送株式會社 平壤支店

平壤府旭町 株式會社 桑田商店

平壤洋襪同業會

平壤醫師會

平壤官公立中等學校長協會

早山石油代理店 日新石油株式會社 本社 平壤府鹽店里三一番地 電話長一三三番

平壤料理屋組合

朝鮮無煙炭株式會社 平壤鑛業所

（イロハ順）

府會議員 今井祐次郎

府會議員 尹永善

商工會議所議員 井手米次

府會議員 邊麟奇

商工會議所議員 當所岩治

商工會議所議員 富田晋二

商工會議所議員 郭斗榮

府會議員 横田虎之助

府會議員 内田錄雄

府會議員 岡元濟二

商工會議所議員 岡本直治郎

商工會議所議員 桑田信助

府會議員 黑川九平

府會議員 丸山理平

府會議員 松尾六郎

府會議員 福田太吉

道會議員 府會議員 崔鼎默

府會議員 金貞浩

府會議員 商工會議所議員 金鶴瑞

府會議員 金健永

府會議員 商工會議所議員 菊名仙吉

府會議員 金光洙

商工會議所議員 石宙興

平元線 順川無名會

成川東明倶樂部

陽德邑内各官公署團體職員一同

陽德温泉 九龍閣

平壤大和町 鷄林商事株式會社 長電話一六三五・八〇六・七九五番

鳳泉無煙炭礦株式會社

淺川邑内 島屋旅館 電話二三番 雜貨部 電話一七番

平壤興業株式會社

京城日報社平壤支局 支局長 小西晴濬 記者 池上要人 同 權澄曬 同 鄭春澤

東洋製絲株式會社平壤工場

平壤無盡株式會社

平壤呉服商組合

平壤府廳職員一同

平壤府船橋里（電話二〇九〇番） 日本穀産工業株式會社 工場長 エル・ディー・スカット 支配人 福富房登

平壤 大日本製糖株式會社 朝鮮工場 同 京城出張所

西鮮合同電氣株式會社

平壤水曜會

片倉殖産株式會社 平壤營業所

平壤府外勝湖里 朝鮮小野田セメント株式會社 平壤工場

あぶり出し四種

種あかし 理科の復習と應用

皆さんはあぶり出しといふものをごぞんじでせう、紙に文字や繪を書いてそれを火にかざすと今まで何にも見えなかつた繪や文字が忽ちの間に、焦茶色または黒色に浮び出て來る、その奇妙さ、理科を學んだとのない人達にはきつと驚かれることでせうが小學上級の方で理科を學んだ方はきつとそれは何といふ藥の應用であるかが見當がつかれることとおもひます、今ここに復習をかねてその應用を記して見ませう、これには大體四種の方法があります

第一法 鹽化コバルト

この藥品に水分を含ませると淡赤色に變るが、乾いてしまふと濃い青色になるものであります、この[illegible]して作るとすれば先づ鹽化コバルトを水にときます、するといくらか淡赤色になるものですが、これを筆にしめして紙の上に細かな字を書くと、この色があまりにうすいため目立たないのです、しかし一旦火鉢にかざしてあぶり出すと、水分が無くなつて、青く静かに字形を現はすわけです

第二法 鹽素酸加里

白色の砂みたいにギラ〜光る粉末です、よくお醫者の家でこれを水にといてウガヒ藥にします、これを水に濃くといてその液で紙上に何か書いたとするとどうなるでせう、無色の液ですから書いた所はちよつと判りません、そこでどこかの端を線香でこがしますとこの液で書いた所だけは、だん〜燃えて行つてこげて行きますので、燒けた文字が現れます、これは今までにあまりないあぶり出しの方法です

第三法 鹽化アムモニューム

一名〃ドーサ〃といふ白い粉であります これも水にとけるものですから、二[illegible]稀薄い目にとかしたもので紙上に書いておき、後で火にかざすとこの液のしみ込んだ部分だけは黒くなります

第四法 硫酸

これは皆さんも知つてゐること、思ひます、硫酸も水にうすめ稀硫酸でよろしい（大體一割以下）一番適當なのは水の量の百分の四か五といつた割合がよろしい、つまり四%の稀硫酸の意味です、これで紙の上に文字でも繪でも書いて乾かしておき後で火鉢で熱しますと第二法の場合と同じく眞黒にあぶり出されます

松宮キヤラメル

正月の餘興

タネはかんたん さあおやり下さい

〃〃〃〃おめでたう

新年のごあいさつに 動物親子づれ

あけまして、おめでたう、さあこれから新年のごあいさつに出かけようかと、可愛い動物の少年少女が親達と並んで外出の用意?1南アフリカの水の平の藪の中にすむ貘といふ動物の子どもです、藪から拔れることぶんと水の中に飛び込むから?2密林から拔け出た背むらで、お天道さまを仰ぐ象の親子「チヤンよ、ご年の正月は暖いなあ」3食火鷄は駝鳥と共に鳥類の中で一番大きい鳥です、オーストラリアを旅行する人は度々卵から孵つたひなを可愛がつてゐることを見ます。4小熊と小熊がとり組んでお相撲のおけいこです、側で親熊が「ハッケヨーイノコツタ〜」と行司です、5山猫は山猫でもたゞの山猫とはわけがちがふぞ、野猫は印度にすむ[illegible]性の止くない山猫であるぞよ……と威張つてゐる山猫の王様と王子6お母さんのポケットの中に居るとが好きのカンガルーの子です、しかし日に一ぺんづゝ袋から出されてホップの稽古をするのも嫌ひではないさうです7生れて、たつた二日しか立たないしま馬、世の中がまだこわいのでお母さん馬にくつついて離れません

慶尚南道 龜浦面職員一同

獸疫血清製造所 所長 昆野恒太郎

釜山府瀛州町 外科醫院 李瑾鎔 電話九四五番

釜山牧ノ島 釜山府會議員 白石馬太郎

釜山府瀛仙町 釜山府會議員 中村高次

釜山無盡會社

賀正

釜山化粧品會社

慶尚南道 水產試驗場

釜山府大新町 曹洞宗大新說教所 手島近江

慶尚南道 漁業組合聯合會

釜山機橋食堂

釜山專賣局出張所 所長 岩下谷三

慶尚南道金海邑內 金海中央產品組合 電話二番

慶尚南道金海 慶尚合同銀行 金海支店

釜山漁業組合 組合長 濱田惟怨 理事 林勇士郎

釜山府幸町 株式會社 中島商店 釜山出張所

東萊溫泉 鳴戶旅館

釜山鐵道事務所 所長 鈴木敏

釜山府大倉町 株式會社 釜山商船組

釜山稅關長 大河原重信

總督府水產試驗場 場長 西田敬三

釜山府西町 釜山府會議員 松岡源太郎

慶南金海郡禮洛面 植田義夫

慶尚南道 金海警察署 署長 木村康郎

慶尚南道 金海酒造組合 麴子製造場

慶南金海運輸會社 裴載玹

慶南金海邑長 駒宮庄三郎

釜山府大橋通 株式會社 朝日組出張支店 電話一九三番

大池商店 店主 大池源二 釜山辨天町

慶尚南道 東萊懇談會

釜山酒造組合

南鮮燒酎親和會

金海郡廳 郡守 金義鎔 吳受煥 辛昌烈

慶尚南道水產會 會長 香椎源太郎 副會長 李[illegible] 書記長 辻[illegible] 同 松[illegible] 技手兼書記 高[illegible] 同 宋[illegible] 同 裵[illegible] 同 尹[illegible]

釜山海運業組合

朝鮮信託會社 釜山支店 支配人 櫻井金吾

釜山銀行集會所

迫間房太郎 釜山府本町

釜山第一金融組合

釜山鐵道醫務室 草梁病院

釜山青果株式會社

釜山府凡一町 三和護謨株式會社

釜山府土城町 朝鮮瓦斯電氣株式會社 電話四〇〇〇番

朝鮮紡織會社 釜山府凡一町

釜山商工會議所 會頭 立石良雄

慶尚南道 高等官食堂

釜山水產會社

朝鮮金融組合聯合會慶南支部 慶尚南道金融組合

釜山府榮町 合資會社 小宮黑鉛鑛業所

釜山府大橋通 朝鮮米穀倉庫 會社釜山支店

釜山米穀取引所

釜山府大倉町 合資會社 澤山兄弟商會

仁川本町 福島邦一商店 電話一〇一四番

仁川西京町 日用雜貨 若林商店 電話四一九番

仁川物産株式會社 電話六八八番 新町營業所 電話六八九番

仁川萬石町 土木請負業 天野秀一 電話一〇三三番

仁川 華商商會

仁川 上田文次郎

仁川濱町 穀物商 吉金喜三郎 電話一一〇番・六〇三番

仁川府濱町一九 劉君星材木店 電話四一六番

仁川花町 府會議員 直野良平

仁川花町三丁目 肥料商 安河内商店 電話一一五一番

仁川移出檢査所 所長 伊佐山伊三郎

仁川貿易館 主事 小ケ倉喜平

仁川驛 驛長 高橋宜郎

仁川府濱生町 食鹽雜貨穀 三井の石炭 槇商店營業所 電話一〇二六・一二五四

京仁線朱安町 精米業 渡會儀市 電話仁川一〇四八番

仁川花房町 豊田酒造場 電話六四六番

仁川警業株式會社 常務取締役 浦崎政吉

仁川海岸町二丁目 庄野仁川支店 電話長五四番

仁川府港町一 富川通運組合 組合長 金完洙 理事 宋炳喆

仁川本町 御菓子 龍榮堂 電話一五五番

仁川本町二丁目 藤木商店 電話四〇番

仁川本町 府會議員 大石季吉

仁川新花町 横田藥房 電話九七三番

仁川本町四 八木硝子店 電話五二四番

仁川本町四丁目八 株式公債現物賣買 丸加株式現物店 電話五一三番

仁川本町四丁目 河野自轉車商店 電話三六五番

仁川花町 ラムネ製造元 中山宇之吉 電話七三三番

仁川府仲町 御料理 三木園 電話七二六番

仁川仲町 鈴木硝子店 電話九一四番

仁川府新町 生肉商 勉強屋 申萬根

仁川仲町 陶器・酒瓶・石粉 日下部商店 電話六五六番

仁川府本町四丁目 松本紙店 電話二六八番

仁川海岸町三丁目 米穀商 松浪秀雄 電話一七〇番

仁川府本町四丁目 千鳥正宗支店 電話三五九番

仁川仲町 淺岡旅館 電話五三番

仁川花町一丁目 土木建築請負 樽崎辰之助 電話一四四番

仁川氷組合

仁川 勤業所 電話二七・三五三番

上仁川驛前 株式會社 朝日自動車商會 仁川營業所 電話三一九番

仁川府花房町二丁目 山口製油所

仁川商工會議所副會頭 今井嘉三 仁川府海岸町二ノ三 電話長八〇九番

仁川宮町 西洋料理 東洋軒 電話五一九番

仁川府本町一ノ二八 中華樓 電話四五番・九五七番

仁川新町 仁川葬儀社 電話八二九番

仁川府宮町 文房具運動具 マエダヤ商店 電話六一八番

仁川寺町 産婆 芝モト 電話四一八番

仁川宮町 岩崎政介商店 電話四五五番

仁川敷島町 隱塚種苗園 電話一七三番

仁川花町 杉野榮八

仁川宮町 村上履物店 電話六二二番

仁川 府會議員 吉木善介

仁川船具金物商店 (順序不同)
村谷吉藏商店
横田商店
姫島商店
村谷勘一商店
松本商店
内田商店
大井商店
牛島商店
池末商店

仁川 京城 嘉納合名會社

仁川府宮町 藥種藥品 合資會社 星光商會 電話一一番

仁川宮町 福岡藥局 電話二九番

仁川宮町一八 青島茶舗 電話七〇九番

仁川 野田醬油株式會社 仁川工場

仁川山根町 府會議員 小谷益次郎

仁川宮町 磯永洋服店 電話一五番

仁川金融組合理事 上野進一郎

仁川府西京町郵便所 所長 佐藤滿賀

仁川府松坂町三丁目 愛敬石鹸 マルイ石鹸 アイケー石鹸 製造元 愛敬社 社長 太田畯太 電話三二四・四五八番

仁川商工會議所 理事 渡邊政喜

仁川新町 食料雜貨 中村寛一商店 電話五三七番

仁川府海岸町四 回漕業 野口商會 電話[illegible]

仁川港町 醬油販賣 久米商會 電話長一二三番

仁川海岸町 回漕業 木村組

仁川教育會

仁川山手町 能治齒科醫院 電話三五〇番

仁川山手町 梶谷靜風寫眞場 電話八八一番

京畿道立仁川醫院 職員一同

仁川府會議員 仁川商工會議所議員 仁川青年聯合團長 伴康衞 仁川府本町

仁川本町 松屋呉服店 電話八三番

商工會議所議員 浦上七三生 仁川本町四丁目

仁川花町二丁目 二宮鐵工所 電話七三四番

仁川山手町 食堂料理 うろこ 電話六八番

仁川濱町三四 ㊦バケツ工場 電話一一六八番

三井物産株式會社 京城支店仁川派出員 沖謙治

仁川府大和町 朝鮮鹽業株式會社 主事 崎村米造 電話 會社七七八番 自宅五八〇番

仁川萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

仁川花房町三ノ一〇 王成鴻

仁川大和町 牛酒移出 谷本茂三郎

仁川府柳町一六 合名會社 朱命基精米所 電話三八一番

仁川京町 雜貨 合名會社 玉植商店 電話六五番

京畿道漁業株式會社 仁川支店 仁川府海岸町

仁川濱町二〇四 綷谷鐵工所 電話六五八番

仁川稅關貨物取扱人組合

仁川府花房町一ノ六 株式會社 林兼商店 仁川事業場 電話五七番

仁川府會議員 金泰勳 電話六二二番

仁川稅關移出入不要申告貨物藏置地帶貨物取扱者組合

仁川取引所

仁川府外長意里 おたふくわた株式會社 原田五十男

仁川 桑野健治

仁川郵便局長 宮原猪一郎

仁川仲町三丁目 佐藤株式現物店 電話三四六・二六七番

仁川宮町 仁川商工會議所議員 永井市太郎

仁川海岸町 仁川鹽共同販賣組合

仁川 吉田秀次郎

朝鮮證券金融株式會社 仁川支店 支配人 澁谷鐺

京畿道漁業組合聯合會

仁川府尹 永井照雄

仁川府港町四丁目十六番地 仁川穀物協會内 米雜穀仲立業 仲立組合 木村爲一郎 田岡留吉 木下德三

仁川 月尾島遊園

株式會社朝鮮取引所 米豆取引員組合

桑野健治
堆浩
新田義民
菰淵紋七
内海清藏
竹多柳三郎
康益夏
劉君星
趙俊鎬
吉村榮左衞門
柳來恒
紺谷仁三郎
山本源作
書記長 三井一三

仁川海運倶樂部 (順序不同)

日鮮海運株式會社
朝鮮運送株式會社仁川支店
朝鮮郵船仁川出張所
高杉回漕部
大和組
慶田組
朝日組
協同海運商會

仁川輸移出白米製造業組合員 (イロハ順)

素砂 馬場精米所
萬石町 安昌精米所
仁川濱町 朝鮮精米株式會社仁川工場
花町 力武物産株式會社
柳町 李興善精米所
朱安町 渡會精米所
仁川花町 株式會社角丸精米所
花町 河村精米所
金谷町 大東精米所
素砂 素砂精米所
仁川花房町 辻川精米所
柳町 直野精米所
萬石町 京元精米所
金谷町 鄭鎭壽精米所
花水町 金泰勳精米所
萬石町 金信精米所
柳町 朱命基精米所
花水町 百東精米所
花町 合資會社松野精米所

仁川質屋組合

仁川土木出張所 所長 福井靜

仁川稅務署 署長 吉野敏夫

仁川府會議員 醬油 酒 高雄支店主 代田繁治 仁川府新町二一 電話二七七番

仁川木材商組合

仁川本町 米雜穀肥料 土居喜七商店 電話一一一番

朝鮮海洋社 社長 島崎彦次郎 電話三三・一〇一番

仁川府海岸町 米穀肥料委託問屋 河村宗七商店 電話一〇二番

大阪商船株式會社 仁川代理店 株式會社慶田組

株式會社朝鮮取引所 仁川支店 支配人 平岡宇太郎

仁川組合銀行 (いろは順)

朝鮮銀行仁川支店
株式會社朝鮮殖産銀行仁川支店
株式會社朝鮮商業銀行仁川支店

仁川府濱町一ノ二 京畿道水産會 府會議員 會長 美濃谷榮次郎 主事 橘川章

河波國共同汽船會社 大連支店

仁川稅關沿岸貿易地帶使用組合 組合長 太田忍 理事 平石三郎

仁川府花町一丁目 土木建築請負 光田新太郎 電話一三六番

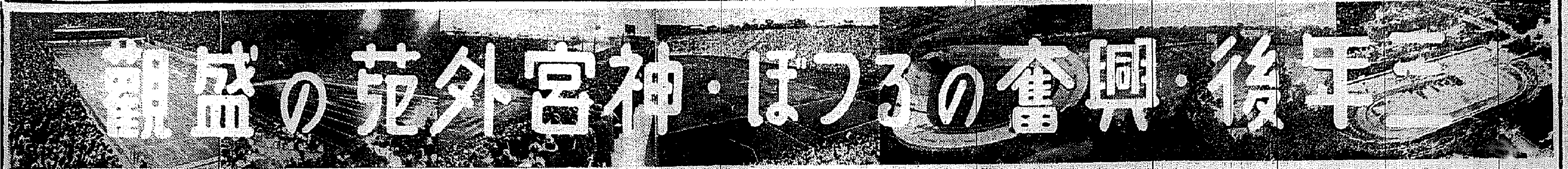
大和組 仁川府仲町一丁目一七 電話五三八・二八一

株式會社福島組 仁川府濱町一四 電話五三五・五三六

株式會社朝日組仁川支店 仁川府本町四丁目 電話五二九・九六四

朝鮮專賣局原鹽指定販賣 海産物商 松永源次郎 仁川本町

仁川濱町十一番地 今村正治



年後・興奮のるつぼ・神宮外苑の盛觀

明けて皇紀二千五百九十七年、我スポーツ界は茲に光輝ある第十二回國際オリムピック東京大會への第一年を迎へた、昨夏七月卅一日、東京招致を國際オリムピック委員會で獲得したオリムピック東京大會開催のこの報こそスポーツを愛するもの、否全國民の渇望である、いま我らは三年後の、わが帝都に國を擧げての昂奮と感激を眼のあたりに豫想する、世界の俊傑、群英がオリムピック聖火の下に努力と優秀とを傾注して相競ふ武器なき聖戰々々の偉大なスリルに醉ふよろこびである――今こゝにオリムピック東京大會への第一年を迎へ國を擧げて大會準備の火蓋は切つて落された、着々組織成をみた大會準備組織委員會が會場決定問題・外人客の接待などに一齊活動を開始すれば、一方伯林大會に輝かしい記録と日章旗をかざした陸上・水上その他各種競技者たちは伯林大會の感激を新たに、わが國での聖戰へ――向上の第一歩を力強く踏出した

東京大會について諸權威は語る

競技場の問題

劃一的なものを永久的施設
岸田工學博士の主張

第十二回國際オリムピック大會の東京開催と決定以來、着々準備進み國民的支持の下に見事に成功の總仕込みである本大會遂行には萬全の組織機關が必要で、多くの苦心が拂はれなければならぬが、それと關聯して甘に餘る各競技種目の競技場施設は大會遂行上直接的に重要な課題で、建築家の責任も重大な役割と地位を占めるものであらう、前大會を伯林で親く觀た私は、大規模な競技施設に接し建築家としての責務の重大を感じたが、獨逸と日本は國情異なり更にこの大會に對する根本の觀念にも若干の差が見られる今日の情勢から觀て伯林大會の規模を眞似たりそれと對抗する豪華さを求める必要は毛頭ない、吾國を擧げて東京招致に邁進、東京開催と決定した今日、出來るだけ完全にこの大會を遂行し得る計畫と施設をせねばならぬ

◇

大會遂行に寬大の經費をかけ徒らに大規模さを求めれば大會の理想と精神に反するは勿論だが、分相應の大會施設を施して萬端の用意は是非必要だと信ずる、定員十萬人の陸上競技場、三萬の水上競技場及びその他綜合競技場に集る人は一日廿一萬人前後と見、東京大會も大體この位が適當と考へるが一日廿萬人以上の出入する此種大規模の綜合競技場は新都市計畫的の立場から施設の立案をせねばならぬ、大規模な伯林大會は、總覽すべしたが、技術家の私が最も感心した點は實に會場の擴大或は各競技場建築の整然さでなく會場敷地の位置並に雄大規模の綜合競技場として理想に近いといふことだつた

◇

大會を機會に日本を訪れる外國人の數は其方面の專門家の意見で一萬から二萬人を除いて一萬人から一萬五千人位の見當、これら多數の外國人の宿泊問題だ、大丸帝國ホテル支配人の計算では一萬人位ならば近郊ホテルで大體間に合ひ、大規模な洋風ホテル增築、新築をするのは徒らに大會終了後の苦惱の種を增すに過ぎないであらう

◇

競技場施設の問題にせよ、宿舍の問題にせよ、オリムピック大會と建築といふものは極めて密接の關係をもつものであるから、建築家のオリムピック大會に對する認識の增進と一般の認識も建築なり建築家のもつ技術上の重要性とを正しく認識し、協力して第十二回オリムピック東京大會の完全な計畫と遂行とが成されることを願つて已まない次第である（寫眞カットはオリムピック調査委員で、我國建築界の權威、帝大教授、工學博士岸田日出刀氏）

羅府と伯林の兩大會を參考に

國際オリムピック委員 副島道正伯は語る

東京大會開催について日本特有の事情があり、何れ組織委員會で決定を見るが、私は茲に前大會の趣旨の苦心を御參考までに一言したい

◇

羅府大會開會前の委員會で伯林大會が決定され、總務デイーム博士は羅府に來り長時日研究調査した、米國組織委員會發刊のオリムピック報告書を一種の八百頁に亘る報告書として翻譯した、博士は[illegible]

競技場を改築し六百萬馬克の豫算でやる筈であつた、然るに一九三三年ヒトラー政權確立し、總統は數千萬馬克の出費を命じ羅府大會を凌駕し大々的に催すことに決した

先づ場所の決定及建築の開始、二年目は規則及競技の研究、三年目に本格的な宣傳開始、四年目には競技會の準備に着手した其目的の大要は

◇獨逸に對する信用扶植◇獨逸國民體育獎勵◇世界[illegible]の青年體育及平和氣分の養成

◇大會を利用して國防附施設

大會の效果は豫期以上だつた卅三の金メダルを獲ち得た、我國も伯林に學ばねばならぬが、スポーツマンシップは羅府大會に學ぶべしだ

◇

さて我組織委員會の構成は先づ總裁に宮殿下を推戴し文相市長及體協名譽會長を副總裁に會長を選び、其下に三人乃至五人の執行委員、其下に總務を置くを至當とす、總務は一切の事務を總轄し總務の下に建設部、競技準備部、競技部、音樂部、寫眞部、通信部、接待部、オリムピック村部等を設け各部に部長を置くべしだ、總務部其他の細則も必要である

◇

終りに一言したい。二三日前ＩＯＣの名譽會長オリムピック復興者クーベルタン男及伯林大會の主腦たりしディーム博士、クリンゲバーグ氏より長文の來翰、其一節は

クーベルタン男 一九四〇年に亞細亞で大會を催すことは人類の歷史及思想に一大革新を與へるもので東西文明の接觸調和となる、予は佛蘭西の學校で日本歷史研究獎勵の爲め熱心に運動してゐる。予は日本東京及君の幸福と成功を祈りつゝ擱筆する

クリンゲバーグ氏 日本の選手が獨逸國に殘した印象は素晴しいもので、日本で見ることが獨逸青年今よりの樂みである、ヒトラー總統は日本精神を讚歎しつゝ一九四〇年に多數の獨逸青年を派遣することには全力を盡すと言つてゐる（寫眞は副島道正伯）

水上日本

日米對抗戰
わが新人を待つ
松澤日本水上總監督

四年後のオリムピック東京大會にどんな選手が活躍するか――

男子競泳で 伯林大會選手中から四年後實際泳げる人は（短距離）では新井、杉浦、田口君の三君、田口君は是非頑張つて貰はなければならない人だ、遊佐は一寸出場が危い（中距離）は根上があるない、牧野も學校へ殘れないから結局鵜藤一人で、鵜藤が中心になる（長距離）は石原田はもう駄目だ、結局こゝでも寺田と鵜藤の二人だ（背泳）は吉田、兒島兩君がまだ若いし當然殘る（平泳）は小池君は出られるかどうか、伊藤君は現に本科二年で競技界の第一線に立つことは困難、葉室だけになる、結局殘るものは新井、杉浦、田口、鵜藤、寺田、吉田、兒島、葉室など精々八選手ぐらゐだらう、新鋭や田中も健在だが期待薄で、エントリーから外れた選手中から拾ふ人はない、新人且大のブレスト選手の林田が好い、新人中には國際好い選手があるので、これからベストテンを見てシーズン初めにマークして置き、鍛へつくり育てあげるより外ない、卒業後の事を考へ今度の滿州の如く勤務先が好意を持つて呉れて自由にやるだけに練習が出來るやう今度は東京で練習に細心を持つて欲しい

女子の方は 全然未知數で小島、前畑兩選手引退後は若い選手のみで日本中から擢く優秀選手を發見し養成せねばならぬこの意味で大阪で行はれた第一回女子大會は素晴らしい收穫があつたと云へる

外國の情勢 は如何うか。羅馬に依れば米國、背泳のキーファー、ドライオスデール、ダブンテウエーの若い連中と、平泳のヒギンス、[illegible]のアイケは落ち目、[illegible]

【カット寫眞說明】東洋一を誇る明治神宮外苑と綜合運動場向つて右から 1上空からみた外苑の一部＝陸上競技場を中心に＝ 2同陸上競技場 3同野球場 4同盛んな野球戰 5球場の豪華版早慶野球戰 6同プールの夜中競泳 7同早慶水上戰 8同水泳選の夜景

開催の資源を何れに求めるか

國際オリムピック委員 嘉納治五郎翁の意見

[illegible]

資源の根底 を此の三方面して之れが資金の何なる形態に據るか大藏省、新組織成れる組織委員會などで決定し明言を避くべきであつてこゝに於て[illegible]（寫眞は嘉納治五郎翁）

跳躍日本

三段跳の霸權確保
我傳統を護れ
日濠戰・ジャンプは日米決戰
世界の制覇者・田島直人氏

國技、三段跳の霸權の確保！これぞ東京大會に課せられた最大の義務である――[illegible]

傳統がある [illegible]

走幅跳は [illegible]

この點日本 [illegible]

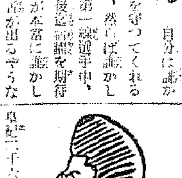
三段跳の覇者 田島直人氏

[illegible]ロールオーバーで一米九六を跳び優勝したのを見て非常に意を强くした、伯林大會へ行つた矢田、田中兩君の三君共これからの人達で、勿論東京大會を背負つてたつ人々天來のバネにロールオーバーの技巧を加へ是非此の種目で最初の日章旗をあげてほしい、棒高跳は走高跳と同樣米國人と北歐人だが、先づ一米を完全に征服して自分のものにしてほしいものである

棒高跳は 羅府大會から伯林大會へと日米戰が持ちこされた樣に、東京大會へも日米戰は繼續する、羅府で西田君が二位に喰ひ込み、伯林では西田、大江兩君[illegible]

外人客の優待

觀光日本を强く認識させ
田誠國際觀光局長



[illegible]

◇――◇競技場はまだ決定せぬが若し明治神宮外苑を擴大して之に充てることとなれば鐵道のホーム、地下道改良、線路增設など考へられ目下鐵道省の綜合的な準備會が考究中だがこの機會に國內交通機關の全般的スピード・アップと快適の促進、國立公園と共に觀光地、觀光道路の施設充實、保健設備のため國際海水浴場、運動場、溫泉ホテル、博物館、美術館等の新設完備、その他國際觀光局が永らく提唱する風景愛護、鄕土美化運動の具體化など考慮を要すべき問題が多い、幸ひ昨昭和十一年十一月十一日の休戰記念日をトし結成した我國地方觀光機關の大同團結、日本觀光聯盟は之等の目的達成の上に大きな役割を演じて呉れるものと期待する

◇――◇オリムピアの聖鐘を高らかに打鳴らすべき聖なる役は今やわれ等の雙肩に委ねられた――緊褌一番して世界の期待に應へなければならぬ、啻に資金の準備を以て世界の期待に應へるのみならず、更に此の聖年は觀光日本の眞諦を世界に顯揚して國際的にも一段の飛躍を遂ぐべき好個の秋なるを想ひ積極的な心構へを以て相共に來らむオリムピックの佳き年を迎へん事を切望するものである（カットは田觀光局長）

久米平内（26）

小金井蘆洲 演　福田勇 畫

道場覗き（六）

平内の隱居の選手ホを打たれ山左勝ボロリと得物を取落した。

「參つた」

餘り呆氣ないので、何だか負けたやうな氣がしない。呆然と立ちつくしてゐる。

「唯今の勝負はなしにして置く、今一本參られい」

と云はれてまた木劍を拾ひ、今度こそはと喚き叫んで打ち込んで來るのを、平内はガッキと受け止め一足後へ退くや否や、

「えい――ッ」

氣合と共に打込んだ一打、石山の木劍は眞ッ二つに折れて向ふへ飛んだ。

「いや、これはどうもお手の鋭さ[illegible]かりに打込んで來た。

「ふむ、代稽古をなさる愛川殿とな、では少し骨があらう」

と云ひながら、ヒラリ／＼と向ふの木劍をかはし、

「それ、太刀折れ、體崩し、愛川押し、どれでもお好み次第……」

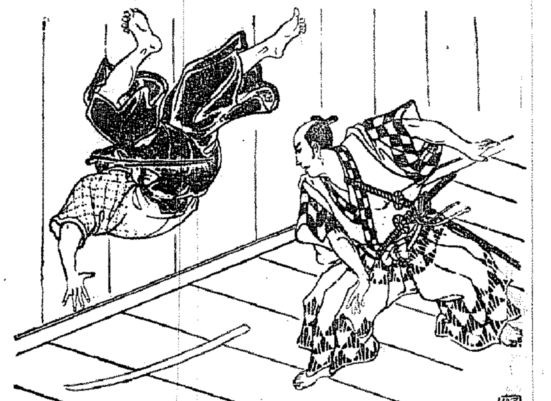
云ふことが癪にさはる。愛川は眞ッ赤になつて打込み／＼もう大分息が切れて來た。

こゝらと思ふところで、

「やッ」

と云ふと縮を組め大きな聲で飛鳥の如く飛んだと思ふと、五平の帶際へ手がかゝつてペドーンと道場の羽目板へ强かに叩きつけた。

どうもその痛いの痛くないのといつて起上ることが出來ない。



「これは失禮をいたした。拙者一流の大ゴロ投げ、ちとはづみ過ぎてお痛うござつたらう」

五十餘人の門弟達は、もうこらへ切れなくなつたと見え、互ひに目配せをすると、「それ各々方」

「おゝ」

一齊に立上り、木劍を持つて平内めがけて打つて掛らうとする。

平内はこれを見て、

「いや、出たな出たな。一人二人は面倒と思つてゐたが、さては各々も同意か、いざお對手申さう」

暫しも、體前から座に入つてつくゞ見て居つた鷲十郎、聲張上げて、

「あいや各々方鎭まりなさい。唯一人をかく大勢にて取卷くといふのは卑怯未練、見苦しいではござらんか。得物を引かつしやい」

「はッ」

鷲の一聲、門弟達は手持無沙汰に退いた。

「これは／＼久米平内殿、體前よりこれにて拜見いたせしところ、甚だ驚き入つたるお手の內、日本無双の劍術とは貴殿のことでござらう。とても我等が門人共の遠く及ぶところではござらぬ[illegible]

眞、即ち第一流の太刀打の一手でござる。木刀ばかりではない。眞劍でもまづこの通り、然し木劍がなくては試合は出來ぬであらう。唯今のは、勝負なしにして置かうか、あはゝゝ」

とさながら子供を扱ふ有樣。

續いて神崎宗次郎といふ屈强な使ひ手、互ひに挨拶して左右に別れる。神崎は、

「えい――ッ」

と一聲叫ぶと共に入身になつて胴を打たうと飛び込んで來たが、平内身を沈ませると對手の腕口を鍔際でギューと押へ付けた。

膂力無双の平内に押へ付けられては堪まらない。神崎はその場へぺちやりとへたばつてしまつた。

「はゝゝ、これが稽古の蛙跳びでござる」

殿田鷲十郎も、この有樣に舌を卷いてゐる。

今度は第一の高弟愛川五平といふ者がその場に飛び出して來て、

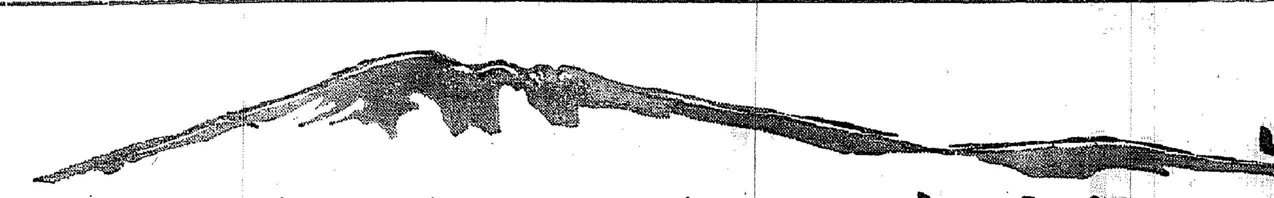
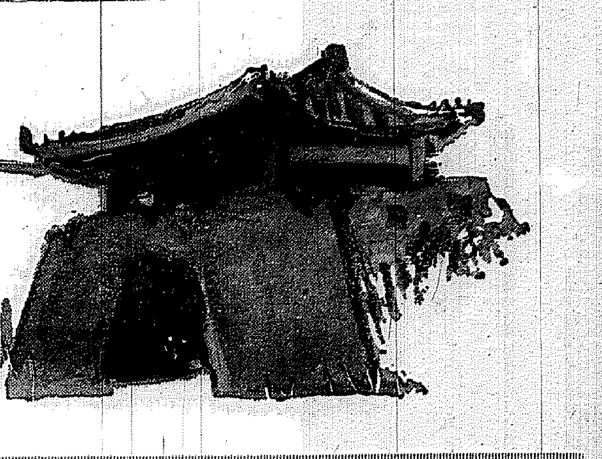
「あいや、體前よりのお腕前恐れ入つてござる。拙者は當道場の代稽古を勤むる愛川五平と申す者、貴殿のお腕前拜見……」

木劍構へるが早いか、ヤッとば[illegible]

恭賀新年

京城府黄金町一丁目 奥田洋服店
京城府本町八ノ三 谷岡商店
京城府南大門通一ノ九四 中山洋紙店
京城府本町五ノ五二 愛知産業株式會社 京城支店
京城府本町二ノ七 日韓書房
京城府漢江通十三 セメント瓦 石綿 建築材料 戸張工業所 戸張又市 電話龍山五三四番
材木商 三幸洋行 京城府岡崎町 電話龍山長三八〇七番
京城府古市町四三 東邦科學興業株式會社
京城府古市町一四 日米礦油會社 京城出張所 電本一七八一番
製紙、製綿、原料輸出入商 中田屋商店 京城府若草町一九 電本(2)長五八三三番

犬印謄写インキ及材料商 山本インキ株式會社 朝鮮出張所 京城府大和町一丁目三五番地 電話本局五〇四六番
室内装飾品 株式會社 横山商店 京城府本町二丁目四八番地 電話本局六七・二七二八番
株式會社 北陸組 京城府岡崎町七番地 電話龍山一・一七九番
當房組 當房有次郎 京城西界町一九四 電話龍山七八九番
西大門公設市場 組合員一同 電話光化門二九六二番
合資會社 中村組 京城府竹添町三丁目一八五番地 電話光化門一一三〇番
渡邊組 主 渡邊惣次 京城府榮町一番地 電話龍山六九六番
朝鮮書籍印刷株式會社
合資會社 山本組 京城府漢江通一一番地 電話龍山五四七番
株式會社 伊藤商行
朝鮮計器株式會社
合資會社 西本組京城支店 京城府若草町一〇六番地 電話本局長二九五六番 振替口座京城一六九八七番
金物商 佐野彦商店 京城府本町一丁目 電話本局六三・二三二番
京城府花園町四十五番地 大正生命保險株式會社 朝鮮支店 朝鮮支店長 河錫辰
京城府南大門通二丁目一番地 日本生命保險株式會社 京城支店 電話本局四四一・一九六三・一五二三番 振替口座京城六九八五番

新春に輝く希望
われ等の良二千石初放送

天惠的資源の開拓
自力更生の實を結ぶに絶好

前途の光明指して進め躍れ
黄海道知事　鄭僑源

非常時克服
不屈不撓の精神で鬪へ
慶尚南道知事　土師盛貞

起ち上れ道民
伸びる道勢に處し
我もまた身を挺する覺悟
全羅北道知事　金時權

大氣を吸へよ
新しき太陽に向ひ
浮華輕佻は最大の禁物
京畿道知事　湯村辰二郎

道立水原醫院　院長　三木榮

水原城外　京南タクシー　電話三一二番

水原城内　神崎呉服店　電話一一二番

水原驛前　巴商會　電話一四三番

賀正

水原土木管區

水原本町　加茂商店　電話一〇八番

水原邑　宋秉焜

水原醫師會

水原消防組頭　水原邑會議員　青木爲一

水原邑會議員　寺澤捨三郎

水原城内　近藤印刷所　電話一七一番

水原齒科醫師會　李昌鎔齒科醫院　本町三丁目
芧田齒科醫院　驛前通
兒玉齒科醫院　本町三丁目

水原邑

水原邑梅山町　土木建築請負　賴岡實一　電話二一二番　電話光二四一四番

水原植林種苗株式會社　專務取締役　近藤虎之助

株式會社水原劇場　取締役社長　洪思勛　專務取締役　井川好太郎

水原宮町　株式會社　富國園

丁丑新年紙上名刺交換會

順序不同

山田忠次

三橋孝一郎

棟居俊一

富永文一

矢島杉造

穗積眞六郎

林繁藏

大竹十郎

增永正一

相川勝六

鈴川壽男

西龜三圭

伊藤泰吉

古川兼秀

山澤和三郎

西本計三

鹽田正洪

景山宜景

松澤龍雄

新貝肇

水田直昌

藤本修三

村山道雄

西崎鶴司

碓井忠平

大原龍三

伊藤重次郎

丹下郁太郎

高尾甚造

榛葉孝平

吉岡定次郎

本田建義

新井俊次

和田八千穗

石田千太郎

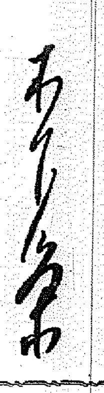
金大羽

岸勇一

橋本左太郎

西岡芳次郎

山下眞一



釘本一男

波多江千代藏

篠崎哲四郎 京城府民館

山上欽三 朝鮮麥酒株式會社

八坂卯三郎 キリンビール株式會社

永岡惠 辰巳[illegible]株式會社

秋友毅一郎 京城岡崎町

山中大吉

松井房治郎 朝鮮米穀倉庫株式會社

梅澤友七 京城明治町

塚崎兼作

河原木宗橘 朝鮮ホテル

岩谷二郎

今村豊八 京城府若草町七一

森政吉 京城本町二丁目

吉川太一郎

間島梅吉 喜樂館

大石貞七 明治座

中央館 京城府永樂町

ヒットラー總統口約の
國民經濟再建終る
だが自由主義經濟は發展の餘地なし？
獨逸の強力なる經濟統制

一九……三三年一月卅日國民社會主義勞働黨が政權を掌握してより早くも三ケ年半を經過し今春を以て組閣當時、ヒットラー總統が國民に口約せる國家經濟再建の期間は終了する、此三ケ年半間に於てナチス政府がなし得た業績の數々は、たとへその半面には多くの政策上の闕陷があつたにしても、否定すべくもない、六百萬失業者を二百萬以下に減じたこと、ラインランドに主權を確立したこと、又再軍備等を當然なすべかりし而して議會主義政府の下に於てはなし得ざりしことを三三年の中に敢行せる事は偉とせねばならぬ、しかしかゝる國內的並に合法行爲や猶太人に對する徹底的排擊が、英佛始め其他のヴェルサイユ條約締約國政府の全國際的並に不安の反感を買つた事は言ふまでもなく、その結果外資の引上外國爲替の不足を招來し國民生活は相當の犠牲を餘儀なくされてゐる、實際に輸入制限により食糧品の不足を將來し、一時國民を不安に陷れたが、國民生活を極端に脅迫する事なく此難關を切りぬけて來たナチス黨員と經濟相シャハトの功績は當然認めても良い、勿論政權掌握當時口約せる政策が全部實行に移されたわけではなく、多くの政策に喰違ひを來たしたが政府はかゝる政策の喰違ひを隱蔽する事なく「我々は困難を經過してゐる、國民は我々に協力せよ」といつて國民の忍耐と自重を要望してゐる、而して一方軍備再建を整へ多量の工業原料を輸入せねばならず、他方外國爲替の不足になやんでゐる獨逸としては經濟政策の目標は國民生活を脅威せぬ程度即ち現狀を維持する事におかれてゐる樣である

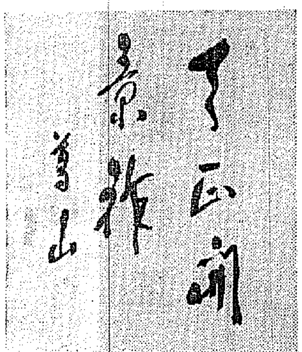
現代……獨逸に於ける最大の問題は重工業問題と食糧問題である、當初農業政策は獨逸の重大なる政策の一つであり、世襲農場法及小作人保護等に盡力して來たが、現在では農業保護政策は一段落をつげ、農業に對しては食糧自給の立場より生產增加の任務が與へられてゐるにすぎない又中小商工業は國內の消費組織を相手とするもので我國の如き極端な過剩に陷つてゐないのでそれ自體としては重大な問題を有してゐない、纖維工業、化學工業等が國內の消費力及び販賣市場を目標にして經營に邁進されてゐるに對し、重工業はめざましい發展をつゞけてゐる、鐵工業の飛躍は殊にめざましく不斷に熟練工の不足に悩み又コークス及石炭の消費增加は驚くべきものがある、勿論、重工業の飛躍は軍備の急速なる實施により促進されたものであるが、一面に於ては諸外國に對する需要が瑞典、英國、南米、日本、米國等に於て著しく高まり、該部門に於ける獨逸の輸出貿易が促進された事にもよる、事實獨逸ルールの各工場は活氣をとり戻し新設された大小幾多の工場に於ても能力をあげて活動し [illegible] 操業が行はれてゐる、而して此重工業の活動がナチスの對外的軍備擴充の爲のみならず、又國內に於ける勞働問題の救濟の爲に [illegible]

この三ケ年間にナチスの經濟政策の『公利は私利に優先す』といふ根本的觀念は少しも變改せられてゐない則ちナチスの經濟機構は國有でもなければ國家管理でもない私利なる言葉を以て表現せられる自由主義的經濟機構を現狀のまゝに存置し、たゞ其等を黨の政策方針に公利に背反せぬ樣に監視し又進んで統制を加へるとである、而して統制に於ては [illegible] 凡ゆる所に黨員がをり、黨員は常に昇進が早く且重要なポションを占め統制は實に徹底的に行はれる、この統制の爲め機關の中でも「獨逸勞働戰線」と「獨逸食糧同盟」は最も大きなもので、前者は自由主義時代の凡ゆる勞働組合、資本家團體を解消しその代り凡ゆる企業の勞働者、資本家、社員職工等を加入せしめて新設した黨の勞働團體である、後者は農民、農業家、食糧輸入部を包括する、此點の二つの外廓團體によつて [illegible] 決定せる事項はどしどし斷行されてゆく、この場合國家の官吏は法的形式をとるにすぎない、たゞ重工業が政府及軍部の完全な統制下にあること、中央銀行の資本が可なり國範に及んでゐることは勿論である

食糧問題は現今獨逸に於ける最大の問題である、換言すれば輸入の關係よりして [illegible]

忍耐 [illegible]

[illegible]



小磯朝鮮軍司令官の新年試筆

[illegible]

明日への準備時代
いよいよ離脱
今後の官民の責任は重大
平安南道知事　上內彥策

乾坤一轉茲に昭和十二年の新春を迎へ、百五十萬道民と共に謹みて聖壽の無彊を祝し奉り、併せて昭代の聖德を頌し奉る。

伏して回顧するに、予は客年五月はからずも平安南道知事を拜命し、在任未だ僅七箇月に過ぎないのであるが、其の間內外に於ては重大事相踵ぎ國家社會は極めて多事であつた、即ち方今列強の對立抗爭は、思想的に經濟的に益深刻の度を加へ、軍備競爭の急潮を伴ひて愈よ亂雜甚しく、遠く西歐に於ては遂に同胞相鬩ぐ悲劇を展開し、恰も大戰前の形勢を髣髴せしむるものがあり、眼を近く極東の天地に轉ずれば、隣邦支那未だ [illegible] の國狀改まらず、其の動向如何によつて何日の日不測の重大事象を惹起するやも保し難い難局に立至つたのであるが、斯の環境は却つて我國の躍進と國步の [illegible] を生み東方アジヤに於ける我が國民的理想は年と共に旺にして、其結實たる滿洲國は概ね順調なる發展を遂げ、[illegible] 王道樂土の [illegible] 世界注視の前に [illegible] つゝあり、洵に其の比を見ざる未曾有の盛觀を呈示するに至つたことは、これ偏に [illegible] なる聖德の致す所にして昭代に生を享くる臣民深く心肝に銘じ、[illegible] 奉公の至誠を捧げ以て聖明に答へ奉らんことを期する次第である。

我が朝鮮は其の地理的關係上、內、鮮、滿を貫ぬく大陸日本と謂ふ大生命線に於ける中樞的重要の大結節であつて、殊に最近に於ける國際情勢の動向に鑑み、其の使命は愈 [illegible]

[illegible]

ライオン齒磨

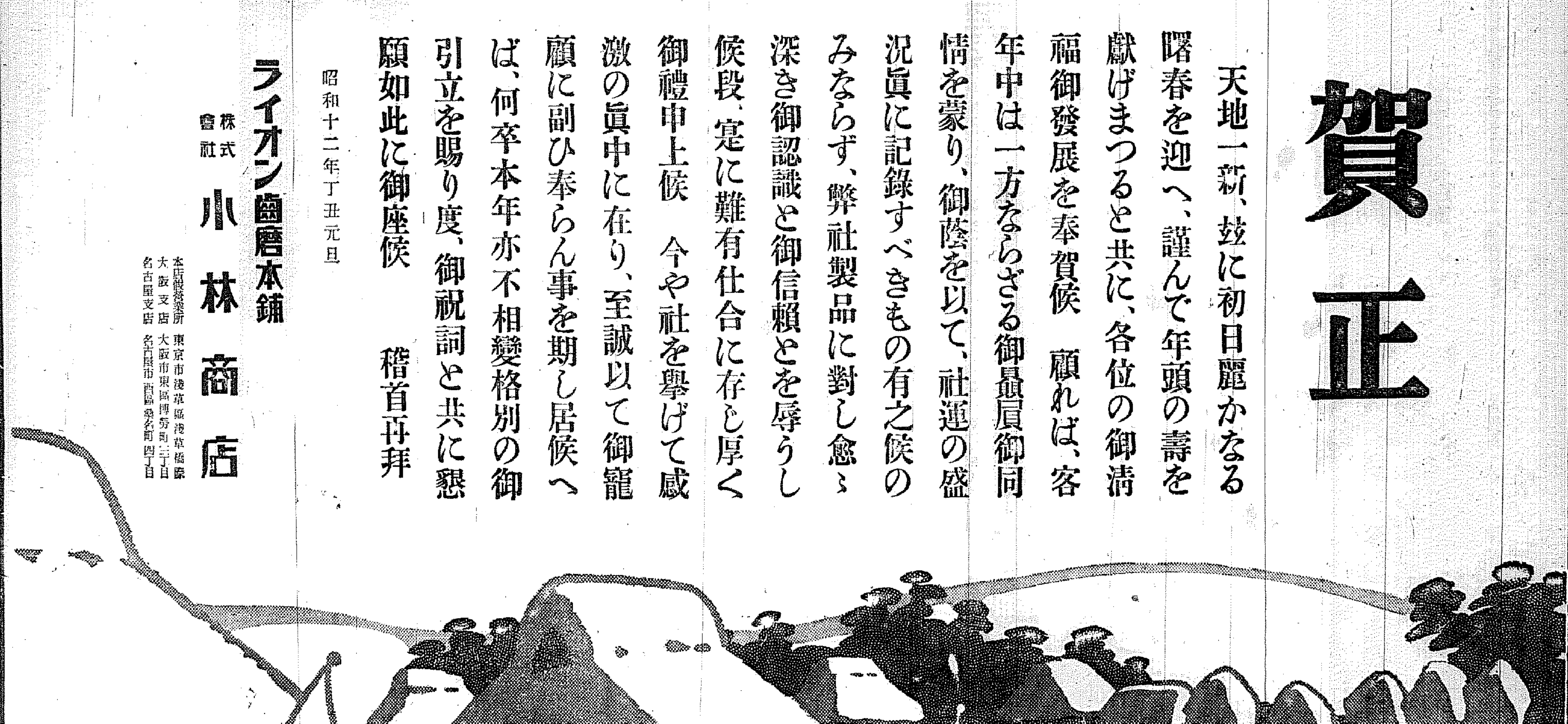
賀正

天地一新、茲に初日麗かなる曙春を迎へ、謹んで年頭の壽を獻げまつると共に、各位の御清福御發展を奉賀候　顧れば、客年中は一方ならざる御贔屓御同情を蒙り、御蔭を以て、社運の盛況眞に記錄すべきもの有之候のみならず、弊社製品に對し愈〻深き御認識と御信頼とを辱うし候段、寔に難有仕合に存じ厚く御禮申上候　今や社を擧げて感激の眞中に在り、至誠以て御寵顧に副ひ奉らん事を期し居候へば、何卒本年亦不相變格別の御引立を賜り度、御祝詞と共に懇願如此に御座候　稽首再拜

昭和十二年丁丑元旦

ライオン齒磨本舖
株式會社　小林商店

本店營業所　東京市淺草區淺草橋[illegible]
大阪支店　大阪市[illegible]
名古屋支店　名古屋市[illegible]



3—12.1

丁丑新年紙上名刺交換會

順序不同

加藤敬三郎

有賀光豊

甘蔗義邦

賀田直治　京城商工會議所

牛島省三　京春鐵道株式會社

石川登盛

矢鍋永三郎

谷多喜磨　朝鮮信託株式會社

竹内善造　株式會社第一銀行京城支店

河合治三郎　朝鮮運送株式會社

野田新吾

菊池一德

林茂樹

渡邊彌幸

戸嶋祐次郎

小林源六

森辨治郎　朝鮮運送株式會社

進辰馬

鹽川濟吉　京春鐵道株式會社

中野金治郎　朝鮮運送株式會社

荒井初太郎　株式會社朝鮮取引所

小杉謹八　株式會社朝鮮取引所

秋山滿夫　株式會社朝鮮取引所

田崎藤雄　株式會社朝鮮取引所

鎘木德二

田中三郎

竹井三郎　大阪朝日新聞京城支局

野田董吉

杉田與三郎　東光商事株式會社

廣安重都

鈴木文次郎　株式會社丁子屋

伊藤榮治　三菱商事株式會社京城支店

黑木吉郎　朝鮮煉炭株式會社

大塚俊雄　三井物產京城支店

肥塚正太

高楠榮

朴興植

酒井與三吉　朝鮮地方行政學會

渡邊龍

分島周次郎

辻本嘉三郎

井上主計

平田一平

須藤久左衛門　朝鮮[illegible]株式會社

杉山久

吉川宇造

佐方文次郎　東洋拓殖會社[illegible]

高居瀧三郎

花園佐吉

橋口寬藏　株式會社橋口金物店取締役社長

山本源作　京城府明治町一ノ二〇

青木福司

森安敏暢

桑本律藏　京城府太平通二丁目

伊藤壽一

三宅耕一　日本[illegible]株式會社

白石巖

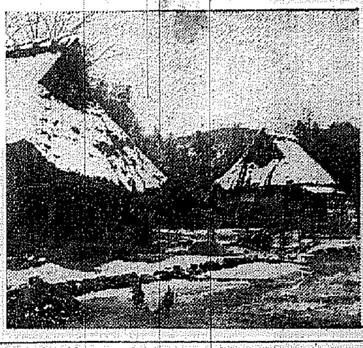
佐野彦藏

土井誠一

中河原重吉

ホルモンは肌の榮養劑
若く美しくなる法

・・・勘壁富田武雄・・



・女性は二十五六歳ごろから、知らず〳〵のうちに肌の彈力を失ひ、皺や弛みが現はれ勝ちであるが、これは肌の原動力であるところのホルモンが肌に缺乏し、自然と肌の細胞組織が衰へて來るからで、かゝる早老の現象に對してはホルモンの補給こそ先決問題である……とは近代美容科學の定説であります。

◇◆…美容の先決問題は、先づホルモンの補給にあります。ホルモンの補給方法にも種々ありますが最も簡單に、しかも效果のある方法はホルモンを皮膚に塗布することであります。

◇◆…即ち、綜合ホルモン含有のクラブ美身クリームやクラブ乳液をお用ひになると、今迄の女性ホルモンより、更に一層効力の强い卵胞ホルモンが

滋養

として皮膚から吸收されますから、肌の皮下組織を自然に鍛て直します。從つて、肌は一層艶々しく健康と

なり小皺や弛みなどを防ぐ效果に著しく卓越ります。

◇◆…綜合ホルモンは、それ自體がよく吸收される上に更に特殊な皮膚の吸收助長劑が配合されてありますので、一層その滲透性が助長され美化作用の目的が達成されます。つまり、クラブホルモンは皮下の汗腺を通して皮下に吸收され注射と殆ど同樣に自然な效果を發揮します。

◇◆…ただ、單に皮膚に塗擦し或ひは一時的な塗布と言つた一時的な美容料と違ひ、肌の原動力と言ふべき

綜合

ホルモンを肌深く補給して、自然に細胞組織から若返りさせて直し、綜合的な若返り效果を齎することに成功したクラブ美身クリームは、日本の誇るべき世界的の最新最良クリームであります。

◇◆…誰しも用ゐるはずべて綜合の原料、世界的の大工場、専門の科學者の不斷なる研究改良、監督下に製られるだけあつて――特に重の如く潤澤、純白、いささかも粗雜、不純物なく、常に不變なコロイド狀を呈し色調、品質共に變調がありません。しかもクリームとしての生成上並びに日本人の

體質

に對しこの最適質の最重原料を科學的に合成したものですから、ノビがよくサラサラとしてまさに女性の肌の健康を招來すべき素晴らしいクリームであります。

ぜん息・神經痛や中風・高血壓

原因」から治療する今津博士の新しい療法

不治でない

（研究中の今津博士）

・・・藥取粉で有名な今津博士は專門の醫學博士と、これまでの原因を徹底的に研究した結果

酒煙草、淋病徽毒、便秘、偏食、胃腸病、糖尿病、腎臓病、心臓病、肺之病、風邪、心配事、大ケガ、大患、難産などで身體が弱ふ血液が濁つて血管が弱くなり細胞が侵される爲め起るので

種々實驗を重ねた結果、特殊な植物ホルモンから抽出な

血液の濁りを除いて清淨にし血管硬化の原因を去つて血管を強調して血行を良くして神經の障害を除けば治る、決して不治でない事を確め

淨血劑を創製し、その服用とリキシン又はイマヅミンの併用に依り治り難いつらい病氣を原因から良くし、大變喜ばれてゐる。

中風で不隨舌もつれに惱む人高血壓、動脈硬化で肩コリ耳鳴り頭痛目まひ、動悸ふら〳〵、便秘

不眠神經衰弱、足腰ヘレ、ふるひシビレなど腦溢血の危險ある人

ぜん息でせき、たん息切れ呼吸困難、ヒー〳〵言ひて苦しむ人

神經痛、リウマチで手足腰背中半關節が痛んで困れる人は

あれこれと迷はず早く信用ある大阪市阪急線三國驛前電北一四五

今津研究所へ遠慮なく詳しく病狀を聞き取り症狀に即せつけ、手紙にて急ぎ申込まれよ！

つらい難病な原因から治療する博士獨特の淨血療法、養生法其他注意事項を詳細說明に教らる

同所を訪れた筆者は博士の眞劍な研究に敬服したと同時に全國各方面の治療者から送られた多數のおびただしい禮狀には驚いた。

一日〳〵と良くなり今では仕事に從事

さしもの半身不隨・舌もつれも

私はその日稼ぎの石工で、元來酒が好きな爲めか兩三年前から肩が凝つて、時候の變り目には手足腰が痛みフラ〳〵するので困つてゐましたが突然、腦溢血に襲はれ十日餘りは前後不覺で、氣のついた時には右半身全然動かず、物を言ふ事も出來ず、あれこれと色々迷ふて手當するも一向に良くならず、妻と二人で行く先を非觀してゐましたが、今津先生のお藥で大工を治つた話を聞き早速、淨血劑を服用致しました處、さしもの半身不隨や舌もつれも、一日〳〵と良くなり今では從前通り働ける身となりつゝかりし昔をしとも話し先生方の厚き御心盡しと良藥の效能を日夜感謝してゐます。神戸市　齋野虎吉

眞つ白い齒は健康の象徴

齒の絶對化粧法

・口中には左圖のやうなバイキンが繁殖してゐてこれがムシ齒やその他の病氣の原因となるのです。ところが愛用のクラブ齒磨は、これらの恐ろしいバイキンを容易に死滅させ口中を清掃する優秀な効力のある殺菌劑を配合してゐます。

それは專賣特許（第一一五二六〇號）の「クロール・カルヴアクロール」及び「ヨードチモール」であります。「クロール・カルヴアクロール」は無色透明の結晶で、有害なバイキンに對して强大な殺菌力を持つてをりますが、しかも何等の副作用を伴はぬ無害性のものです。從つて消毒洗滌用の藥品として優れた効力を發揮いたします。これについてドイツのギーセン大學のアイラレーテス・クーン博士はつぎのやうに證明をしてをります。

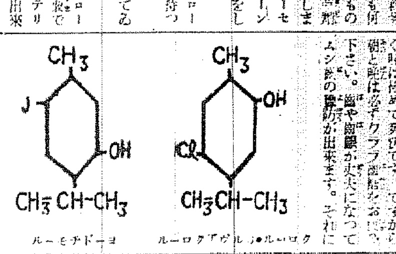
一、クロール・カルヴアクロールは非常に强烈な消毒力を持つてゐる。

二、また防腐劑として優れてゐる。

三、クロール・カルヴアクロールの數千分の一にうすめた液でも結核菌、チブス菌、ヂフテリア菌を死滅させることが出來た。

クラブ齒磨は、さらにヨードの特殊性能を應用して一層効力の强いヨードチモール（特許出願中）も同時に配合してありますから、恐ろしい口中のバイキンの繁殖を防ぎ口腔の清掃作用を充分にいたします。しかも、何等の副作用なく味は極めて爽快です。ですから朝と晩は必ずクラブ齒磨をお使ひ下さい。齒や齒齦が丈夫になつてムシ齒の豫防が出來ます。それに目に見えて白い美しい齒になりますから是非お試し下さい。

明らかに笑つた口許から、眞珠のやうに眞白い齒が覗く――それは健康の象徴であり、また近代紳士淑女たるべき必須の資格であります。



ヨードチモール　クロール・カルヴアクロール

肺病ろくまく患者の

◇◇……求むる全快への道……◇◇

◉**セキ止め法**

……根本の肺患を治さぬ限りはセキも止まり切りませんが、餘り烈しい時には、オバコ、昆布、筋梗、バランの根などに甘草を加へたものを煎じて服用して下さい。くはしくお教へいたします。

◉**喀血の手當**

喀血は肺患者にとりて一番不安な氣のする恐ろしいものですが、喀血の爲死に到る危險は先ず無いから、恐れず、あわてず「治療の原理」記載の止血法を行つて下さい。必ず止血します。

◉**發熱について**

肺患者の發熱は、結核菌の毒素が血液中に吸收され、脳を刺戟するために起るもので、發熱は實に結核の發露であり、病菌活動の顯な證據であります。肺患の熱に解熱藥を用ひるは、火を消さずに

……を追ふの道理で、一時は下がつても病勢の消散と共により烈しく體力を疲勞と胃腸障害の爲め遂に重れます。なるべく下熱藥を用ひず「治療の原理」に教へた解熱法を實行して自然に肺患を征服して下さい。

◉**肺病は不治か**

肺病は治ります。肺病不治とは、病を藥物のみで治さうとする誤つた萬能論者と、早瀬分を解らぬ淺學文盲の肺患者の言葉です。心を強くもつて「治療の原理」に示す治療法を實行して下さい。

◉**肺病の藥草**

古來より肺病ロクマクに效ありと傳へられる藥草は、ボケの實、甜梗の根、ヘトムギ、目殼、カンゾウ、人參、など澤山にありますが、少くとも十種以上を配合し、例へば石菖蒲に眞木瓜、薏苡仁を解熱劑としてキナ皮、知母を、補血劑に人參、カンウを、その他胃を强くし、腸を整へ、氣分を爽快にと云ふ風に多數の藥草を合理的に配合したものが最上です。だから三兒や三兒の少量では駄目です、一劑十兒位を服用せねばなりません。詳細はお教へ致します。

◉**全快の秘訣**

肺を病む人は、今すぐこの、階名を記しハガキを出すがよい。お尋ね様の御研究を基礎として出した治療の道を教へた、眞實偉大なる一治療の原理」といふ本と藥草療法「光明のあなたへ」の二冊の本を無料で呈上、肺患者に有りて、寺から無料送呈されます。早くこの研究書によつて肺病ロクマクを征服し病魔から脱して健康への喜びを味ひませう。

河内國小阪町
功德山　德林寺

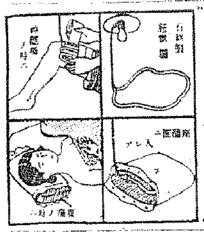
家庭ニュース

石綿製新案　紐懷爐出現

石綿製紐懷爐が新しく家庭に進出して大好評を博してゐる。此の新製品は石綿工業界の權威、株式會社五稜石綿紡織所社長の考案に係るもので、氏は永年持病の神經痛に悩み、自己の體驗より苦心研究の結果考案されたものである。

石綿製品は電氣の不良導體であると石綿製紐の中に特殊電熱線を裝置し發熱せしめ人體に適度の温度を與へるので腹痛、神經痛、胸痛等を消失、頭痛を必要とする諸病症には效果甚大なる製品である。目下各方面にて發賣中

定價四円（送料共）
本舗　五稜石綿紡織所　大阪市西淀川區
福岡市千代町三丁目



疑味　改源（カイゲン）

ねつとせきには

お茶でのむと頗るよくキキます
ねつにも改源!!!
せきにも改源!!!
評判よい味よい香

（各地薬店に有り・電話でも御注文下さい）

神戸市兵庫町
販賣元　中西武商店
東京市京橋町二

定價　10 30 50 1.00

つらいぜん息の發作もやまり
苦しい神經痛の痛みもやみ家業に精進

私は毎年ひどいぜん息と神經痛で苦しめられ發作の起つた時は夜も眠れず今にも息が止まるかと思ふ程苦しんでゐましたが、今津先生のお藥で良くなつた人から奨められ服藥せし處數日にしてぜん息の發作もやまり苦しい神經痛の痛みもやみ家業に精進出來有難い效能を感謝してゐます。大阪　有田新吉

スッカリ治して、おかぬと

流感のあとに來る結核の猛威!!

それに備へる新藥の發見！

「流感のあとで大した事はないが、まだ少し風邪氣が殘つてゐる」といふやうな容態の時はやゝもすると油斷に陷り易いもので、その油斷が本で結核菌が活動を始めて結核をおこすことが少なくありません。その症狀はみな似ててをり、流感に續發する結核も一定の型はなくいろ〳〵です。流感の後で、いつまでも熱のさし引が續き元氣がない、食慾がなく、急に體重が減じたり、咳が出るといふやうな時は結核の匪ひをもつて必ず失敗のないやう養生に注意を要します。

又結核菌は一見健康さうに見える身體にも入りこんでゐることが多いのでその點非常に要心をせねばならない。

もし不注意で右の樣な症狀を自覺した場合は直ちに適當なる治療をせねばならぬ。

今般ネオタウリン研究所にて發表せる「ネオタウリン」は當業者も渇望してゐる結核治療に選ばれたる直接療法にして結核菌に直接作用する注射藥である。

「ネオタウリン」は化學生成プミノエケルズルフォン酸にして他の類似藥の如く蛋白質蛋白體入に因る副作用無く、自體の結核に對する抵抗力を强くし、咳を鎭め、痰を袪り、胸部の疼痛を止め、更に胃腸を强健にして消化吸收を旺盛し、食慾を進め、體重を增加し、治療と榮養の二大効果を發揮して體力を增進す、從つて本劑の治療期間は最も短く注射毎に發熱は減少し、その症狀は速かに輕快となり本劑の一クールは著しく短く十二回を以つて最好適とす本劑の特徴は結核菌に直接作用し食慾亢進、體重增加、解熱消散、盗汗停止、副作用絶無、結核營用に應用可能　藥價及包裝は

一五・〇ｃｃ六管入三円八十錢
一〇・〇ｃｃ六管入六円の二種

全國有名藥店にて販賣せるも品切れの場合は直接製造元へ御申込みあれ送料當方負擔にて至急お送りします、文獻も送呈す

大阪市南區難波新地五番丁
ネオタウリン研究所
振替口座大阪三九一五〇番
電話戎二六三六番六〇六六番

モルヒネ・ヘロイン・阿片・中毒

其他同類似麻醉藥新治療劑

福モナール

モルヒネ中毒症の如き原因一定せざるものに單味藥物を用ふるも效なきことは勿論、又は其等の少からざる場合の治療劑による結果效力充分ならざることは日常經驗せらるゝ所であります。

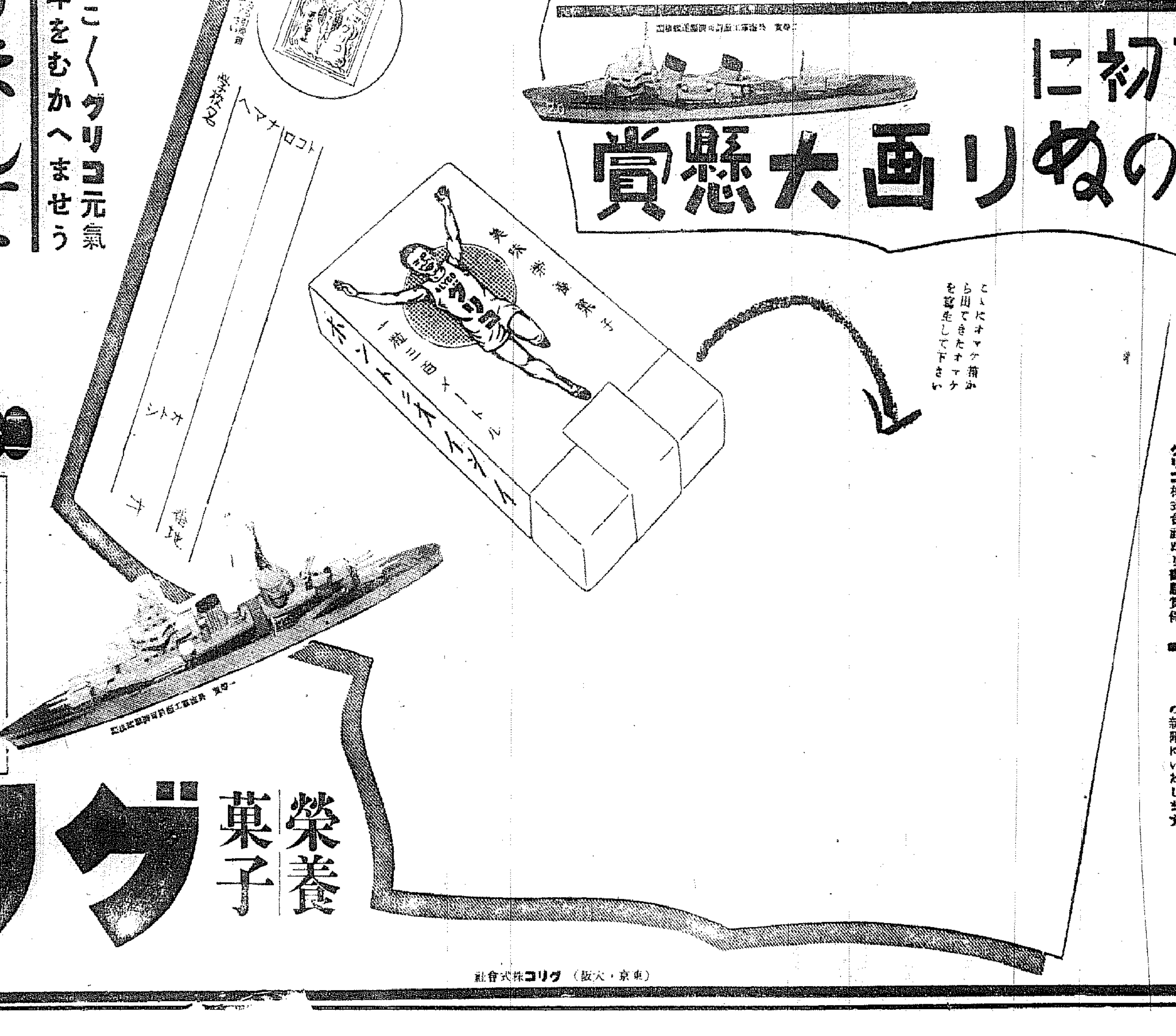
斯る場合福モナールの如き綜合劑に奏効する藥劑をお選び下さい！

福モナールは速かに獨特の解毒作用を發揮し嗜好を斷じ禁斷現象の苦痛を緩和して時間習慣を抑制せられ生成せられたる結果心身爽快、食慾旺盛、安眠を與へ、速かに中毒症狀を退せしむると共にこれに伴ふ中毒症狀に依る種々の障害を好轉せしめてる健康の恢復を速めます（文獻呈上）

發賣元　大阪市東區道修町　田邊五兵衛商店
製造元・大阪天王寺區　（以下不明瞭）

わあつ！ステキステキ

明日の書初に
グリコのぬり画大懸賞



みんなにこ〳〵グリコ元氣でいゝ年をむかへませう

あけましておめでたう

そのにこ〳〵顔でおいしいグリコをたべながら右にあるぬり畫をかいて、すてきな軍艦模型（海軍からおほめにあづかつた模型）をあてゝ下さい。さあ！あなたのお友達にもぜひおすゝめ下さい。

二千八十五名にあたる

一等	十名	日本最新戰艦模型
二等	二五名	日本最新驅逐艦模型
三等	五十名	特製學用品セット
佳作	二千名	クレオンブツク

賞品

審査して下さるかたは
二科會審査員　鍋井克之先生
グリコ廣告課長　古藤仙蔵

ぬり畫のかきかた
一、左にあるぬり畫のグリコの箱にグリコの箱の色をぬつて
二、グリコの箱についてあるすてきな箱にあつたオマケを寫生して下さい（鉛筆でもクレオンでもよろしい）

懸賞の送りかた
一、この廣告を切りとつて左のぬり畫に規則どほり畫をかいて
二、グリコの箱にはいつてゐる引換證をはつて
三、この新聞の名と
四、あなたのお年、お所、學校名、お名前をくはしく書いて送つて下さい
大阪市西淀川區御幣島町五三
グリコ株式會社ぬり畫懸賞係

注意
一、別に西洋紙にかいて送つてもかまひません但し左のぬり畫のとほりかいて引換證をはることをお忘れなく
二、六才から尋常小學六年生までのかたにかぎる

締切と發表
一、昭和十二年一月十五日かぎり
一、當選者のお名前は二月十一日この新聞にいたします

榮養菓子　グリコ

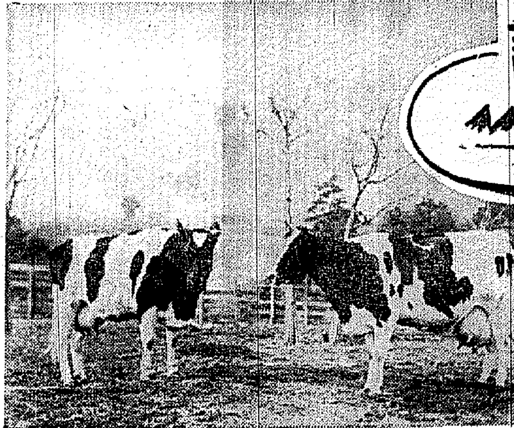
GB.1

グリコ株式會社（東京・大阪）

牛になつたゼウス

王女をのせて綠の海を渡る

面白い希臘神話など



明けましておめでたう 今年は牛年です、世界じゆう何處に行つても牛の出て來る傳說や神話は數限りなくあります。私達の祖先が、穴居時代と言つてまだ穴の中に住んでゐて、日夜人間とはげしい爭ひをしてゐました。デンマークのコペンハーゲン博物館には、ずうつと昔その國の野原に住んでゐた野牛の骸骨が飾つてあります。この動物の骨は干上つた湖の底で發見されました。二本の肋骨にははつきり矢傷の痕があり、その側には數個の矢先が落ちてゐたのです。その上骨の中には火打石の矢先が喰ひ込んでゐました。この骸骨にはどんな物語があるでせうか、石器時代の後期に一人の獵人が獲物を搜し歩いてゐました。獵人は野牛を見つけて直ぐそれに矢を放ちました。矢はうまく當りません、牛は一目散に逃げ出します。それで獵人はもう一本の矢を放ちました、つゞいても一本、二本の矢を見事牛の肋骨に命中しました。牛は淵の縁に血を流しながら逃げました。湖の所迄來たときその中にざぶりと飛び込み、死物狂ひで泳ぎましたが、出血がはげしく遂に力がつきて、喘ぎながら深い湖の底に沈んでいつてしまひました。それから何千年經つたでせう。獵人もその子供も、子供の子供も死にました。こうして數千年がたつて昔の湖も干上つてしまひ、沼地になりました。この地を掘り返してある中に、偶然にもこの牛の骨を發見したのです。牛の骨に喰ひ入つた火打石の矢先から私達はこんな話を想像して見ました。

こうして私達の先祖が日夜恐ろしい獸と戰つてゐた太古の時代、その頃は穴居民族が自分達の洞窟の壁に描いた色々の獸の繪は今でも不思議にそつくりその儘殘されてゐます。中でもスペインの北部とフランスの西南部、ちようど、ピレネー山脈を境にした兩側は太古そのまゝの形で立派な繪畫が保存されてゐるので有名です。スペインの側にあるアルタミラ洞窟をのぞいてみませう。こゝにある『野牛』の繪はごく最近千八百八十年に發見されました。學者の話ではおそらく今から一萬五千年前に描いたものだらうと言ふことですが、この繪は實に生き生きとしてゐて、生を識つてまつしぐらに空中に跳り上がらうとする姿が全く見事に寫生してあるのです。どうしてそんな大昔にこんな立派な繪が出來たのでせうか。その頃の人間は牛の肉を食べその皮で着物を作り、骨でお茶碗をつくると言ふやうに何から何まで牛のお蔭を蒙つてゐたのです。ですからきつとこの恩人にお禮をしようと言ふ敬虔な心から牛の勇ましさを寫した繪を描いておまじないにしたのかも知れません。然しどちらにしろ世界で一番古い繪だと言ふことは、人間と牛とが大昔から大變關係が深かつた證據だと言へるでせう。

今度は、ギリシャ神話にある牛のお話をしませう。フェニキヤは地中海の東の岸に沿うた小アジアの古い王國でした。フェニキヤの王アゲノールにはエウローパといふ美しい王女がありました。或る日のことエウローパが侍女達と花の咲き亂れた海岸で遊んでゐますと見なれない一匹の牡牛がしづかに王女の方へ近よつて來ました。牡牛は雪の様に眞白なからだに大きな茶色の目を見開いてゐます。王女の側まで來ると、一心に花を摘んでゐるうしろからしづかに王女の顏をながめました。それから膝を折つて賴むかの様に王女の白い足をなめたりします。王女もちよつとふりかへつて牡牛のやさしさうな樣子を見ると、そつと頭をなでてやりました。すると牡牛はうれしさうに王女の前へ膝を折つてしづかに横になりながら頭をうしろへねぢつて王女の顏をぢつと眺めます。この樣子が、「わたしの背中へのつてごらんなさい」とでも言ふ樣子です。王女もなんとなく親しみを感じ何氣なく牛の背に乗ると、その場で作つた花環を角にかけてやりました。すると牡牛はいきなり立ち上つて王女をのせたまゝまつしぐらに海の方にかけ出しました。そして牡牛は海の中へ飛び込むと頭を水の上に出して漁家のやうにゆるゆると波をわけて泳いで行きました。エウローパはしつかりと牡牛の角につかまり、綠色の激浪に目をおとしてぶるぶる顫へてゐます。すると牡牛は頭を少し上へあげてやさしくかう言ひました。「こはいことはないからしつかりとつかまつておいで、わしはゼウスだ。こんな姿になつて來たのはお前を無事にクレテの島に送りとどけるためなのだ。あそこはわしの育つた所だ。あそこへ行つて、お前は新しい王國を生まなくてはならない」あゝこの牡牛の姿をしてゐるのは神樣のゼウスだつたのです。やがてクレテの島に泳ぎつくと、今までの牛は逞しい青年ゼウスの姿にかへり二人は此島で樂しい樂しい生活を送りました。エウローパとゼウスとの間には、やがてクレタの名君ミノス王やサルペドンのやうな英雄が生れました（終）

六代目藝談【上】

尾上菊五郎

記者「今日は色んな話をきかせて戴はうと思つて來ました」

菊五郎「改つて何です。難しさうな話ですね」

記者「あなた自身のこと、藝談、趣味——色んなことをききたいのです」

藝談は嫌ひ

菊五郎「片つぱしから喋べて御覧なさい、納得の行くことなら何でも話します、けれどあつしの流儀から云ふと、藝談は嫌ひだな、舞臺へ役者が出て或る役に扮する以上、不用意に出る人はありますまい。手を一寸動かすにしても、それ相當の理窟もあり、工夫もありと云ふ譯で、また工夫するのは當り前の話でさアね。それを、藝談なんて形で發表するのは厭味ぢやないか」

記者「するとあなたは一切藝談をしない方針なンですか」

菊五郎「冗談でせう。藝談はあつしの生活の全部だ。二六時中、芝居の話ばかりしてると云つてもいゝンです。あつしは藝談以外考へてない、と云つてもいゝ位で、もしお前は今から役者をやめるンだ、と云はれたら生きてる張り合ひがなくなるだらうと思ふ位芝居が好き、從つて、何んな端役にも工夫をする。古い物なら、先考の型を調べてかかる、分らなければ人にたゞす。從つて、あつしの生活は、芝居の話だけに終ると云つても過言ではない。殊に、さう云ふ話し仲間の會が、あつしの家で開かれて「負けたら節」と命名してゐる。「勝負節」と云ふのが始めの名前だつたのだ。仲間は弟子だの弟（權三郎）だの內輪の者ばかり、あの役を九代目團十郎は何うやつたとか斯うやつたとか話になる中にそいつは違ふ、實は斯うだつた、と云ふやうな討論になつて、聴ア見ろ、負けたらうツてなことから（負けたら節）ツてことになつてしまつたのだが、大抵芝居がハネて一ツ風呂浴びてから、始めるので文字通り夜明けまで語り、稀には夜を徹する事もある位——だから芝居の話、藝の話は大好きなンだが、これを藝談とか何とか云つて雜誌や、新聞に掲載するのは、さう工夫するのが當り前で、そのための役者であり、お給金を頂いてるだけ可笑しな話がするンですね」

記者「話がすこし脇道へそれますが、さう夜更かしをしたりすると、ねむる時間が短いことになりますね。次の日の芝居の開く時間は、きつかりきまつてゐるのですから……」

菊五郎「第一、人間十時間とか八時間とか眠る必要はないと思ふね、四五時間も眠りや結構さ。その代り、この四五時間はみつしり掛値なしの四五時間で、眠れてゐるだけ熟睡することになりますさね」

記者「あなたの日常生活と云つた物がききたいですね」

わたしの日常

菊五郎「朝は案外早起きですよ。何時も大勢と賑やかに談笑してゐるのが好きで、獨りぽつちでゐるのは嫌ひだな。その癖、外出も好きではない、ゴルフに凝つた時分はさつさとゴルフ場へ出かけたものだが、大抵は家から直接劇場へ、芝居がハネるとそのまゝ家へと云ふやうな單純なことをやつてゐます。食事は一度、芝居の樂屋で（も可笑しいが）と、家へ歸つてからの夜食、減らつぺらしたら喰ふ時はよく喰ひますよ。天ぷら、洋食まで油つこいものが好きだ」

記者「あなたの好きな狂言、演りたい役に就いて話してくれませんか」

菊五郎「狂言だとか役だとかに、特別に何れが好き、どれが嫌ひと云ふやうな好き嫌ひはありませんね、何でも演つて見たい、けれども、あて込み藝だけは避けたい。」

記者「この頃播磨屋（吉右衛門）さんと顔を合せる時は、宇野信夫さんあたりの新作が出ますが、新作物に對する抱負と云ふやうなものをきかせてくれませんか」

新作は樂しみ

菊五郎「新作物の上演は實にたのしみなものです。演りたいものもありますが、仲々此方の思つてるものばかり演るつて譯にも行かないのですね、あつしの新作に對する態度は、あらかじめ作者の方と意見の交換をして、効果的の上にも効果的に、つまり、芝居が面白く出來、工夫のつくやうに工夫して貰つてから手をつけたいと思ふ。一字一句も改めてはならぬ。必ず脚本通りやれ、では面白味がない。劇作家が凝りも凝れた演出家と云ふ譯にはいかないのだから、本の指定通り演るのが一番いゝ結果だとは云ひきれまい。殊に、本の指定通りやるのだつたら、こいつ素人にも出來ることで、役者の工夫の餘地はなくなる譯だ、張り合ひがない譯ぢやありませんが、斯う云ふ考へ方は間違つてゐるかも知れない、生意氣だ、と云はれるかも知れないが、あつしは俳優としての立場を主張したいと思ひますね、流石に岡本綺堂さんのお作などは大したもので、あつし等の工夫はよい譯ですが、それでもあつしにはあつし並みの工夫もあり、先生の本にないことを入れてゐるンです」

記者「だとへば、何う云ふ風にです」

菊五郎「岡本先生の御作で最近手がけたものは有名な半七捕物帳、その中で「勘平の死」「お化師匠」「濡髪の二階」「三浦荒次」などを演つてゐるが、最後の「三浦荒次」に就いて話せば、半七の住居の門へお神酒が來て樣子を立ち聽く所がある、半七が氣付いて後を追ひかけようとする所で、「のぞいてゐた女ての は素足だつたかい、足袋をはいてゐたかい」と半七が訊く。これは脚本にない言葉でした。しかし斯うすると、素足なら大抵それ以上の職人な女とか何とか見當もつきますし、尾行するにも範圍がせばめられて便利で、同時にそう突嗟にこまかい所へ氣がつきさうた人間だ、と思つてやつて見たのです。これは脚本に註釋をつけた一つの例だが、脚本にこまかい說明がなくて、說明なしにはお客樣に納得の行く段取りのつき兼ねるやうな所があるとします、あつしは、その納得の行く段取りをつけるやうにしてゐます。たしかに冒瀆かも知れないが、それによつてよい結果が引き出せればいゝ譯ではないか、と斯う獨り定めしてゐるのです。さうして色んな工夫をする所にたのしみもあり、藝熱もあり、役者としていゝ勉強となるのではないかと思ふ。殊に『三浦荒次』をやつたお陰で、三浦荒次と尾張荒次の相違も勉強したし、新内の流しの高音を出すには、くるもじを使はなければいけないツてな事も分つた……」

不連續線

年頭の感

この頃、ひどく年齢のことが氣になりはじめた。そして、正月と共に、また一つ齢を重ねた譯である。

年齢といふものは、人間に定命があり、その定命に達すれば死ずときまつてゐるものであれば、それだけ死期に近づく勘定になるのだから、氣になるのも當然である。が一瞬一刻づゝ末期に接近しつゝあるといふとは、必ずしも、正月にならなければ認知出來ないことでもないのに、今更、それを氣にするの理は、やはり、凡人なればこそ經驗であらう。

たとへ數へ年にしても、白髮や皺が見えるやうになつたのも淋しいし、さうした生理的な不可抗力は別としても、もはや若い女が相手にしてくれなくなつたといふ現實の問題に當面すると、すべての勇猛心が、ヘタと挫かれる。

しかし、それが何であらう。それだけ、外界からの誘惑が減る譯ではないか。外へ散亂してゐた從來の俗念を、內に沈潜せしめ得るではないか。

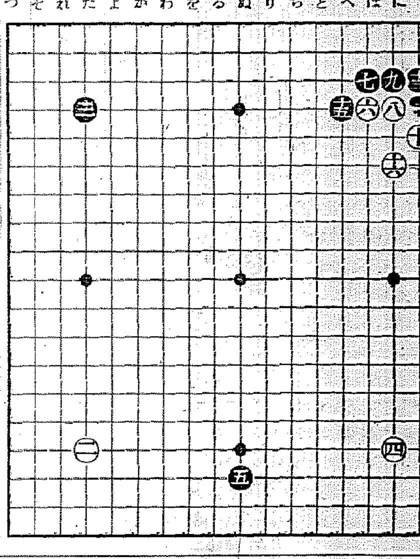
生きたいのは人間の本能であるが、些末な年齢のことなどを氣にするのは、その本能を鈍らせることであり、ホンノウが強ければ獲信となること文字通りである。

年頭、感あり。人間、生きて行く上には、すべてに積極するに如かず。

日本棋院 昇段大手合戰譜（1）

四段 井上一郎

先相先番 三段 加藤三七一



（制限時間各八時間）

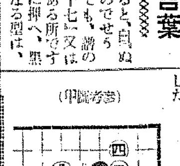
對局者の言葉

（黒）五で六にシマると、白「ぬ十六」の三間屏となるのでせう 又下邊の割打ちとしても、諸の外に（り十七）や「る十七」又は「ぬ十六」等々いろ／＼ある所です

（白）八で「へ三」に押へ、黒九白十九黒「に九」となる型は、飾りは頗に乏しいので定石になつてゐますが、此頃合疑問でした

（黒）十一乃至白十六は一つの十一で十九にハネる參考圖（甲）に從ふか、又は「へ三」にノビるか、參考圖（乙）の限習を擇ぶべきでした

（參考圖甲）



評解　村嶋誼紀

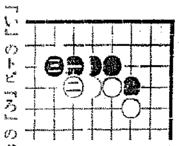
○白六の高ガカリが、古來右とされて居り、實戰にも例外的に採用されてゐたのに反し、近來頓りに好んで用ひらるゝのは、新布石法に伴ふ波動であつて、本局の如き白二、四の星の占據との釣合に於ては、七の小ゲイマガカリは、中央中心主義を標榜する新布石法の主旨に背反するのである

○白八、十の手法も、先番をして今日あらしめば、その横並假り的還明に疑異を感ぜしめるであらうが、現代に於ては右下開展にある四との均衡に於て敢て非難すべきでなく、却つて關係の奏効をさへ期待されるのである

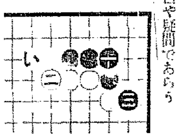
此の手法はたしか木谷七段の三四段時代の創案かと記憶してゐる

◎黒十一で十五のハネも、參考圖（甲）の如き運轉を通れば不可ないで「い」のトビ「ろ」のハネの何れかを擇ぶことも考へられない、白十六までは定石の一型とはされるが、對局者のことばの如く多少白有利の變化と見られよう 隨つて定石として存在の價値ありや否や疑問であらう

（參考圖乙）



（參考圖丙）



京城府榮町一丁目 御料理 松華 電話本局二八九二番

西洋料理 銀松亭 京城府黄金町二ノ一九九 電話本局〇〇九五番

染料藥品 石油鑛油 合資會社 福壽洋行 營業所 工場

京城府太平通一丁目四〇ノ二 合資會社 多田工務店 電話本局六二三四番

京城府古市町四三 川崎鐵網工場 京城出張所 電話（特長）本二五五七番 振替口座京城一八九一七番 京城局私書函第一〇〇號

京城府東四軒町三五 株式會社 三宅組 電話本局二八三五番

賀正

京城軌道株式會社

各種機械 株式會社 弘中商會 京城府漢江通三番地 電話龍山代表一五九〇番

彌生町貸座敷業組合

金井鑛山株式會社 京城事務所

京城府御成町三四番地ノ六 合資會社 日華鑛業商會 電話本局五四〇八番

京城府光熙町二丁目一八七 堀田鐵工所 電本一五七八番

京城府醫師會

朝鮮金融組合聯合會 京畿道支部 京畿道內各金融組合

鐘紡サービス・ステーション 平賀三男

POLYDOR 日本ポリドール販賣株式會社 朝鮮支店

朝鮮放送協會

京城公立中等學校長會

有價證券一般取引並金融業務 朝鮮取引所證券取引員 二田原秋三郎商店 京城府黄金町二丁目一九九番地 電話本局代表（2）五一七七

肌アレを防ぐ！
レートクレーム
明けましてお目出度ふ御座います！
輝く旭日に寄する
頬は青春色！レートクレーム
に培はれた愛の若肌！
紀元
二五九七
1
元旦のメモ
使って見て良いのは矢張り
レートクレーム
アレ止めは何といっても
レートクレーム
白粉下にも……
レートクレーム
パパのヒゲ剃り後にも
レートクレーム
CREME DE LAIT
レートクレーム
魅力の若肌を創る
乳化完全
濃度最高
實質第一
レート化粧料本舗　東京・平尾賛平商店